

令和 7 年度 史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事

設 計 図

▲ 株式会社 工藤金正建築設計

| 図 面 リ ス ト | | | | | |
|-----------|------------------|---------|-----------------------------------|---------|---------------------------|
| 建築意匠図 | | 建築構造図 | | 電気設備図 | |
| 図面番号 | 図 面 名 称 | 図面番号 | 図 面 名 称 | 図面番号 | 図 面 名 称 |
| A - 0 1 | 図 面 リ ス ト | S - 0 1 | 構造設計標準仕様 | E - 0 1 | 電気設備 特記仕様書 |
| A - 0 2 | 建築特記仕様書 1 | S - 0 2 | 壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1） | E - 0 2 | 工事区分表 |
| A - 0 3 | 建築特記仕様書 2 | S - 0 3 | 壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2） | E - 0 3 | 付近見取図・配 置 図・屋外配線図 |
| A - 0 4 | 建築特記仕様書 3 | S - 0 4 | 地質調査図 | E - 0 4 | 単線結線図 |
| A - 0 5 | 建築特記仕様書 4 | S - 0 5 | 浅層地盤改良工法特記仕様書 | E - 0 5 | コンセント設備図 |
| A - 0 6 | 建築特記仕様書 5 | S - 0 6 | 基礎伏図・1階梁伏図 | E - 0 6 | 機 器 姿 図 |
| A - 0 7 | 建築特記仕様書 6 | S - 0 7 | R階梁伏図 | E - 0 7 | 電 灯 設 備 |
| A - 0 8 | 建築特記仕様書 7 | S - 0 8 | 軸 組 図 （ 1 ） | E - 0 8 | 機械設備用配線図 |
| A - 0 9 | 建築特記仕様書 8 | S - 0 9 | 軸 組 図 （ 2 ） | E - 0 9 | トイレ呼出設備図 |
| A - 1 0 | 工事区分表 | S - 1 0 | 基礎リスト、地中梁リスト、スラブリスト、 雑配筋図、壁リスト | | |
| A - 1 1 | 仕 上 表 | S - 1 1 | 大梁リスト、小梁リスト | | |
| A - 1 2 | 付近見取図・配 置 図 | S - 1 2 | 配筋詳細図 | 機械設備図 | |
| A - 1 3 | 建物求積図・求積表・開口部検討表 | S - 1 3 | 架構配筋図 | 図面番号 | 図 面 名 称 |
| A - 1 4 | 平 面 図 | | | M - 0 1 | 機械設備 特記仕様書 1 |
| A - 1 5 | 屋根伏図 | | | M - 0 2 | 機械設備 特記仕様書 2 |
| A - 1 6 | 立 面 図 ・ 断 面 図 | | | M - 0 3 | 付近見取図・配 置 図・凡 例 |
| A - 1 7 | 矩 計 図 | | | M - 0 4 | 屋外配管図及び給水管布設参考図 |
| A - 1 8 | 平面詳細図 | | | M - 0 5 | 衛生器具表 |
| A - 1 9 | 展 開 図 1 | | | M - 0 6 | 衛生設備図 平面詳細図 |
| A - 2 0 | 展 開 図 2 | | | M - 0 7 | 空調設備図 平面詳細図・機器表 |
| A - 2 1 | 展 開 図 3 | | | M - 0 8 | 合併浄化槽設備 平面図・断面図・仕様書等 |
| A - 2 2 | 天井伏図 | | | M - 0 9 | 合併浄化槽設備 平面図・断面図・躯体図 |
| A - 2 3 | 建 具 表 | | | M - 1 0 | 合併浄化槽設備 電気配管図及びプロアーポンプ系統図 |
| A - 2 4 | 部分詳細図 1 | | | M - 1 1 | 合併浄化槽設備 電気設備 系統図 |
| A - 2 5 | 部分詳細図 2 | | | | |
| A - 2 6 | 仮設計画図 | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----|---|-------|--------|--------|-------|------|------------------------|----|------|--------|
| 備考 |  一級建築士事務所 株式会社 工藤金正建築設計 <small>青森県A1第495号 1級建築士第153872号 弘前市大字城東2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正</small> | 承認 | 担当 | 製図 | 年月日 | 工事名称 | 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便施設整備工事 | 縮尺 | 設計番号 | — |
| | | Kudou | Sugimi | Sugimi | R 7.3 | 図面名称 | 図面リスト | | 図面番号 | A — 01 |

令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事

工事特記仕様書

工事概要

1. 工事場所

青森県弘前市大字大森字勝山961-3

2. 敷地面積

889.00㎡

3. 工事種目

(1) 休息便益施設 鉄筋コンクリート造 平屋建 新築 1棟

建築面積102.40㎡

延べ面積70.40㎡

1階70.40㎡

4. 指定部分

・有・無

対象部分(指定部分工期 年 月 日)

5. 工事範囲

「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。

「3. 工事種目」のうち の工事範囲は下記のとおりとする。

1 各章共通事項

・適用区分

建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に次の から を満たすものとする。
合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板精層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を除く）が添加されていない材料を使用する。
の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

(1.4.1)

・環境への配慮

(1.4.1)

・材料の品質等

1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承認を受ける。
3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
4) 本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造業者等は、次の から の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承認を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合はこの限りでない。
品質及び性能に関する試験データを整備していること。
生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
安定的な供給が可能であること。
法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
販売、保守等の営業体制を整えていること。
5) 製造業者等に関する資料の提出を求めた材料
x11,a0.25,sm1,q1,t0;床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、乾式保護材、既製調合モルタル(タイル工事用)、既製調合目地材、ルーフドレン、吸水調整材、錠前類、クローザー類、自動ドア機構、自閉式吊り引戸機構（手動開き式）、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、防水剤、現場発泡断熱材、フリアクセスフロア、
可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、煙突用成形、ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、トップライト、屋上緑化システム、ポリマーセメントモルタル、鉄鉄製ふた

(1.4.2)

2 仮設工事

・足場等

「「手すり先行工法に関するガイドライン」について、」（厚生労働省 平成21年4月24日）の「（別紙）手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2)の手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

(2.2.4)

3 土工事

・埋戻し及び盛土

材料及び工法
標準仕様書表3.2.1による
種別
・A種 適用場所()
・B種 適用場所(基礎)
・C種 適用場所() 土質() 受渡場所()
・D種 適用場所()
(品質 細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする)
・材料() 工法()

(3.2.3)

4

7

特記仕様書（構造関係）による
4章 地盤工事
5章 鉄筋工事
6章 コンクリート工事
7章 鉄骨工事

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

・補強コンクリートブロック造

ブロックの種類等 (8.2.2、3、5、7、8)
断面形状及び圧縮強さに
による区分
正味厚さ(mm)
びュード呼び寸法(mm)
長さ 高さ
化粧の有無
適用箇所
備考
・
・
モルタルの調査（容積比）
標準仕様書表8.2.1による
・セメント()：砂()
各部の配筋
図示による
目地仕上げ
・押し目地仕上げ
・化粧目地仕上げ
まぐさを受ける開口部両側のブロックのモルタル又はコンクリートで充填する範囲
図示による

・コンクリートブロック
縦壁及び隅

・ALCパネル

・押出成形セメント板（ECP）

ブロックの種類等 (8.3.2～4)
断面形状及び圧縮強さに
による区分
正味厚さ(mm)
びュード呼び寸法(mm)
長さ 高さ
化粧の有無
(表8.3.1)以外の適用箇所
備考
・
・空洞ブロックC(16)
・型枠状ブロック 20
モルタルの調査（容積比）
標準仕様書表8.2.1による
・セメント()：砂()
壁に用いるブロックの正味厚さ(mm)
壁の高さが2m以下 120
2m超え 150
壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状
図示による
各部の配筋
図示による
ALCパネルの区分等 (8.4.2～5)
区分
単位荷重(N/㎡)
正荷重 負荷重
厚さ(mm)
幅及び長さ
(時間)
耐火性能
構造の種類
・外壁用
・一般
・平
・コーナー
・意匠
・
・
・
・間仕切
・一般
・平
・コーナー
・意匠
・
・
・
・屋根用
・
・
・
・
・床用
・
・
・
・
・
パネルの相互の接合部に挿入する耐火目地材
・
外壁、屋根パネルの構造
1章 適用区分による風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の耐風圧性能
外壁パネル構造及び間仕切壁パネル構造における耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合
・図示による
目地幅(mm)
(パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部)
10～20
外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填
・適用する
・適用しない
ECPの種類等 (8.5.2～5)
パネルの種類
形状
長さ(mm)
幅(mm)
工法の種類
備考
・外壁パネル
・F
・50・60
・D
・50・60
・T
60
・F
・50・60
・間仕切壁パネル
・D
・50・60
・T
60
注)F：フラットパネル、D：デザインパネル、T：タイルベースパネル
外壁パネルの工法における耐風圧性能
1章 適用区分による風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の耐風圧性能
外壁パネル工法及び間仕切りパネル工法における耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合
・図示による
パネル相互の目地幅(mm)
・長辺() 短辺()
出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅(mm)
15程度
耐火構造以外の目地及び隙間の処理
パネルの製造所の仕様
やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出する
パネルに孔あけを設ける場合
短辺
長辺
パネルに欠き込みを設ける場合
短辺
長辺
孔あけ及び欠き込みの大きさ
パネル幅の1/2以下、かつ、300mm以下
500mm以下
切断後のパネルの残り部分の幅
150mm以下
300mm以下
300mm以下

9 防水工事

・アスファルト防水

屋根保護防水
防水層の種類
種別
施工箇所
断熱材 G
絶縁用シート
・A-1
・A-2
・A-3
・B-1
・B-2
・A -1
・A -2
・A -3
・B -1
・B -2
(種類)
JIS A 9521に基づく押出法
JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
(厚さ)(mm)
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
標準仕様書表9.2.3及び表9.2.4による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分
R種
厚さ()mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
標準仕様書表9.2.5及び表9.2.6による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分
R種
厚さ()mm以上
立上り部への断熱材及び絶縁用シート
設置しない
設置する
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ 水下 80mm以上
床タイル張り 水下 60mm以上
立上り部の保護工法
・乾式保護材（品質・性能、試験方法は別表による）
窯業系パネル 類 厚さ()mm 幅()mm
・れんが押え(JIS R 1250)
・コンクリート押え
・モルタル押え（屋内）
屋根露出防水
防水層の種類
種別
施工箇所
断熱材 G
仕上塗料
種類
使用量
高日射反射率
防水 G
・D-1
・D-2
・D -1
・D -2
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
標準仕様書表9.2.8による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分
R種
厚さ()mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
標準仕様書表9.2.7及び表9.2.8による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分
R種
厚さ()mm以上
絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
図示による
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類
アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
設置数量
アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・()個
屋内防水
防水層の種類
種別
施工箇所
種別
施工箇所
・E-1
・E-2
保護層
・設ける(図示による)
・設けない
E-1の工程3を行う部位
貯水槽、浴槽等常時水に接する部位
・
防水層の下地の立上り
コンクリート打直し仕上げ 標準仕様書表6.2.4[打直し仕上げ種別]のB種
・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
アルミニウム製 L・30×15×2.0mm程度
・
防水層の下地のモルタル塗り
・適用する(施工範囲 図示による)
・適用しない
屋上排水溝
図示による

備考

一級建築士事務所 青森県A1第495号
株式会社 工藤金正建築設計 1級建築士第153872号
弘前市大字城北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正

承認 担当 製図 年月日
Kudou Sugimi Sugimi R 7. 3

工事名称 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事
図面名称 建築特記仕様書 1

縮尺 設計番号
- 図面番号 A 02

[illegible]

11
タイル工事

・伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

・見本焼き
試験施工

・セメントモルタルによるタイル張り

位置
標準仕様書表11.1.1による
・図示による
目地寸法
・図示による

(11.1.3)(表11.1.1)

見本焼き
・行う(施工箇所：)
試験張り
・行う(範囲、仕様等は図示による)

(11.1.4)

・行わない
・行わない

タイルの形状、寸法等

(11.2.2、6)

| 施工箇所 | 種類 | 形状/寸法 (mm) | 再生材料の 適用 G | 吸水率による区分 | うねり | すり | 役物 | 色 | 耐凍害性 | 耐滑 |
|------|----|---------------|---------------|----------|-----|----|----|---|------|----|
| 床 | 磁器 | 150 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| | | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| | | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |

備考欄：参照タイルシリーズ

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。

既調合モルタル(品質・性能、試験方法は別表による)
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、
混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

既調合目地材(品質・性能、試験方法は別表による)

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
目荒し工法(高圧水洗処理)
・MCR工法
・
壁タイル張りの工法
内外装タイル
・密着張り
・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル
・マスク張り
・モザイクタイル張り

・有機系接着剤による
タイル張り

タイルの形状、寸法等

(11.3.2～5)

| 施工箇所 | 種類 | 形状/寸法 (mm) | 再生材料の 適用 G | 吸水率による区分 | うねり | すり | 役物 | 色 | 耐凍害性 | 耐滑 |
|------|----|---------------|---------------|----------|-----|----|----|---|------|----|
| 外壁 | 小口 | 108×60 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| | | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| | | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |

備考欄：参照タイルシリーズ

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量
F
目地のシーリング材
打継ぎ目地
ポリウレタン系シーリング材
・
ひび割れ誘発目地
ポリウレタン系シーリング材
・
伸縮調整目地及びその他の目地
変成シリコーン系シーリング材

下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
目荒し工法(高圧水洗処理)
・MCR工法
・
外装タイルの目地詰め
・行う
・行わない

・施工一般

・製材 G

材料のホルムアルデヒド放散量
F
又は標準仕様書12.2.1(1)(9)(b)による
・

(12.2.1)

・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材

| 施工箇所 | 寸法 (mm) | 等級 | 含水率 | 保存処理 | 間伐材等の 適用 |
|------|------------|----|-----------|------|-------------|
| | | 2級 | A種 ・B種 | | ・ |
| | | 2級 | A種 ・B種 | | ・ |
| | | 2級 | A種 ・B種 | | ・ |

・造作用単板積層材 G

・造作用集成材 G

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

(12.2.1)

| 施工箇所 | 品名 | 樹種名 | 寸法 (mm) | 見付け材面 | 見付け材面の品質 | 間伐材等の 適用 |
|------|-----|-----|------------|-------|----------|-------------|
| 顔縁・枠 | 集成材 | 赤松系 | 厚さ 25 | B種 | 1等・2等 | ・ |
| | | | | | 1等・2等 | ・ |
| | | | | | 1等・2等 | ・ |

・「集成材の日本農林規格」による化粧板仕造作用集成材

| 施工箇所 | 品名 | 材種名 | 寸法 (mm) | 化粧薄板の 厚さ(mm) | 見付け材面 | 見付け材面の品質 | 間伐材等の 適用 |
|------|----|--------------|------------|-----------------|-------|-----------|-------------|
| | | 化粧薄板： 芯材： | | | | 1等 ・2等 | ・ |
| | | 化粧薄板： 芯材： | | | | 1等 ・2等 | ・ |
| | | 化粧薄板： 芯材： | | | | 1等 ・2等 | ・ |

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

| 施工箇所 | 材種名 | 寸法 (mm) | 見付け材面の品質 | 含水率 | 間伐材等の 適用 |
|------|-----|------------|----------|-------|-------------|
| | | | | 15%以下 | ・ |
| | | | | 15%以下 | ・ |
| | | | | 15%以下 | ・ |

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧板仕造作用集成材

| 施工箇所 | 材種名 | 寸法 (mm) | 化粧薄板の 厚さ(mm) | 見付け材面の品質 | 含水率 | 間伐材等の 適用 |
|------|--------------|------------|-----------------|----------|-------|-------------|
| | 化粧薄板： 芯材： | | | | 15%以下 | ・ |
| | 化粧薄板： 芯材： | | | | 15%以下 | ・ |
| | 化粧薄板： 芯材： | | | | 15%以下 | ・ |

・「合板等

・合板等

・「合板の日本農林規格」による普通合板 G

(12.2.1)

| 施工箇所 | 厚さ (mm) | 単板の 樹種名 | 接着の 程度 | 板面の品質 | 防虫処理 | 間伐材等の 適用 |
|------|------------|------------|-----------|------------------------------------|-----------------|-------------|
| | 5.5 | | 1類 ・2類 | 広葉樹 2等以上 ・1等 針葉樹 C-D以上 | ・適用する ・適用しない | ・ |

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 G

| 施工箇所 | 等級 | 単板の 樹種名 | 接着の 程度 | 板面の 品質 | 厚さ (mm) | 防虫 処理 | 強度 等級 | 間伐材等の 適用 |
|------|-------------|------------|-----------|-----------|------------|-------------------------|------------------|-------------|
| | 2級以上 ・1級 | | 1類 ・特類 | C-D以上 | 12 | ・適用 する ・適用 しない | ・適用 する () | ・ |

・「合板の日本農林規格」による化粧板仕構造用合板 G

| 施工箇所 | 厚さ (mm) | 単板の樹種名 | 接着の程度 | 防虫処理 | 間伐材等の 適用 |
|------|------------|--------|------------|-----------------|-------------|
| | | | ・1類 ・特類 | ・適用する ・適用しない | ・ |
| | | | | | ・ |
| | | | | | ・ |

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 G

| 施工箇所 | 化粧板に使用する単板の樹種名 | 厚さ (mm) | 接着の程度 | 防虫処理 |
|------|----------------|------------|------------|-----------------|
| | | | ・1類 ・2類 | ・適用する ・適用しない |

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 G

| 施工箇所 | 厚さ (mm) | 接着の程度 | 単板の樹種名 | 化粧加工の方法 | 防虫処理 |
|------|------------|------------|--------|---------|-----------------|
| | | ・1類 ・2類 | | | ・適用する ・適用しない |

・パーティクルボード G

| 施工箇所 | 表裏面の状態による区分 | 曲げ強さによる区分 | 耐水性による区分 | 難燃性による区分 | 厚さ (mm) |
|------|-------------|-----------|----------|----------|------------|
| | | 13タイプ | P又はM | | 15 |

・JAS 0360 に基づく構造用パネル

| 施工箇所 | 寸法 (mm) |
|------|---------|
| | |
| | |
| | |

・MDF G

| 施工箇所 | 厚さ (mm) | 表裏面の状態による区分 | 曲げ強さによる区分 | 接着剤による区分 | 難燃性による区分 |
|------|------------|-------------|-----------|----------|----------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

造作材の化粧面の釘打ち
隠し釘打ち
・釘隠埋め木
・つぶし隠釘打ち
・釘隠現し
諸金物
かすがい、座金、箱金物、短冊金物
(標準仕様書表12.2.3～5に示す程度の市販品 表14.2.2のF種程度)
・
(形状： 寸法： 材質：)

(12.2.2)

接着剤のホルムアルデヒドの放散量
F

(12.2.2、3)

・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材
適用部位： ()

(12.3.1、1、2)

・内部開仕切軸組及び床組み

・窓、出入口その他

・床板張り

・壁及び天井下地

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

| 適用部材 | 保存処理性能区分 |
|------|-------------------|
| | ・K2 ・K3 ・K4 |
| | ・K2 ・K3 ・K4 |
| | ・K2 ・K3 ・K4 |

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

| 適用部材 | 処理の方法 | 薬剤の種類 |
|------|--------------|--------------------|
| | 薬剤の製造所の仕様による | JIS K 1571に適合又は同等品 |
| | | |
| | | |

・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理
適用部位 ()
・合板等の加圧注入処理の適用
適用部位 ()

・間仕切軸組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
杉又は松
・床組みに用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
杉又は松

(12.4.1)

・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
吊元桧、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉

(12.5.1)

・縁甲板及び上がりがまちに用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
ひのき

(12.6.1)

・壁胴縁、野縁受桟、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
杉又は松

(12.7.1)

・長尺金属板葺

・折板葺

・粘土瓦葺

(13.2.2、3)

| 施工箇所 | 板及び骨のの種類 | 塗膜の耐久性の種類、めつき付着量 | 厚さ (mm) | 屋根葺形式 | 備考 |
|------|-------------------------------|------------------|----------------------|---------------------------------|----|
| | JIS G 3322のxs=1.19; 屋根用(着色・有) | ・5類(AZ150) | xs=1.19; 0.4 ・0.5 | ・心木なし瓦葺葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺 | |

下葺材料
・アスファルトルーフィング 940
・改質アスファルトルーフィング下葺材
(一般タイプ・複層基材タイプ・粘着層付タイプ)
横葺きの場合のけらば納め
・つかみ込み納め
・けらば包み納め
工法
1章 適用区分による風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
雪止め
・設置する (形状及び施工箇所・図示による)
・設置しない

(13.2.2)(13.3.2.)(表 13.1.1)

| 施工箇所 | 形式 | 山高、山びつによる区分 | 耐力による区分 | 材料による区分 | 厚さ (mm) | 軒先面戸板 | 耐火性能 |
|------|-------------------------|-------------|---------|-------------------|------------|-------|-------------|
| | ・重ね形 ・はせ縁め形 ・かな合形 | | ()種 | 銅板製 ・7Aに2A合金板製 | ・有り ・無し | | ・30分 ・無し |

材料
折板の材質の種類(JIS G 3302の屋根用(着色・有))
塗膜の耐久性の種類、めつき付着量(・5類(AZ150))
断熱材張り
・行う (断熱材の種類： 厚さ(mm)： 防火性能：)
・行わない
工法
1章 適用区分による風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
耐雪性能に対応した工法の適用
・適用する
・適用しない
折板のけらば納め
けらば包みによる方法
雪止め
・設置する (形状及び施工箇所・図示による)
・設置しない

(13.4.2、3)

| 施工箇所 | 種類 | 製法による区分 | 形状による区分 | 寸法による区分 | 産地 | 役物瓦の種類 | 雪止め瓦 |
|------|----|---------|---------|---------|----|--------|-----------------|
| | | | | | | | ・適用する ・適用しない |
| | | | | | | | ・適用する ・適用しない |

粘土瓦の防災瓦の使用
・適用する
・適用しない
JISAS208に基づく凍害試験等
・行う
・行わない

備考

一級建築士事務所
株式会社 工藤金正建築設計
弘前市大字城北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正

承認
Kudou

担当
Sugimi

製図
Sugimi

年月日
R 7. 3

工事名称
令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事

図面名称
建築特記仕様書 3

縮尺
-

設計番号
A 04

[illegible]

[illegible]

[illegible]


[illegible]

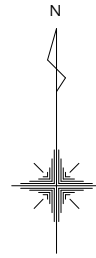
| 外 部 仕 上 表 | | | | 断 熱 材 仕 様 （休憩室・給湯室） | |
|-----------|---|---------|--|---------------------|----------------------------|
| 屋 根 | カラーガルバリウム鋼板t0.4 横葺、アスファルトルーフィング940、モルタル金ゴテt30下地 破風板・唐草・棟押え：カラーガルバリウム鋼板t0.4包み | ポ ー チ | 天井：ケイ酸カルシウム板 t6.0 目透張、E P-G塗装、L G S25下地 （天井高H = 2,700） 壁：外壁と同様 床：コンクリート金ゴテ仕上 | 屋 根 | 硬質ウレタンフォーム t30 吹付（A種1H） |
| 軒 天 井 | コンクリート打放し補修、高浸透性吸水防止材、アクリルシリコン樹脂クリアー塗装 | 外 部 建 具 | サッシ：アルミ製サッシ、 シャッター：軽量鋼板シャッター 引き戸：アルミ製ハンガー戸 | 外 壁 | 硬質ウレタンフォーム t30 吹付（A種1H） |
| 外 壁 | コンクリート打放し補修、下地処理（コーン処理のみ）、高浸透性吸水防止材、アクリルシリコン樹脂クリアー塗装 小口タイル貼（接着工法）目地 | 靴 洗 い | コンクリート打放し補修 ステンレス製グレーチング：600 × 450 × 20（歩） | 床 | 押出法ポリスチレンフォーム保温板 t50（2種bA） |
| 根 廻 り | コンクリート打放し補修 | そ の 他 | 外部サッシ両脇：ステンレス製雪囲い金物設置 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

[illegible]

| 防火材料認定番号 | | 塗装記号凡例 | | | |
|-----------------|--------------------|-----------------|----------------|--------------------------|---------------------|
| 化粧スラグ石膏コウ板t=5.0 | (不燃)NM - 8315 | 石コウボードt=9.5 | (準不燃)QM - 9828 | OP 油性調合ベイト塗 | AE アクリル樹脂エナメル塗 |
| ケイ酸カルシウム板t=5、6 | (不燃)NM - 8578 | 化粧石コウボードt=9.5 | (準不燃)QM - 9824 | SOP 合成樹脂調合ベイト塗 | UC ポリウレタン樹脂ワニス塗 |
| ビニールクロス | (準不燃)QM - 0144(参考) | 不燃化粧石コウボードt=9.5 | (不燃)NM - 8613 | AEP アクリル樹脂エマルジョンベイト塗 | OSCL オイルステンクリアラッカー塗 |
| 不燃無機質クロス | (不燃)NM - 3991(参考) | グラスウールボード | (不燃)NM - 8605 | VP 塩化ビニール樹脂エナメル塗 | OSW オイルステンワックス塗 |
| 石コウボードt=12.5 | (不燃)NM - 8619 | | | FE フタル酸樹脂エナメル塗 | PWP ポリウレタン樹脂系塗 |
| | | | | EP 合成樹脂エマルジョンベイト塗 | CL クリアラッカー塗 |
| | | | | EP-G 合成樹脂エマルジョンベイト塗(つや有) | WP 木材保護塗装 |
| | | | | | |

| | |
|--|--|
| 特記・共通事項 | |
| 使用する仕上材（小屋裏、壁、床下地材等含む）、集成材、塗装、家具等はすべてFとする。 | |
| 使用する建築材料は全てクロルピリホスを含まないものとする。 | |
| サッシ額縁、内部建具枠は集成材t=25（赤松）とする。塗装C1とする。 | |
| 天井廻り縁は塩ビ製コ型とする。 | |
| 地中梁貫通補強筋は大臣認定品による。（150 : 5ヶ所、125 : 4ヶ所） | |
| 仮囲いは成形鋼板H=2,000で行い、クロスゲート1箇所設置する。 | |
| 「浄化槽設置届」提出作業、検査手数料は工事費に含む。 | |

| | | | | | | | | | | |
|----|--|-------|--------|--------|------|------|-------------------------|----|------|--------|
| 備考 |  一級建築士事務所 株式会社 工藤金正建築設計 <small>青森県A1第495号 1級建築士第153872号 弘前市大字城北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正</small> | 承認 | 担当 | 製図 | 年月日 | 工事名称 | 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事 | 縮尺 | 設計番号 | — |
| | | Kudou | Sugimi | Sugimi | R7.3 | 図面名称 | 仕上表 | | 図面番号 | A — 11 |



概 要

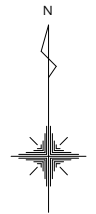
建設地：青森県弘前市大字大森字勝山961-3

都市計画区域：区域外 用途地域・防火地域：指定なし

敷地面積：889 m²

用 途：休息便益施設

構 造：壁式鉄筋コンクリート造 平屋建




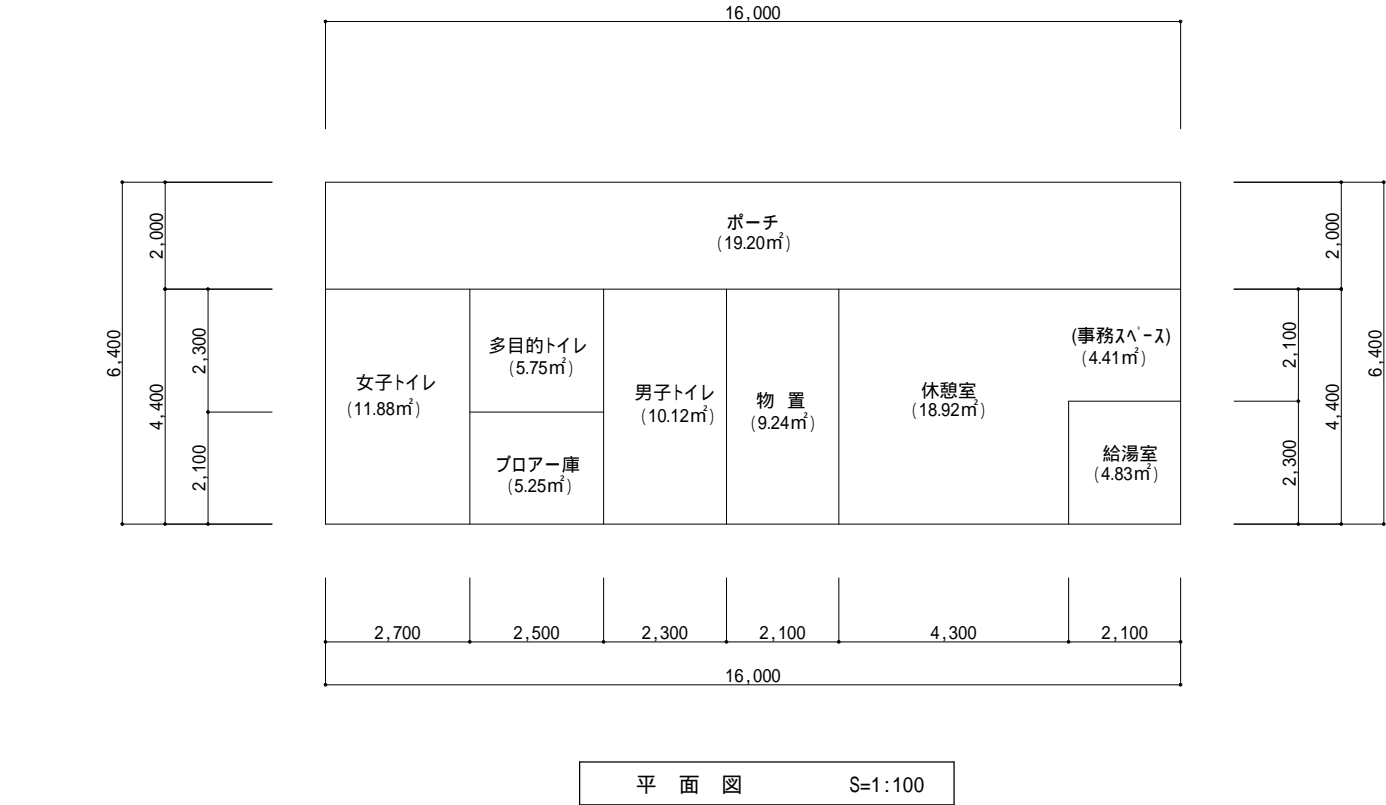
配置図

S=1 : 500

設計 G L : 125.40

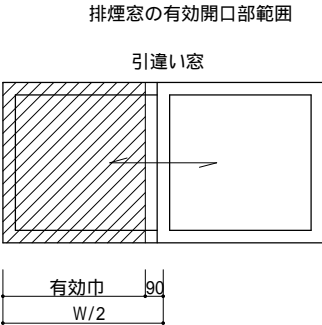
○ 設計 G L からの高低差

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|--|--------|--------|-------|------|-----------|------|--------|------|-------------------------|-------------|------|---|
| 備考 | 一級建築士事務所 青森県A1第495号  株式会社 工藤金正建築設計 1級建築士第153872号 弘前市大字城北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正 | | | | 承認 | 担当 | 製図 | 年月日 | 工事名称 | 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事 | 縮尺 1:500 | 設計番号 | — |
| | Kudou | Sugimi | Sugimi | R 7.3 | 図面名称 | 付近見取図・配置図 | 図面番号 | A — 12 | | | | | |



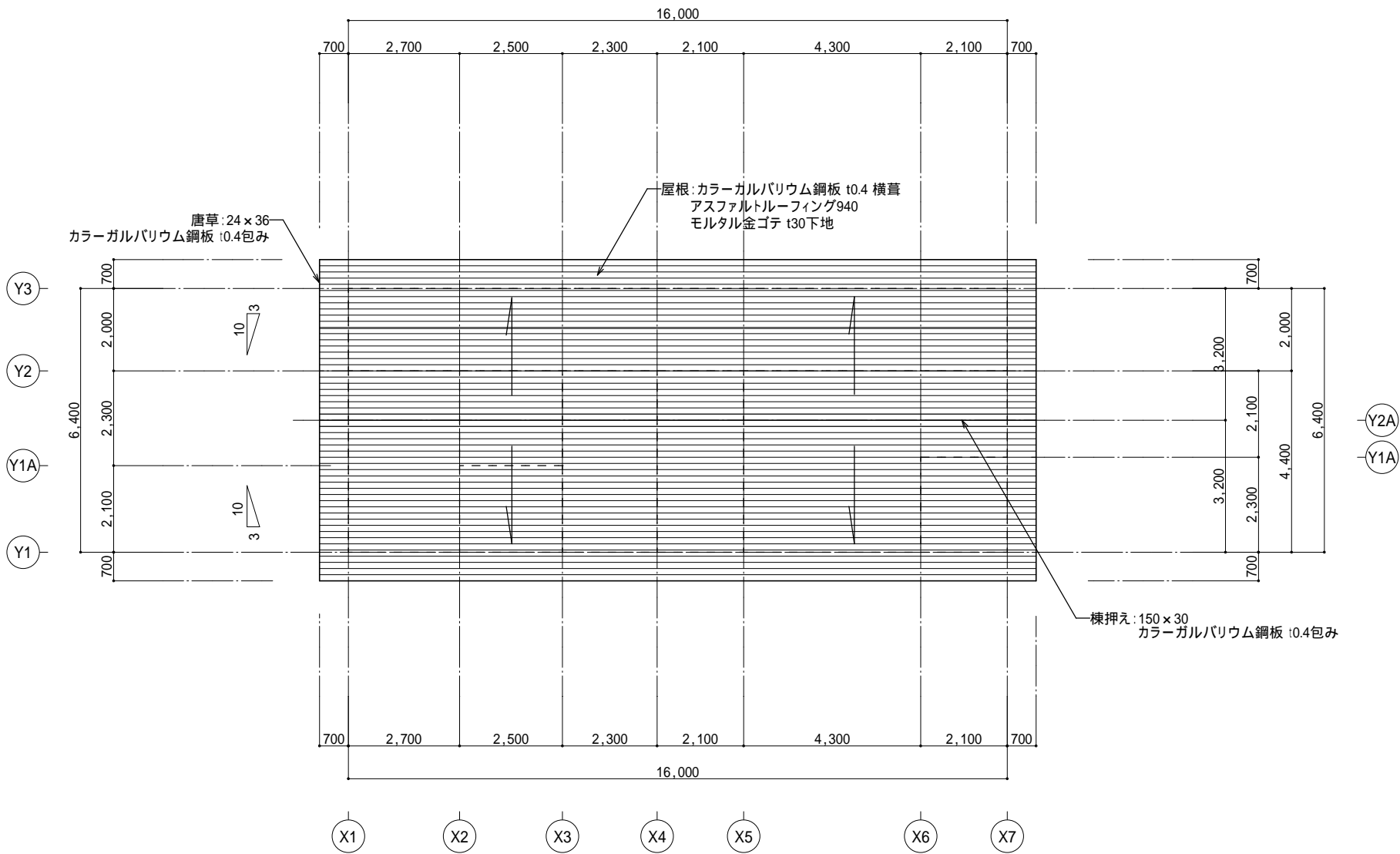
| 建物求積表 | | | |
|--------|-------------------------------|------------------------|-------------------------|
| 建築面積 | 16.000 × 6.400 | | 102.4000 m ² |
| | | | |
| 床面積 | 16.000 × 4.400 | | 70.4000 m ² |
| | | | |
| 各室求積表 | | | |
| 休憩室 | 4.300 × 4.400 + 2.100 × 2.100 | 23.3300 m ² | 70.40 m ² |
| 給湯室 | 2.100 × 2.300 | 4.8300 m ² | |
| 物 置 | 2.100 × 4.400 | 9.2400 m ² | |
| 男子トイレ | 2.300 × 4.400 | 10.1200 m ² | |
| 多目的トイレ | 2.500 × 2.300 | 5.7500 m ² | |
| 女子トイレ | 2.700 × 4.400 | 11.8800 m ² | |
| フロアー庫 | 2.500 × 2.100 | 5.2500 m ² | |
| | | | |
| | | | |

| 休憩室（事務コーナー含む） | | | | 23.33m ² |
|---|---------|------------------------------|---------|---------------------|
| <div>AW-1</div> <div>500</div> <div>1300</div> <div>1300</div> <div>1000</div> <div>2600</div> <div>400</div> <div>1200</div> <div>1000</div> <div>2600</div> <div>AW-2</div> | 排煙計算 必要 | 23.33 × 1/50 | 0.4666 | |
| | 有効 | 0.760 × 0.500 × 1 (AW-1) | | |
| | | 0.510 × 0.400 × 1 (AW-2) | 0.5840 | |
| | 判定 | 0.47 < 0.58 | OK | |
| | 換気計算 必要 | 23.33 × 1/20 | 1.1665 | |
| | 有効 | 0.760 × 1.300 × 1 (AW-1) | | |
| | | 0.510 × 1.200 × 1 (AW-2) | 1.6000 | |
| | 判定 | 1.17 < 1.60 | OK | |
| | 採光計算 必要 | 23.33 × 1/20 | 1.1665 | |
| | 有効 | 1.700 × 1.300 × 1 × 3 (AW-1) | | |
| | | 1.200 × 1.200 × 1 × 3 (AW-2) | 10.9500 | |
| | 判定 | 1.17 < 10.95 | OK | |
| 採光補正係数:3 D=6.300 H=2.600 6.300/2.600x10-1=23 3 | | | | |

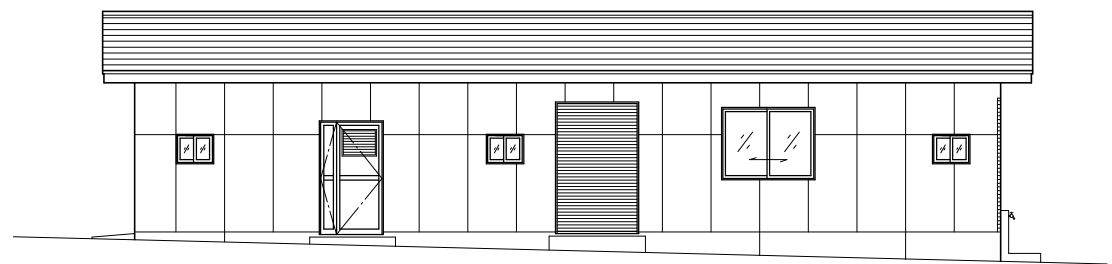


無窓階検討表（1階）

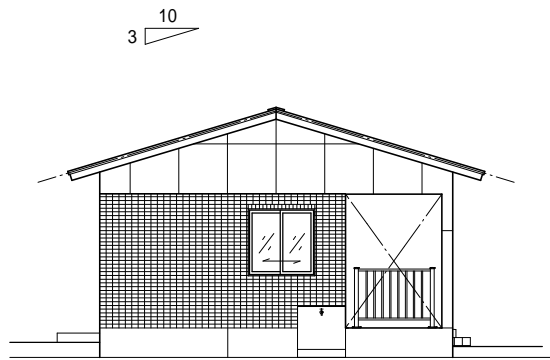
| 床面積 70.40 m ² | | 必要開口部面積(A / 30) 2.35 m ² | | 有効開口部面積合計 3.65 m ² | | 算定結果 (普)・無 | 消防機関 |
|--------------------------|---------------|-------------------------------------|-------------------------|-------------------------------|-------|------------|------|
| 建 具 記 号 | 開口部位置 又は方角 | 床からの 高さ(m) | 幅(m) × 高さ(m) × 所在ヶ所 | 開口部面積 小計 (m ²) | 開口部種別 | 備 考 | |
| AD-3 | 休憩室 | 0.00 | 0.870 × 2.100 × 1 | 1.827 | 片引き戸 | | |
| AW-1 | 休憩室 | 1.00 | 1.700 × 1.300 × 1 × 1/2 | 1.105 | 引違い窓 | | |
| AW-2 | 休憩室 | 1.00 | 1.200 × 1.200 × 1 × 1/2 | 0.720 | 引違い窓 | | |
| | | | | | | 小 計 | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |



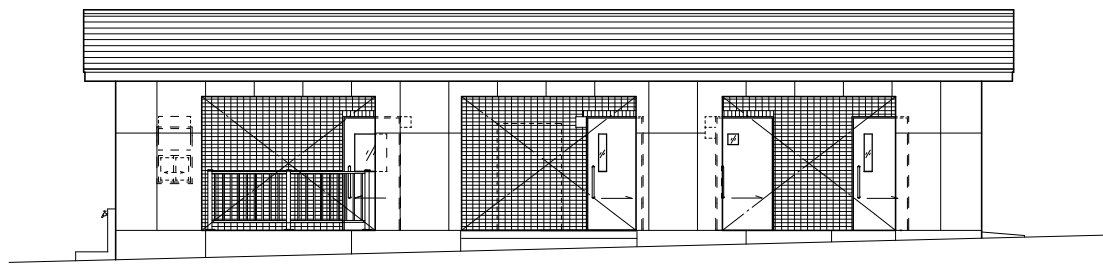
屋根伏図 S=1:100



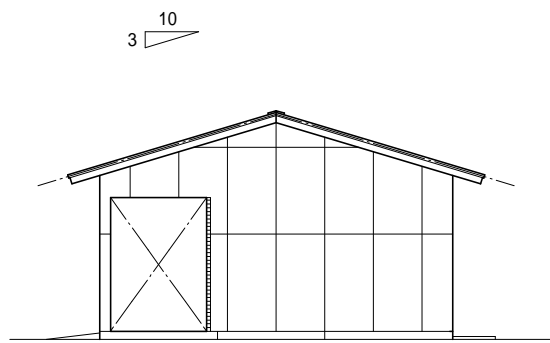
南東 立 面 図 S=1:100



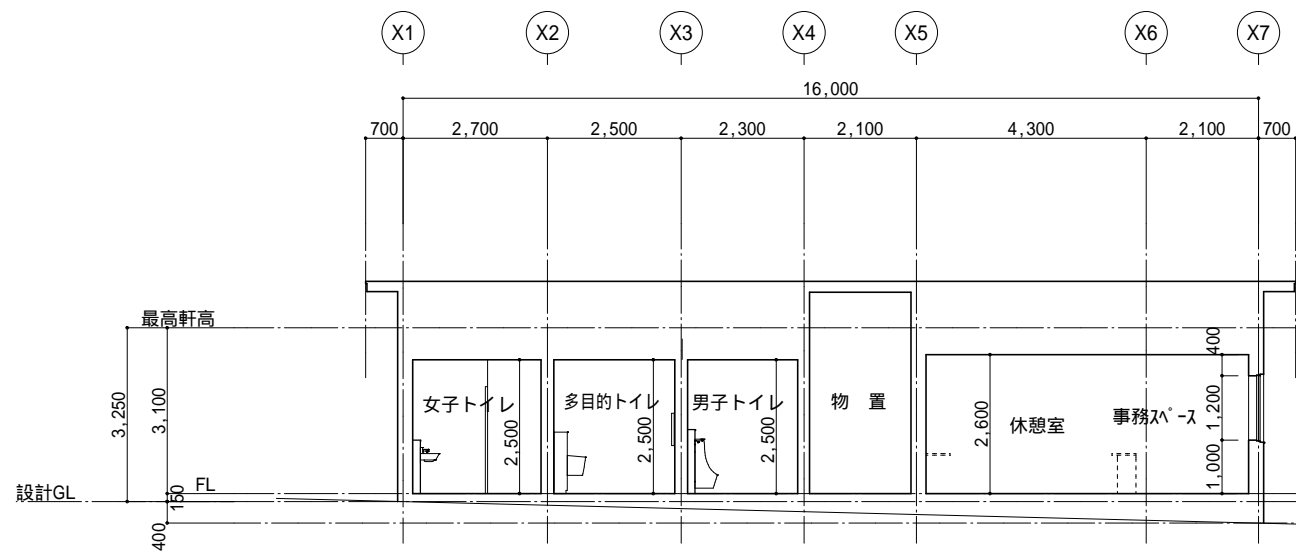
北東 立 面 図 S=1:100



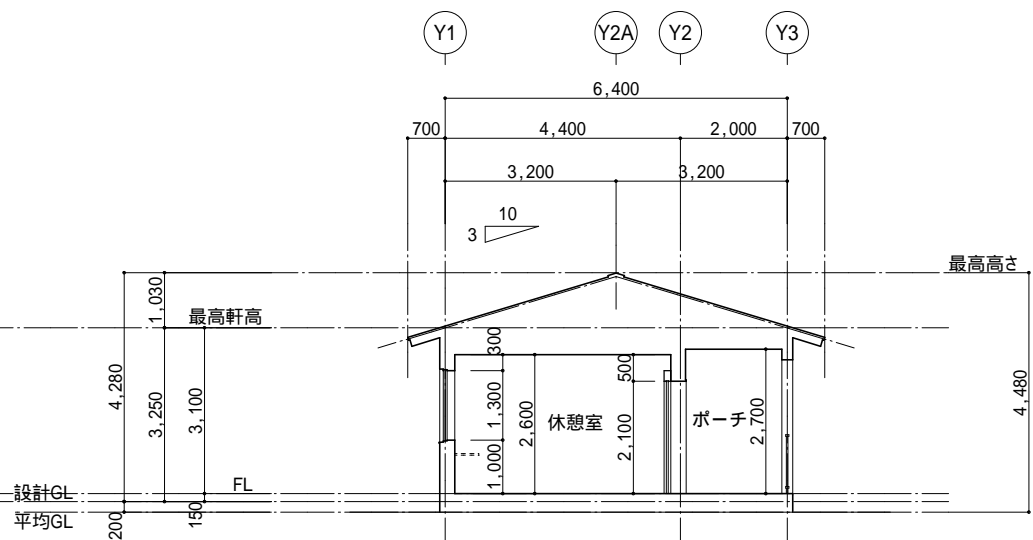
北西 立 面 図 S=1:100



南西 立 面 図 S=1:100

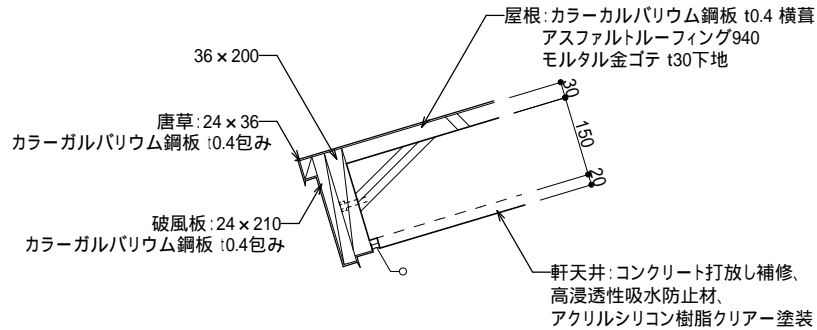


断 面 図 S=1:100

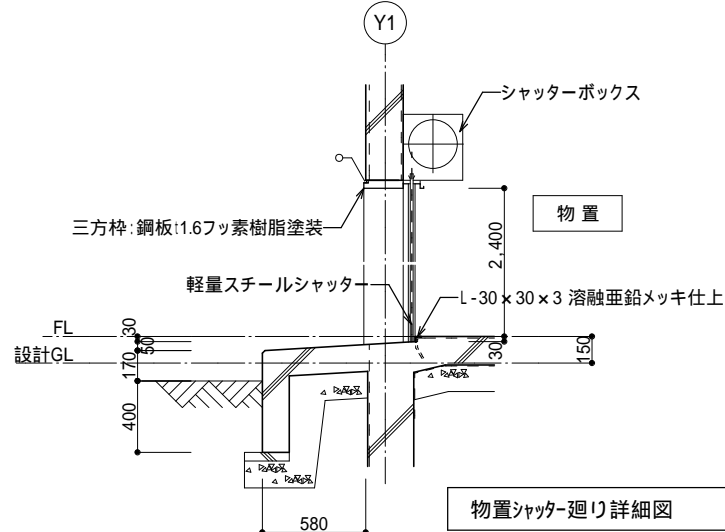


断 面 図 S=1:100

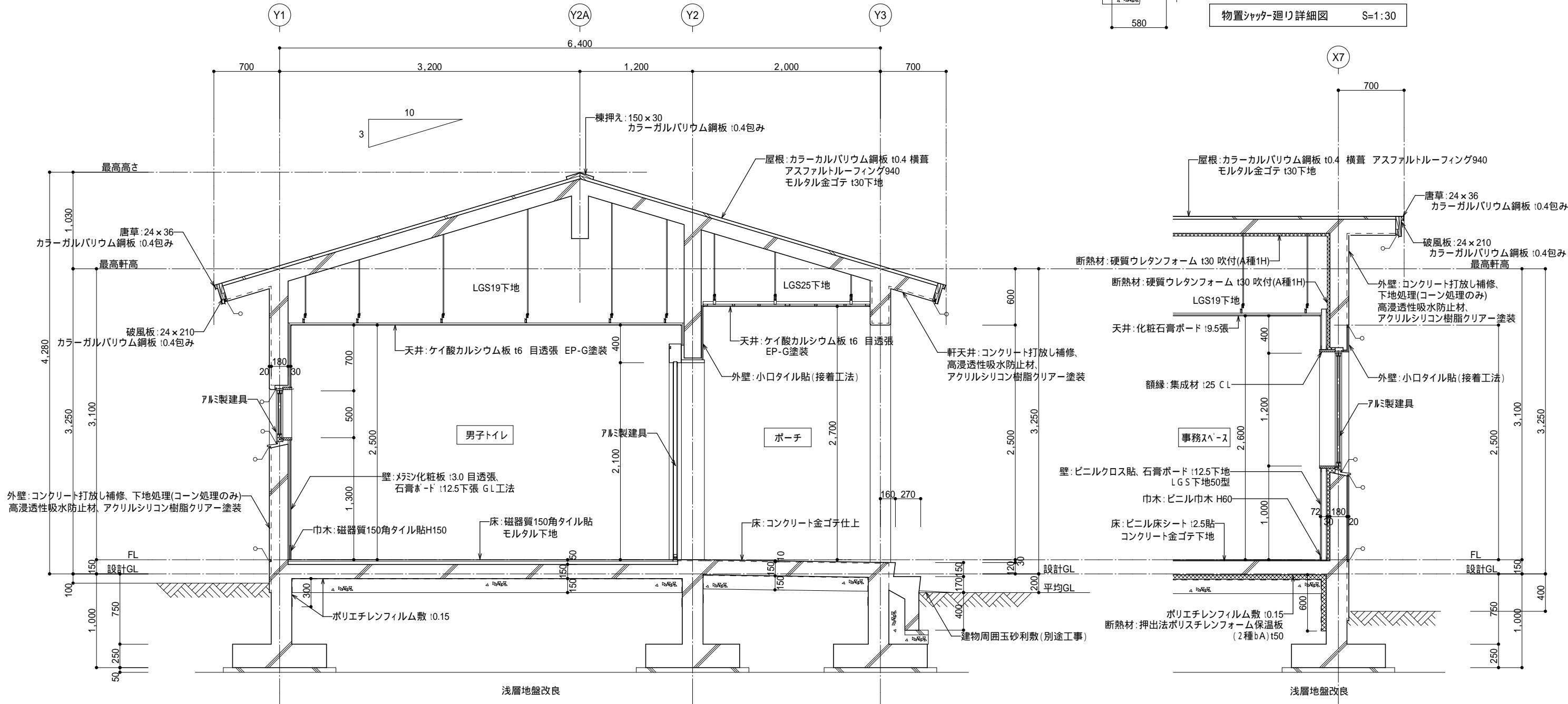
| | | | | | | | | | | | |
|----|-------------------------------------|--|--|--|-------|--------|--------|--------|-------------------------|-------|-------------|
| 備考 | 一 級 建 築 士 事 務 所 青 森 県 A 1 第 4 9 5 号 | | | | 承 認 | 担 当 | 製 図 | 年 月 日 | 工事名称 | 縮 尺 | 設計番号 |
| | 株式会社 工藤金正建築設計 青森県第153872号 | | | | Kudou | Sugimi | Sugimi | R 7. 3 | 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事 | 1:100 | 設計番号 |
| | 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正 | | | | | | | | 図面名称 | | 図面番号 A — 16 |



軒先詳細図 S=1:10



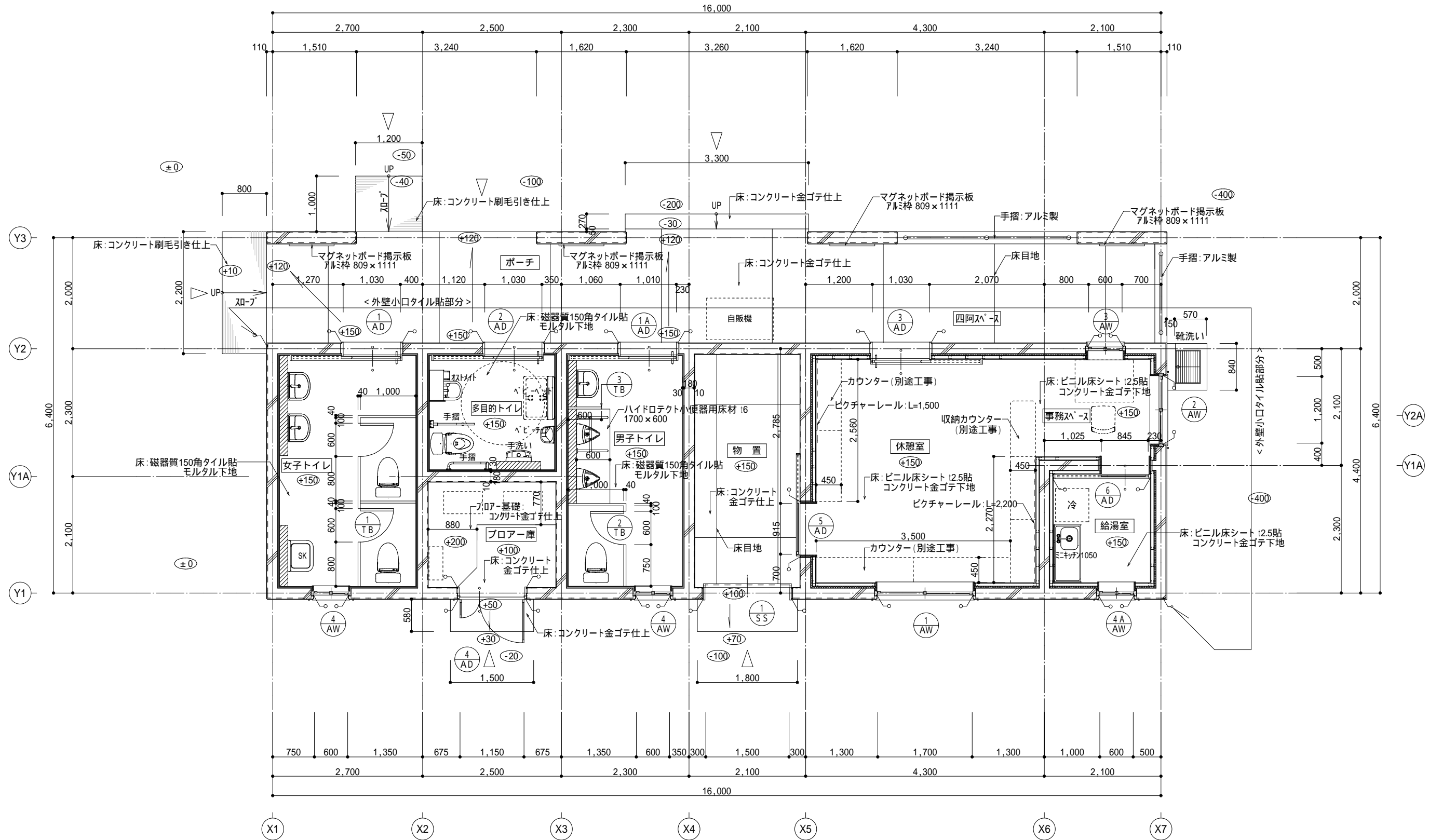
物置シャッター廻り詳細図 S=1:30



シーリング(ポリサルファイド系)15×10

矩計図 S=1:30

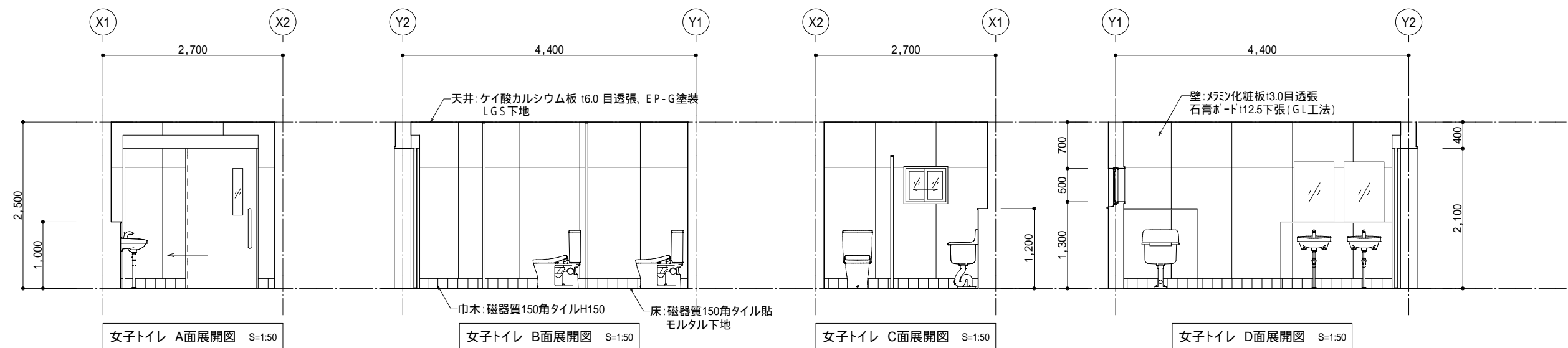
| | | | | | | | | | | |
|----|-------------------|--|-------|--------|--------|------|------|-------------------------|------|-----------|
| 備考 | 設計GL : 125.40 とする | <div>一級建築士事務所 青森県A1第495号 株式会社 工藤金正建築設計 1級建築士第153872号 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正</div> | 承認 | 担当 | 製図 | 年月日 | 工事名称 | 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事 | 縮尺 | 設計番号 |
| | | | Kudou | Sugimi | Sugimi | R7.3 | 図面名称 | 矩計図 | 1:30 | 図面番号 A-17 |

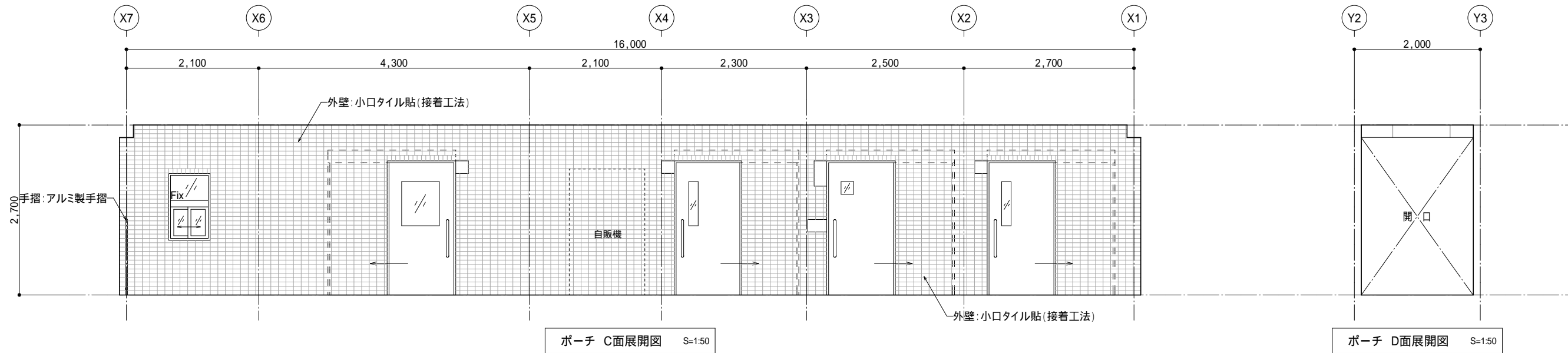
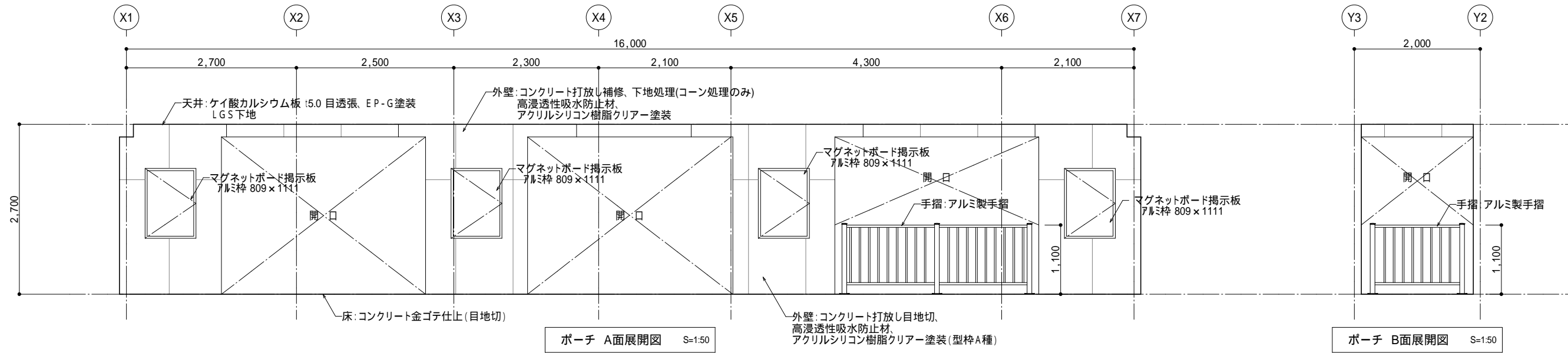


平面詳細図 S=1:50

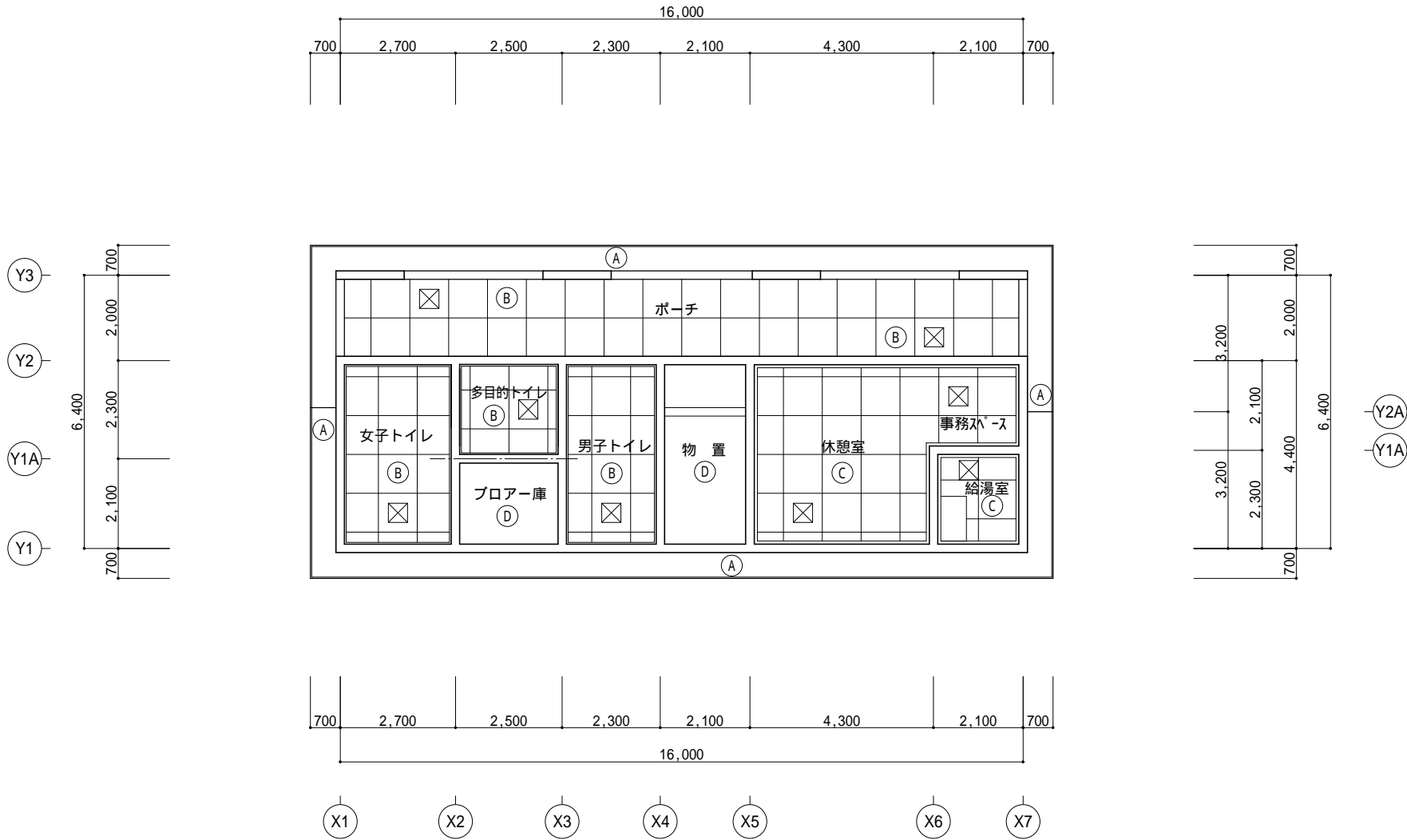
- 建具記号を表す
- 設計GLからの床高を表す

| | | | | | | | | | | | |
|----|-------------------------------------|--|--|--|-------|--------|--------|--------|-------------------------|------|------|
| 備考 | 一級建築士事務所 青森県A1第495号 | | | | 承認 | 担当 | 製図 | 年月日 | 工事名称 | 縮尺 | 設計番号 |
| | 株式会社 工藤金正建築設計 1級建築士第153872号 | | | | Kudou | Sugimi | Sugimi | R 7. 3 | 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事 | 1:50 | 図面番号 |
| | 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正 | | | | 平面詳細図 | | | | A — 18 | | |





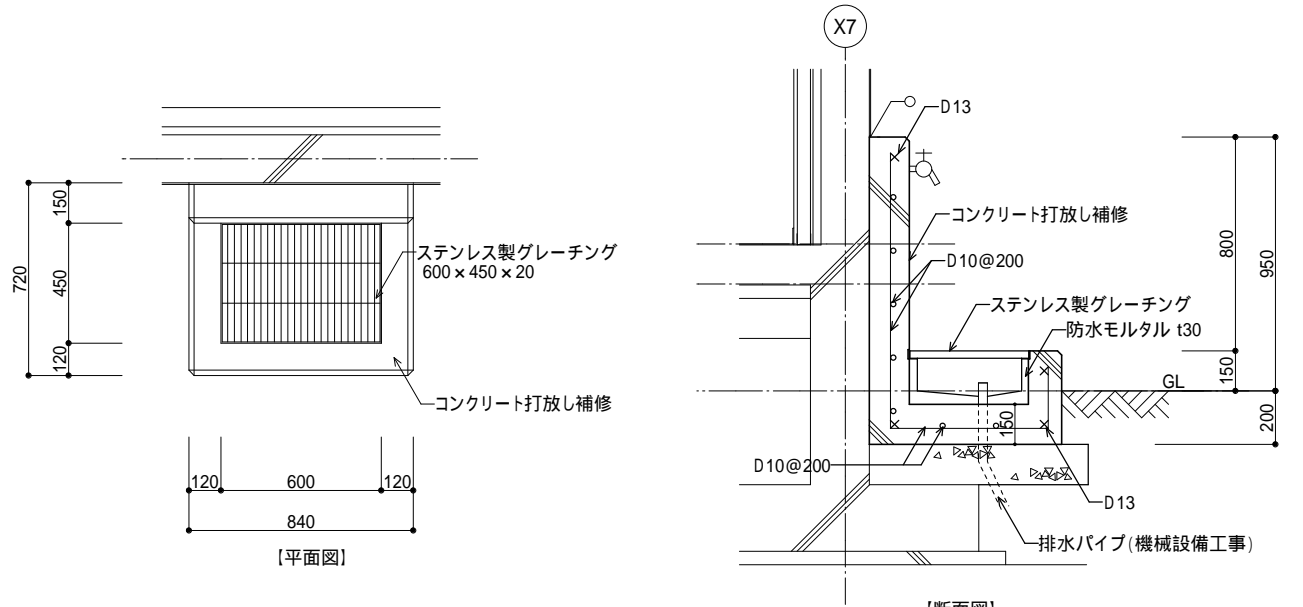
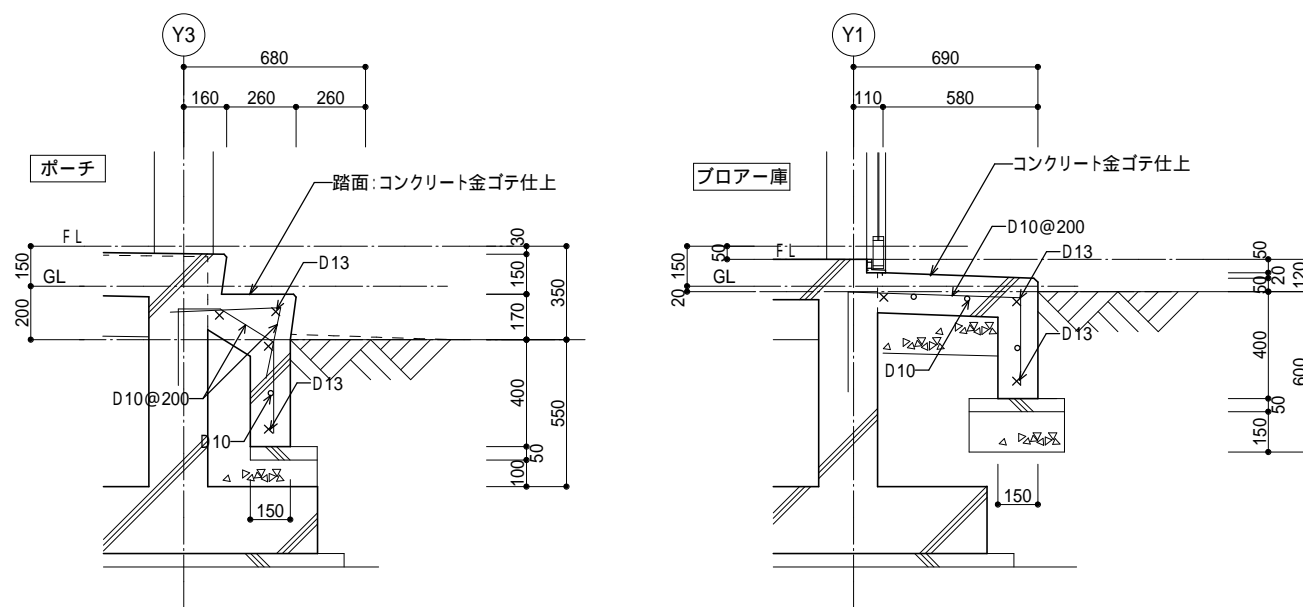
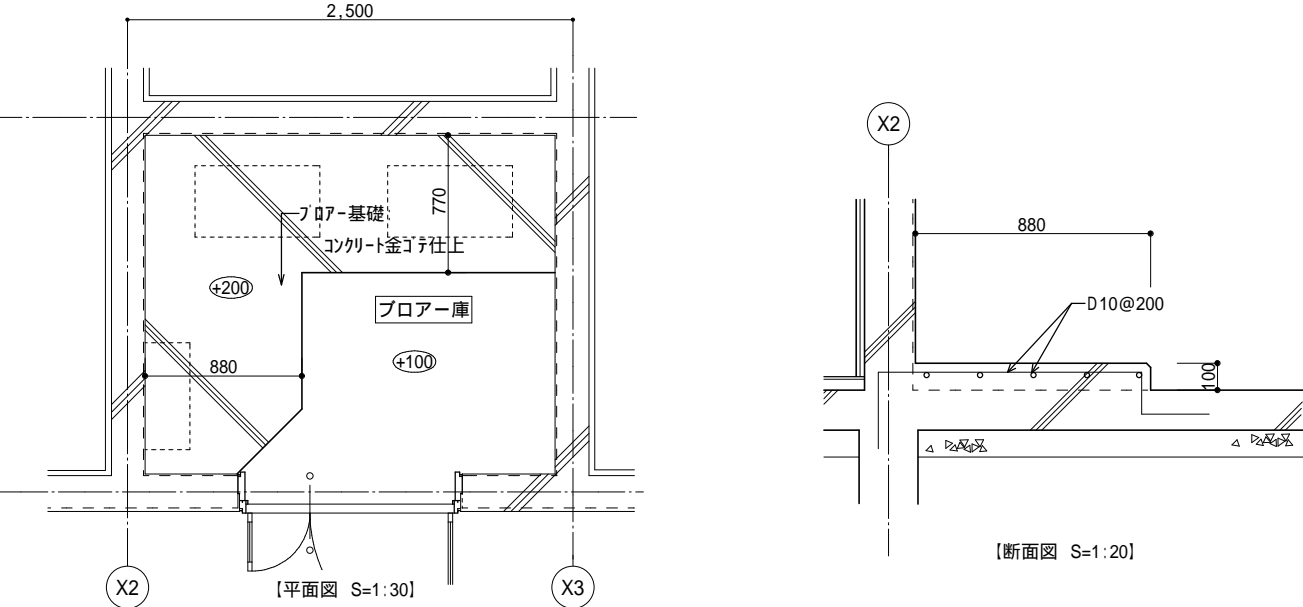
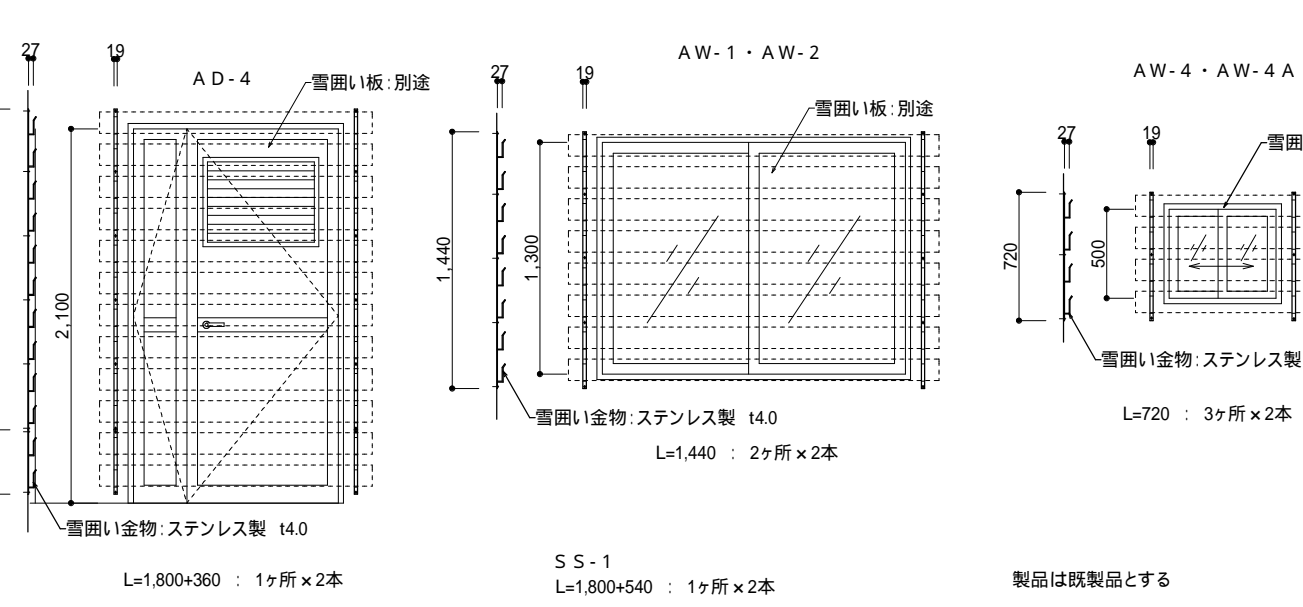
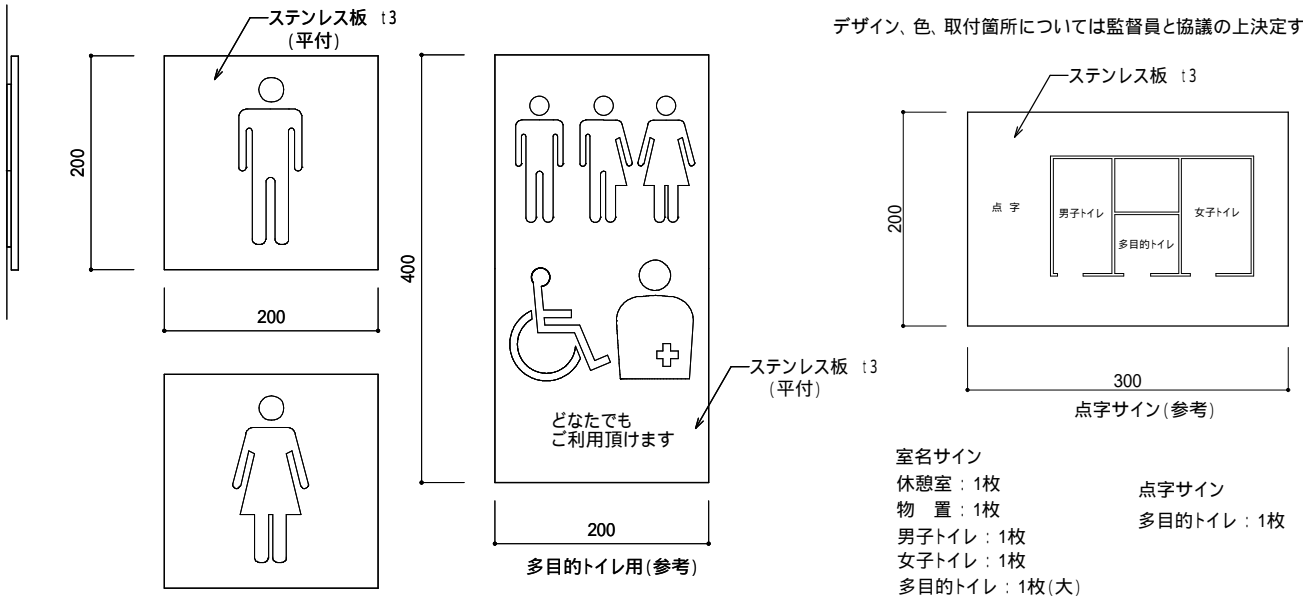
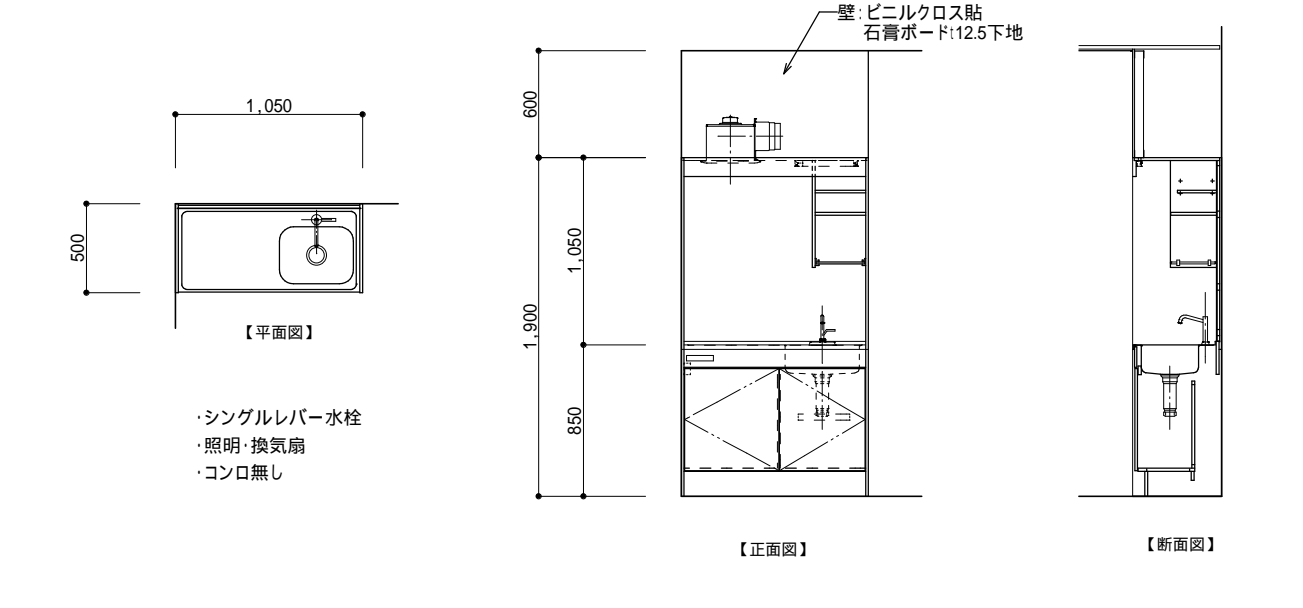
| | | | | | | | | | | | |
|----|-------------------------------------|--|--|--|-------|--------|--------|--------|-------------------------|------|------|
| 備考 | 一級建築士事務所 青森県A1第495号 | | | | 承認 | 担当 | 製図 | 年月日 | 工事名称 | 縮尺 | 設計番号 |
| | 株式会社 工藤金正建築設計 1級建築士第153872号 | | | | Kudou | Sugimi | Sugimi | R 7. 3 | 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事 | 1:50 | 図面番号 |
| | 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正 | | | | 展開図 3 | | | | A — 2 1 | | |

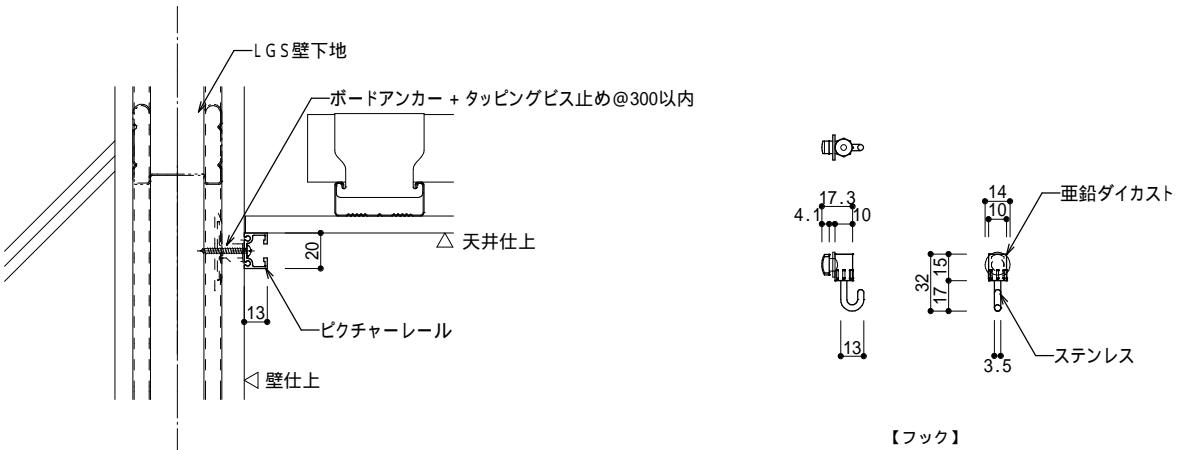
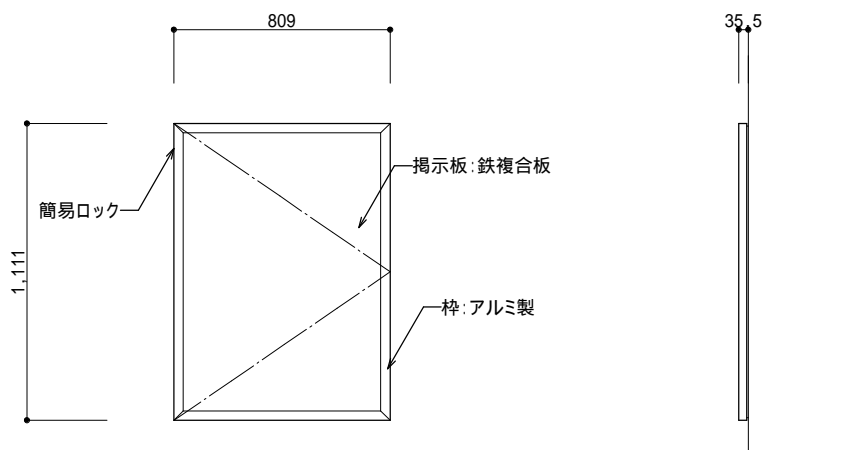
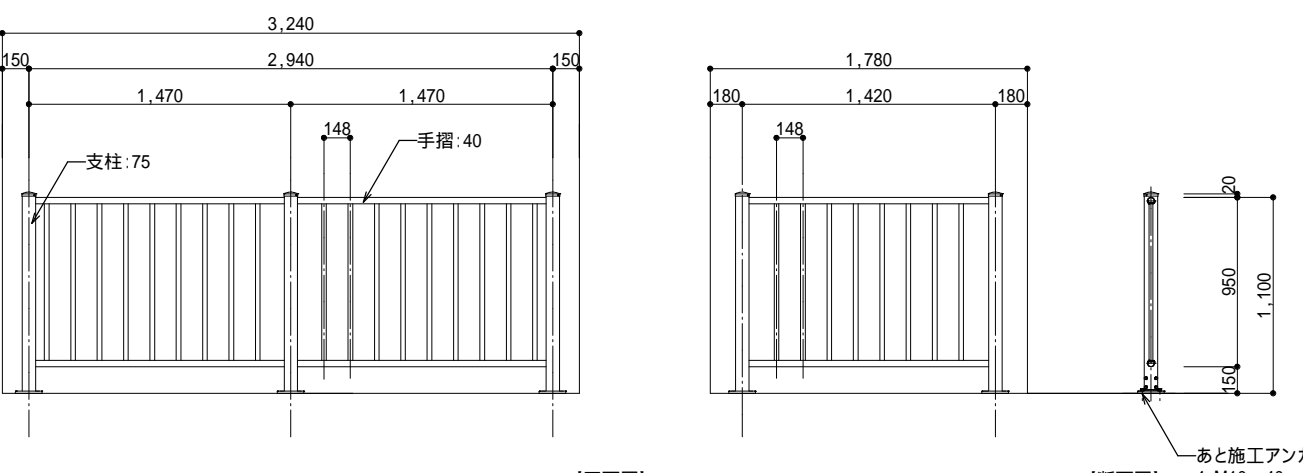
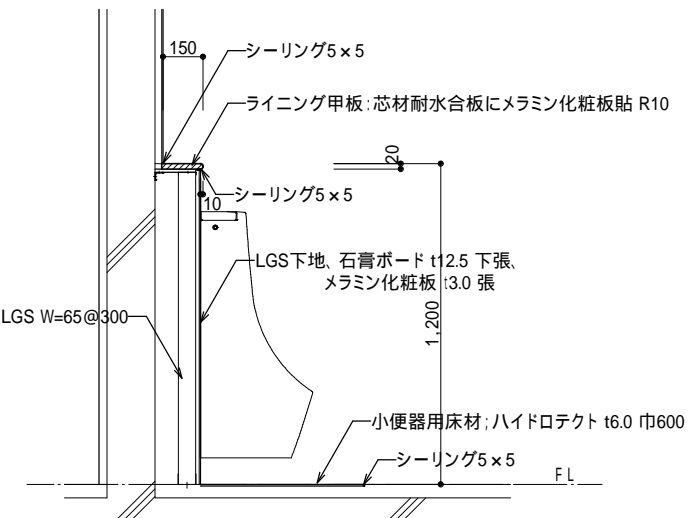


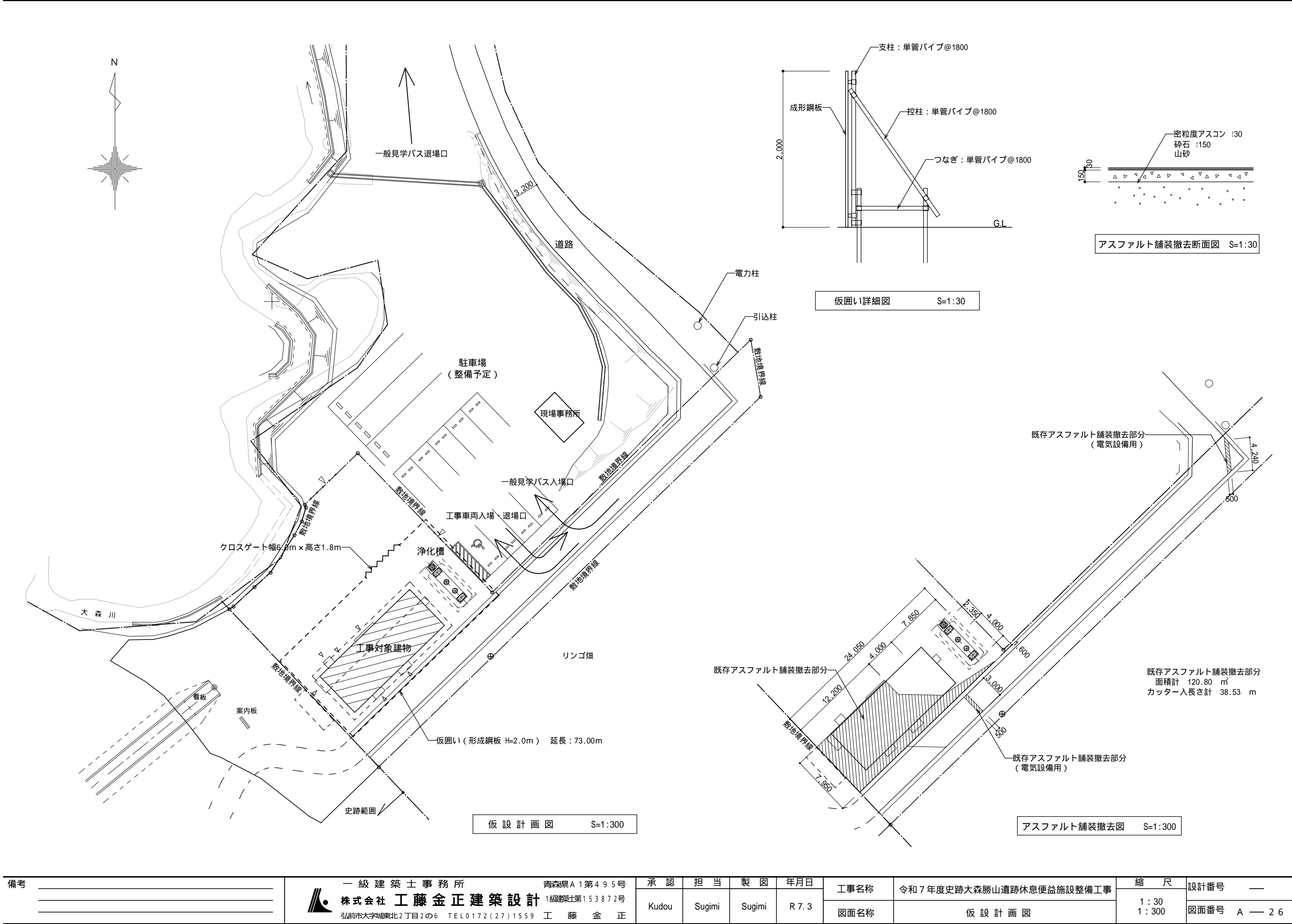
天井伏図 S=1:100

| 凡 例 | |
|-----|--|
| 符号 | 仕 上 |
| Ⓐ | コンクリート打放し補修、高浸透性吸水防止材、 アクリルシリコン樹脂クリアー塗装 |
| Ⓑ | ケイ酸カルシウム板 t6.0 目透張、EP-G塗装 |
| Ⓒ | 化粧石膏ボード t9.5張 (トラバ-チン模様)910×910 |
| Ⓓ | コンリート打放し(表し) |
| | |
| ☒ | 天井点検口:アルミ製450角(額縁タイプ) |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-------|---------------------------------------|-----------------------------------|------------------|-------|-------------------------|---------------------------------------|------------------|-------|---------------------|-----------------------------------|-------------|-------|--------|-----------------------------------|-----------|-------|-------------------------|----------------------|------|--|---------|--|--|--|--|--|
| 符号・カ所数 | | A D - 1 ・ A D - 1 A | 1ヶ所+1ヶ所 | A D - 2 | 1ヶ所 | A D - 3 | 1ヶ所 | A D - 4 | 1ヶ所 | A D - 5 | 1ヶ所 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 姿 図 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 名称・位置 | | 片引きハンガー戸 | 男子・女子トイレ | 名称・位置 | | 片引きハンガー戸 | 多目的トイレ | 名称・位置 | | 親子戸 | プロアー庫 | 名称・位置 | | 片引き戸 | 物置 | | | | | | | | | | | |
| | 仕 上 材 | | アルミ製フラッシュ | 見込：100 | 仕 上 材 | | アルミ製フラッシュ | 見込：100 | 仕 上 材 | | アルミ製 フラッシュ (アルミ 枠 t 3.0) | 見込：70 | 仕 上 材 | | アルミ製 框戸 (腰アルミ 枠 t 2.0) | 見込：70 | | | | | | | | | | | |
| | ガ ラ ス | | TF4 | | ガ ラ ス | | TF4 | | ガ ラ ス | | TFL4+A12+FL3 | | ガ ラ ス | | - | | ガ ラ ス | | F4 | | | | | | | | |
| | 金 物 | | ハンガーレール、把手、シリンダー錠、スルスス拵、額縁、付属金物一式 | | 金 物 | | ハンガーレール、把手、シリンダー錠(表示)、スルスス拵、額縁、付属金物一式 | | 金 物 | | ハンガーレール、把手、シリンダー錠、スルスス拵、額縁、付属金物一式 | | 金 物 | | 丁番、ハンドル、シリンダー錠、ドアカギ、額縁、ガラス、付属金物一式 | | 金 物 | | ステンレスレール、引手、錠、付属金物一式 | | | | | | | | |
| 備 考 | | 傾斜レール制御装置 | | 傾斜レール制御装置 | | 傾斜レール制御装置 | | | | 額縁：木製集成材 t 25 CL | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 符号・カ所数 | | A D - 6 | 1ヶ所 | A W - 1 | 1ヶ所 | A W - 2 | 1ヶ所 | A W - 3 | 1ヶ所 | A W - 4 ・ A W - 4 A | 2ヶ所+1ヶ所 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 姿 図 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 名称・位置 | | 片引き戸 | 給湯室 | 名称・位置 | | 引違い窓 | 休憩室 | 名称・位置 | | 引違い窓 + Fix窓 (段窓) | 休憩室(事務スペース) | 名称・位置 | | 引違い窓 | 男女トイレ・給湯室 | | | | | | | | | | | |
| | 仕 上 材 | | アルミ製 框戸 (腰アルミ 枠 t 2.0) | 見込：70 | 仕 上 材 | | アルミ樹脂複合 | 見込：102 | 仕 上 材 | | アルミ樹脂複合 | 見込：102 | 仕 上 材 | | アルミ製・ (A W - 4 A はアルミ樹脂複合) | 見込：70・102 | | | | | | | | | | | |
| | ガ ラ ス | | F4 | | ガ ラ ス | | TFL5+A12+Low-E5 | | ガ ラ ス | | TFL5+A12+Low-E5 | | ガ ラ ス | | F4・ (A W - 4 A はF4+A12+FL3) | | | | | | | | | | | | |
| | 金 物 | | ステンレスレール、引手、錠、付属金物一式 | | 金 物 | | クレセント、網戸、付属金物一式 | | 金 物 | | クレセント、網戸、付属金物一式 | | 金 物 | | クレセント、網戸、付属金物一式 | | | | | | | | | | | | |
| 備 考 | | 額縁：木製集成材 t 25 CL | | 額縁：木製集成材 t 25 CL | | 額縁：木製集成材 t 25 CL | | 額縁：木製集成材 t 25 CL | | 額縁：木製集成材 t 25 CL | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 符号・カ所数 | | S S - 1 | 1ヶ所 | T B - 1 | 1ヶ所 | T B - 2 | 1ヶ所 | T B - 3 | 1ヶ所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 姿 図 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 名称・位置 | | 軽量スチールシャッター | 物置 | 名称・位置 | | トイレブース | 女子トイレ | 名称・位置 | | トイレブース | 男子トイレ | 名称・位置 | | トイレブース | 男子トイレ | | | | | | | | | | | |
| | 仕 上 材 | | カラー鋼板 | スラット：0.4 | 仕 上 材 | | メラミン化粧板貼 | 見込：40 | 仕 上 材 | | メラミン化粧板貼 | 見込：40 | 仕 上 材 | | メラミン化粧板貼 | 見込：40 | | | | | | | | | | | |
| | ガ ラ ス | | - | | ガ ラ ス | | - | | ガ ラ ス | | - | | ガ ラ ス | | - | | | | | | | | | | | | |
| | 金 物 | | 座板、ガイドレール、ボックス、三方枠、付属金物一式 | | 金 物 | | ステンレス巾木、表示錠、戸当り、ラバトリ金物一式 | | 金 物 | | ステンレス巾木、表示錠、戸当り、ラバトリ金物一式 | | 金 物 | | ステンレス巾木、アルミ製柱、付属金物一式 | | | | | | | | | | | | |
| 備 考 | | 三方枠：鋼板1.6ツ素樹脂塗装 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 備考 | | 一 級 建 築 士 事 務 所 | | | | 青森県 A 1 第 4 9 5 号 | | | | 承認 | | 担当 | | 製 図 | | 年月日 | | 工事名称 | | 縮 尺 | | 設計番号 | | | | | |
| | | 株式会社 工藤金正建築設計 | | | | 青森県 A 1 第 1 5 3 8 7 2 号 | | | | Kudou | | Sugimi | | Sugimi | | R 7. 3 | | 図面名称 | | 1:50 | | 図面番号 | | | | | |
| | | 弘前市大字城北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工 藤 金 正 | | | | | | | | | | | | | | | | 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事 | | | | A — 2 3 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | 建 具 表 | | | | | | | | | |

| | |
|---|--|
| <div>靴洗い 詳細図</div> <div>S=1:20</div>  | <div>外部段 詳細図</div> <div>S=1:20</div>  |
| <div>フロアー庫基礎 詳細図</div> <div>S=1:20 S=1:30</div>  | <div>建具雪囲い金物 詳細図</div> <div>S=1:30</div>  |
| <div>サイン 詳細図</div> <div>S=1:5</div>  | <div>ミニキッチン 詳細図</div> <div>S=1:30</div>  |
| <div>備考</div> <div></div> | <div> <div> <div>一級建築士事務所</div> <div>青森県A1第495号</div> <div>1級建築士第153872号</div> <div>株式会社 工藤金正建築設計</div> <div>弘前市大字城北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正</div> </div> <div> <div>承認</div> <div>担当</div> <div>製図</div> <div>年月日</div> <div>工事名称</div> <div>図面名称</div> </div> <div> <div>Kudou</div> <div>Sugimi</div> <div>Sugimi</div> <div>R 7. 3</div> <div>令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事</div> <div>部分詳細図 1</div> </div> <div> <div>縮尺</div> <div>設計番号</div> <div>図面番号</div> </div> <div> <div>1:20</div> <div>1:30</div> <div>A — 2 4</div> </div> </div> |

| | | | |
|--|--------|--|--------|
| ピクチャーレール 詳細図 | S=1:3 | マグネットボード掲示板 詳細図 | S=1:20 |
|  <p>（参考） L=2,200：1本（フック6個） ・ L=1,500：1本（フック4個）</p> | |  <p>屋外・屋内兼用タイプ</p> <p>4台</p> | |
| ポーチ手摺 詳細図 | S=1:30 | ライニング甲板 LGS下地 | S=1:20 |
|  <p>アルミ既製品とする</p> <p>【正面図】</p> <p>【断面図】</p> <p>あと施工アンカー： 4-M10×40</p> | |  <p>S Kライニングも同様、手洗い高さは1,000とする</p> | |
| | | | |



| | |
|----|--|
| 備考 | |
| | |
| | |

| | |
|--|-----------------------------|
| 一級建築士事務所 株式会社 工藤金正建築設計 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正 | 青森県A1第495号 1級建築士第153872号 |
|--|-----------------------------|

| | | | |
|-------|--------|--------|------|
| 承認 | 担当 | 製図 | 年月日 |
| Kudou | Sugimi | Sugimi | R7.3 |

| | |
|------|-------------------------|
| 工事名称 | 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事 |
| 図面名称 | 仮設計画図 |

| | |
|---------------|-------------|
| 縮尺 | 設計番号 |
| 1:30 1:300 | 図面番号 A — 26 |

構造設計標準仕様

適用は ☒ 印を記入する。

1, 建築物の構造内容

- (1) 工事名称 令和 7 年度史跡大森勝山遺跡休息便施設整備工事
- (2) 工事種別 建築場所 青森県弘前市大字大森勝山 地内
- (3) 構造種別
- ☐ 木造 (W) ☐ 補強コンクリートブロック造 (C B) ☐ 鉄骨造 (S)
- ☐ 鉄筋コンクリート造 (R C) ☒ 壁式鉄筋コンクリート造 (W R C)
- ☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造 (S R C) ☐ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造 (W P R C)
- ☐ プレキャスト鉄筋コンクリート造 (P R C) ☐
- (4) 階 数
- 地下 階 地上 1 階 塔屋 階
- (5) 主要用途 便所、休憩室
- (6) 屋上付属物
- ☐ 広告塔 ☒ 制御盤 20kg ☒ ブロアー 40kg×2台
- ☐ 煙突 ☐ キュービクル kN ☐ テーブル付 kN
- (7) 増築計画 ☐ 有 () ☒ 無
- (8) 付帯工事
- ☐ 門扉 ☐ 擁壁 ☐ ☐ ☐
- (9) 特別な荷重
- ☐ 乗用エレベータ 人乗 ☐ ダムウェータ kN
- ☐ 寝台用エレベータ 人乗 ☐ 受水槽 kN
- (1 0) 構造計算ルート X 方向ルート (1) Y 方向ルート (1)

2, 使用構造材料

- (1) コンクリート

| 適用箇所 | 種 類 | 設計基準強度 (F_{cd}/mm^2) | スランプ (cm) | 備 考 |
|-------------|---------|------------------------------------|-------------------------|-----|
| 捨コンクリート | ●普通 □ | □16 ●18 □21 | 15 | |
| 土間コンクリート | ●普通 □ | □21 ●24 □27 | 18 | |
| 基礎、基礎梁 | ●普通 □ | □21 ●24 □27 | 18 | |
| 柱、梁、床、壁 | ●普通 □軽量 | □21 ●24 □27 | 18 | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 温度補正は別途加算する | | | | |

- (2) コンクリートブロック(CB)
☐ A種 ☐ B種 ☐ C種 厚 ☐ 100、 ☐ 120、 ☐ 150、 ☐ 190
- (3) 鉄筋

- ### (3) 鉄筋

| | 種類 | 径 | 使用箇所 | 継手法 |
|------|---|-------|--------|---|
| 異形鉄筋 | <input checked="" type="checkbox"/> SD295 | D16以下 | リストによる | <input checked="" type="checkbox"/> 重ね継手 (D16以下) |
| | <input type="checkbox"/> SD295B | | | <input type="checkbox"/> ガス圧接継手 (D19以上) |
| | <input type="checkbox"/> SD345 | | | |
| | <input type="checkbox"/> | | | |
| 丸 鋼 | <input type="checkbox"/> SR235 | | | <input type="checkbox"/> 特殊継手 |
| 溶接金網 | <input type="checkbox"/> | | | () |

- #### (4) 鉄骨

| | | 種類 | 使用箇所 | 現場溶接 | 備考 |
|----|----------------------------------|--|------|---|----|
| 鋼材 | <input type="checkbox"/> SS400 | <input type="checkbox"/> SN400A <input type="checkbox"/> SN400B | | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 | |
| | <input type="checkbox"/> STKR400 | <input type="checkbox"/> STKR490 <input type="checkbox"/> STK400 | | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 | |
| | <input type="checkbox"/> SM490A | <input type="checkbox"/> SM490B <input type="checkbox"/> | | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 | |
| | <input type="checkbox"/> SSC400 | <input type="checkbox"/> | | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 | |
| | <input type="checkbox"/> BCR295 | <input type="checkbox"/> | | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 | |
| | <input type="checkbox"/> SN490A | <input type="checkbox"/> SN490B <input type="checkbox"/> SN490C | | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 | |
| 備考 | | | | | |

- (5) ボルト

- ☐ 高力ボルト ☐ F10T ☐ S8T ☐ S10T 認定品 (☐ M12 ☐ M16 ☐ M20 ☐ M22 ☐ M24)
☐ 中ボルト M12 = 高力ボルトすべり係数試験 ☐ 要 ☐ 否
☐ アンカーボルト 構造図による
☐ 頭付スタッド

- ### (6) 屋根、床、壁

- | | | | | |
|----------------------------------|----|-----|----|---|
| <input type="checkbox"/> ALC板 | 厚 | | | |
| <input type="checkbox"/> 折板 | 形式 | H = | mm | 厚 |
| <input type="checkbox"/> デッキプレート | 形式 | 厚 | | |
| | 形式 | 厚 | | |
| <input type="checkbox"/> ルーフデッキ | 形式 | 厚 | | |

3, 地 盤

- (1) 地盤調査
有 (●敷地内 □近隣) □ボーリング調査 □平板載荷試験 □水平地盤反力係数の測定
□無 (調査予定 □有 □無) ●スクリーウエイト貫入試験
- (2) 地盤調査計画
□ボーリング調査 □静的貫入試験 □標準貫入試験 □水平地盤反力係数の測定
□土質試験 □物理調査 □平板載荷試験 □
- (3) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭径、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある
- (4) ボーリング標準貫入値、土質構成(基礎・杭の位置を明記すること)

[illegible]

4, 地業工事

- (1) 直接基礎 ☐ ペタ基礎 ☐ 布基礎 ☒ 独立基礎 試験掘 ☐ 有 ☒ 無
 載荷試験 ☐ 有 ☒ 無

深さ設計 G L - 1.00 m、支持層 - 粘性土
($N_{sw}=0$ 以深まで浅層地盤改良を行う事)
長期許容支持力度 65 kN/m²

- (2) 基礎杭 支持層 -

杭仕様 ☐ 施工計画書承認 ☐ 杭施工結果報告書

| 杭径 (mm) | 設計支持力 (kN) | 杭長さ (m) | 本数 | 特記事項 |
|---------|------------|---------|----|------|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

5, 鉄筋コンクリート工事

- (1) コンクリート

- コンクリートはJIS認定工場の製品とし、施工に關してはJASS5による。
- セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
- 調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
- 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に當る場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項に於いて、工事監理者の承認を得ること。
- フレッシュコンクリートの堆化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術研究センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し、承認を得る。
- 測定検査の回数は、通常の場合、1回1日以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試験から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
- 構造体コンクリート現場の圧縮強度試験(試体(JASS5T-603)は、現場中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込みごときとする。また、打ち込み量が150㎢をこえる場合は150㎢ごと、またはその端数ごとに 回を標準とする。 一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回から6本以上とし、そのうち4通用に3本を用いる。
- ポンプ打ちコンクリートは、打ち込み位置に達するだけ下げて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25 未満の場合は150分、25 以上の場合は20分以内とする。

- (2) 鉄筋

- 鉄筋はJIS G3112の規格品を標準とする。
 - 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さなどは「鉄筋コンクリート構造配筋基準第11(2)」または「型式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」による。
 - D19未満は、すべて重ね継手とする。継手(D19以上)をガス圧接とする場合は、公益財団法人 日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書 ガス圧接継手工事」による。
 - ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと(200箇所を超えなるときは、200箇所ごと)に1回行い、1回の試験は5本以上とする。
 - 外観検査 □ 有 □ 無 □ 引張試験 □ 有 □ 無 □ 超音波深層試験 □ 有 □ 無 □ 柱の帯筋(HOOP)の加工方法は、○ H型(タガ型) ○ W型(溶接型) ○ S型(スパイラル型)とする。
 - コンクリート及び鉄筋の試験は工事監理者の承諾のうえ、指定の試験機関で行うこと。
- 試験機関名
代行業者名
代行業者名とは、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。

- ### (3) 型 棒

- 材料 合板厚 12mmを標準とする。 □

- ### ● 型枠存置期間

| 種類 部位 | | せき板 | | | | 支　　柱 | | | |
|------------------------------------|--------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|------------------|--|
| | | 基礎、梁側、柱、壁 | | スラブ下、はり下 | | スラブ下 | | はり下 | |
| セメント の種類 平均 気温 の 種類 | 早強度ボルト | 普通ボルト | 早強度ボルト | 普通ボルト | 早強度ボルト | 普通ボルト | 早強度ボルト | 普通ボルト | |
| | ランドセメント | ランドセメント | ランドセメント | ランドセメント | ランドセメント | ランドセメント | ランドセメント | ランドセメント | |
| | | 高炉セメント A種 | 高炉セメント A種 | 高炉セメント A種 | 高炉セメント A種 | 高炉セメント A種 | 高炉セメント A種 | 普通ボルト ランドセメント | |
| | | シリカセメント A種 | シリカセメント A種 | シリカセメント A種 | シリカセメント A種 | シリカセメント A種 | シリカセメント A種 | シリカセメント A種 | |
| | | | | | | | | | |
| コンクリートの 圧縮強度 | 15 以上 | 2 | 3 | 4 | 6 | 8 | 17 | 28 | |
| | 5 ~15 | 3 | 5 | 6 | 10 | 12 | 25 | 28 | |
| | 5 未満 | 5 | 8 | 10 | 16 | 15 | 28 | 28 | |
| 設計基準強度の | 5N/mm ² | 設計基準強度の50% | 85% | | 100% | | | | |
| | | | | | | | | | |

- 注) 1 片持ばり、庇、スパン9.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
- 注) 2 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
- 注) 3 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
- 注) 4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
- 注) 5 支柱の盛りかえは、小ばりが終ってから、スラブを行う。
- 一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをするのはならない。
- 注) 6 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6, 鉄骨工事

- (1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
- ☐ 日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
 - ☐ 鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」

- (2) 工事監理者の承認を必要とするもの
- 制作工場 □ 製作要領書 □ 工作図 □ 施工計画書
 - 大臣認定工場は R グレード以上とする。
 - 材料規格証明書または試験成績書
 - 鋼材 □ 高力ボルト □ 特殊ボルト □ スタッドボルト
 - 社内検査表
- (3) 工事監理者が行う検査項目
- (●印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)
- 環状検査 □ 組立・開先検査 □ 製品検査
 - 建方検査
- (4) 接合部の溶接は下記によること
- 日本建築学会「溶接作業基準、同解説」
 - 日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」

- 5) 接合部の検査
- 溶接部の試験は、公共建築協会「建築工事共通仕様書」により、平均欠陥品割合率（AOQL）及び検査水準は、下記を標準とする。
AOQL 一般建築物・・・4.0 % □ 検査水準 共通仕様書 第6 □
・・・類建築物・・・2.5 % □ 超高層庁舎 第1 □
 - 高力ボルトは「JIS B1186の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを座金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態にあること。ただし、ショットブラスト、グリュートブラストによる処理で表面あらさが50S以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。
 - 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは原則として2段階めとする。
締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行なわれているか検査する。
- (6) 防錆塗装
- 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントは、JIS K5674、2回塗りを標準とする。
 - 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は急に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。

7, 設備関係

- 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。設ける場合は設計者の承認を得ること。
- 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
- 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を5cm以上とする。


8, その他

- 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
- 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い、工事監理者に報告すること。
- 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

9, 令第129条の2の4 法適合確認

- 第129条の2の4の事項
- 建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。
 - 建築設備（昇降機を除く。）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれないものとする。
 - 屋上から突出する水櫃、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
 - 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支役を設けたものを除き、90cm以下とする。
 - 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのがかり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とする。
 - 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
 - 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とする。
 - 建築物の部分貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
 - 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は耐振継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
 - 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
- 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水櫃、煙突その他これらに類するものであつて、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。
- 給湯設備*は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とする。満水時の質量が 15 kg を超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1389号第5に規定する構造方法によること。
- *「給湯設備」：建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水櫃等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの

構造設計者 一級建築士 第241724号 小野芳美

| | | | | | | | | | |
|----|--|-------|--------|-----|--------|------|------------------------|----|-------------|
| 備考 | <div></div> <div>一級建築士事務所 青森県A1第495号</div> <div>株式会社 工藤金正建築設計 1級建築士第153872号</div> <div>弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤 金正</div> | 承認 | 担当 | 製図 | 年月日 | 工事名称 | 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便施設整備工事 | 縮尺 | 設計番号 |
| | | Kudou | Sugimi | Ono | R 7. 3 | 図面名称 | 構造設計標準仕様 | - | 図面番号 S — 01 |

修正箇所は下線を引くこと

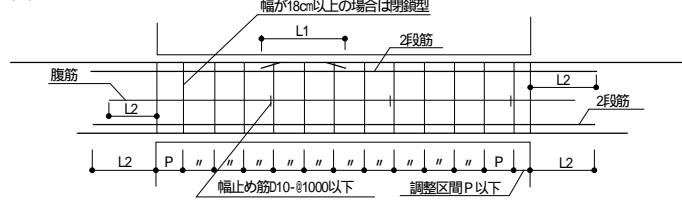
| | |
|-----|--------------|
| 縮 尺 | 設計番号 |
| - | 図面番号 S — 0 2 |

壁式鉄筋コンクリ - ト構造配筋標準図 (2)

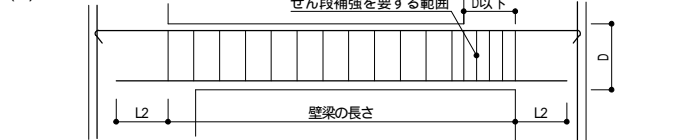
修正箇所は下線を引くこと
L=本構造配筋標準図(1)の2-(3)による

7. 壁梁、小梁

(1) 壁梁の標準配筋図

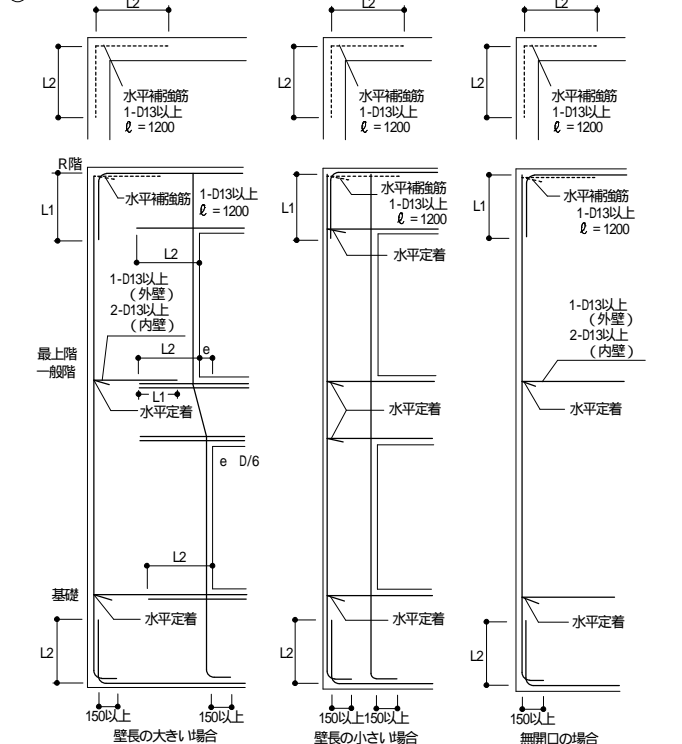


(2) 壁梁の範囲

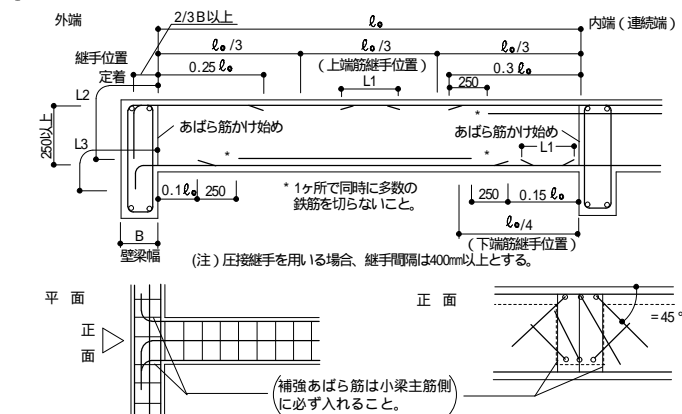


(3) 定着

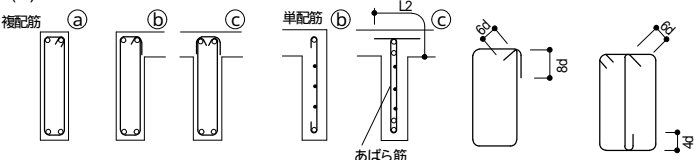
① 壁梁



② 小梁の定着・継手位置およびトップ筋長さ



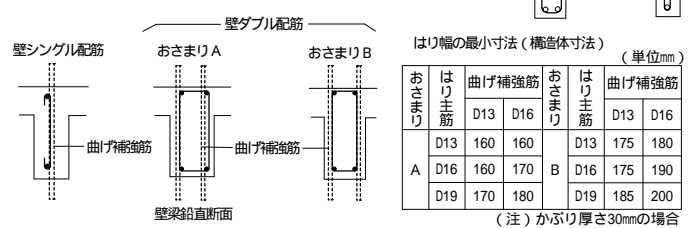
(4) あばら筋の型



- (イ) 原則として①のフック先曲げとする。
片側床版付(L型)梁で①、
両側床版付(T型)梁で②とすることができる。
(ロ) フックの位置は③にあっては交互、
④にあってはスラブ側とする。

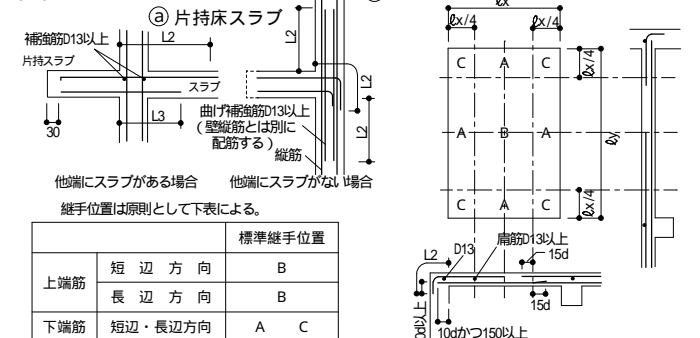
(5) 壁梁と壁のおさまり

壁梁の幅は耐力壁の厚さ以上とする

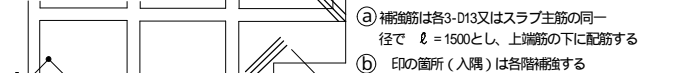


8. 床板

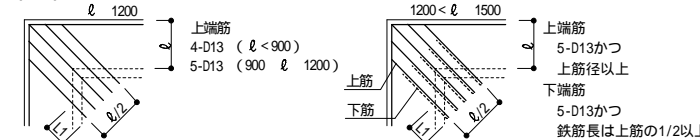
(1) 定着および継手



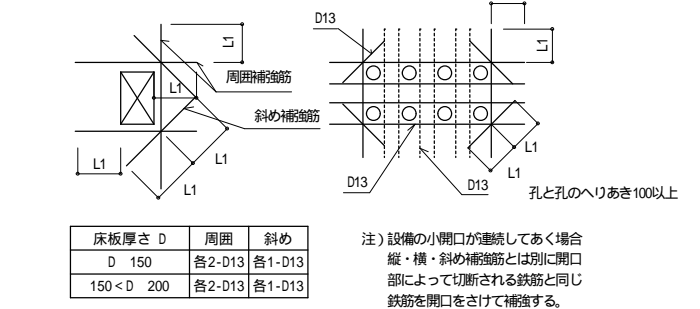
(2) 屋根スラブの補強



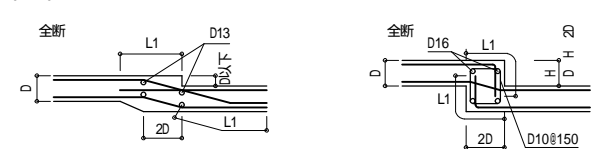
(3) 片持ちスラブ出隅部補強



(4) 床板開口部の補強(開口の径500程度の場合)



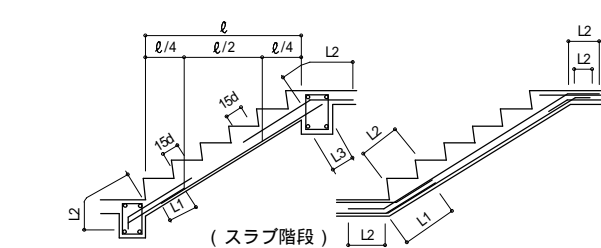
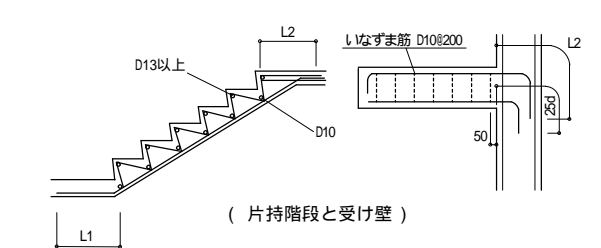
(5) 床板段差



(6) 土間コンクリ - ト

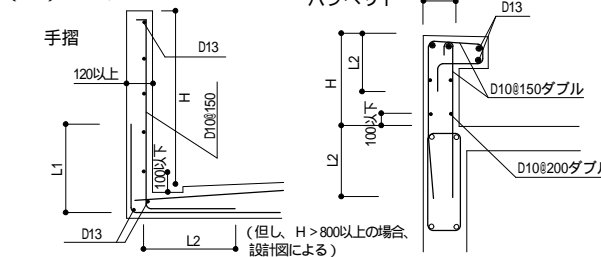


9. 階段

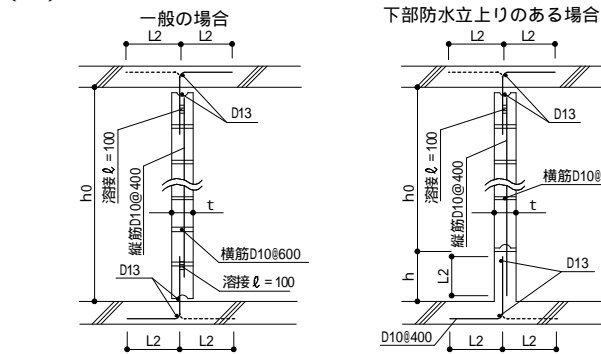


10. その他

(1) 手摺、バラベット



(2) コンリ - トブロック帳壁



(注) h0 25 t かつ3500以下とする。但し直交方向25 t 以内に壁、又は柱がある場合は除く
(注) hはコンクリ - トブロック段数調節寸法とする。但し、200 h 400
(注) 鉄筋挿入部はモルタルを充てんすること。

11. 梁貫通孔補強

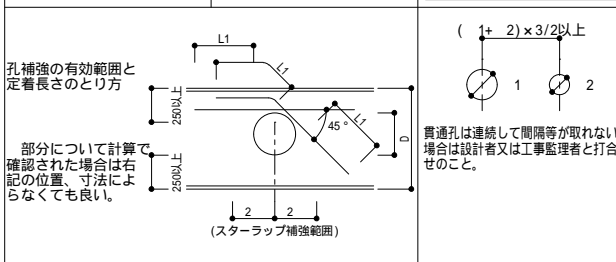
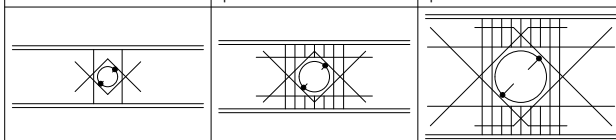
大臣認定品を使用する事

- (1) 既製品 (使用するときには、設計者又は工事監理者と打合せのこと)
リング型 パイプ型 金網型 プレート型

(2) 鉄筋標準配筋

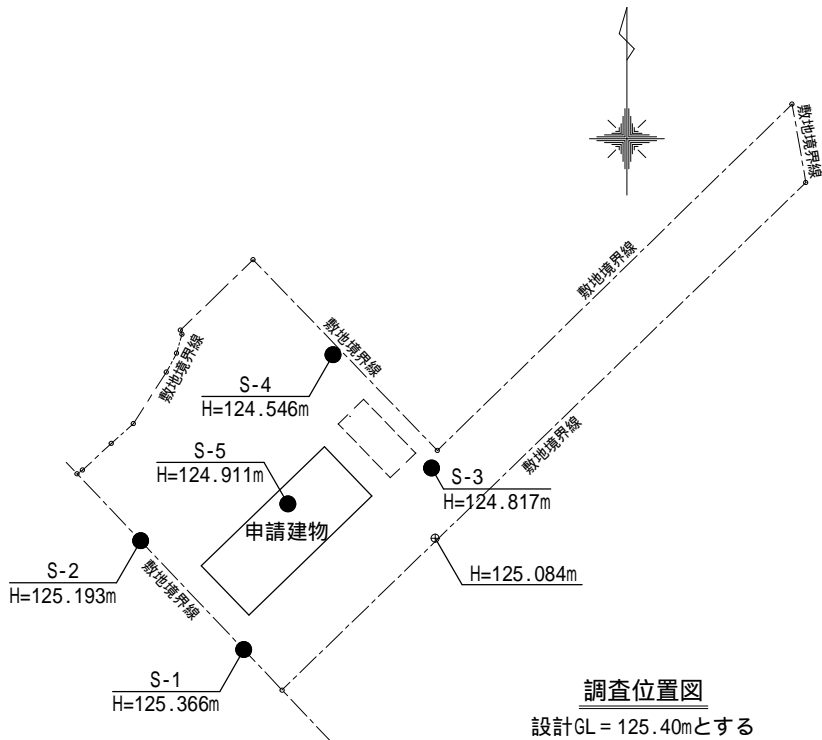
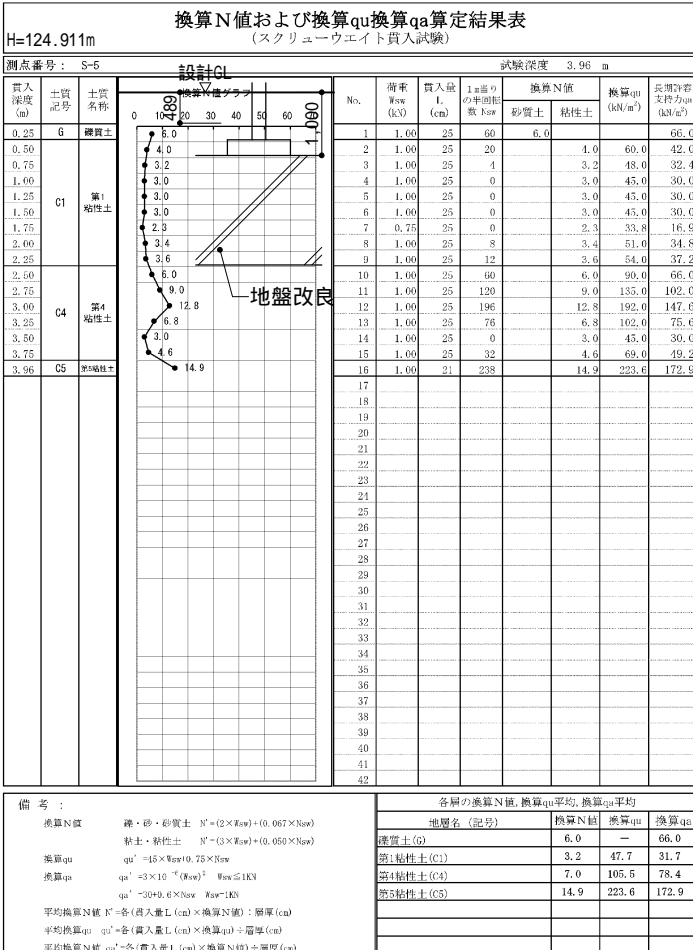
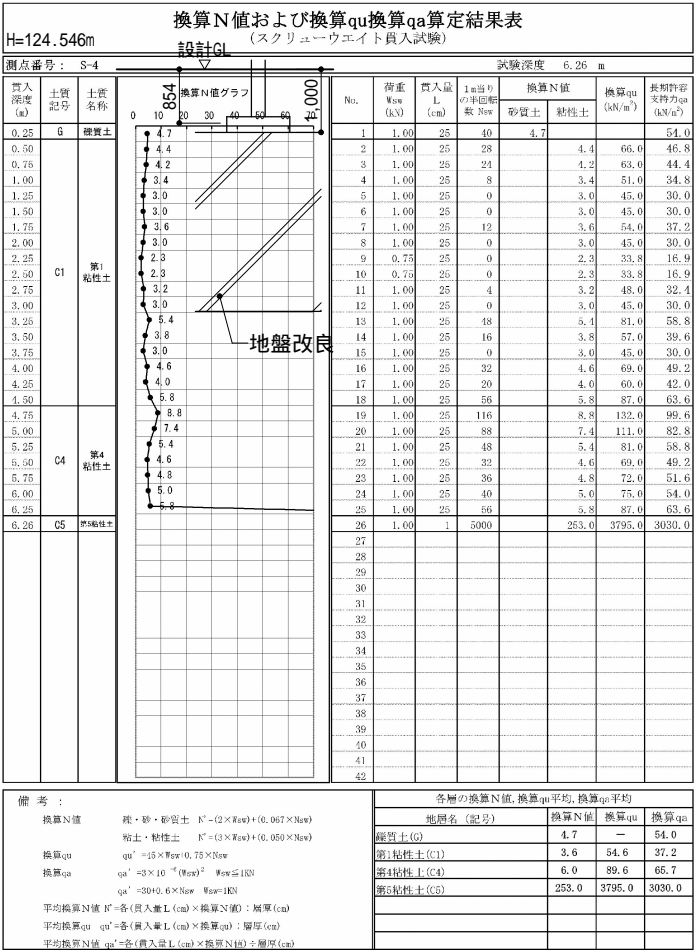
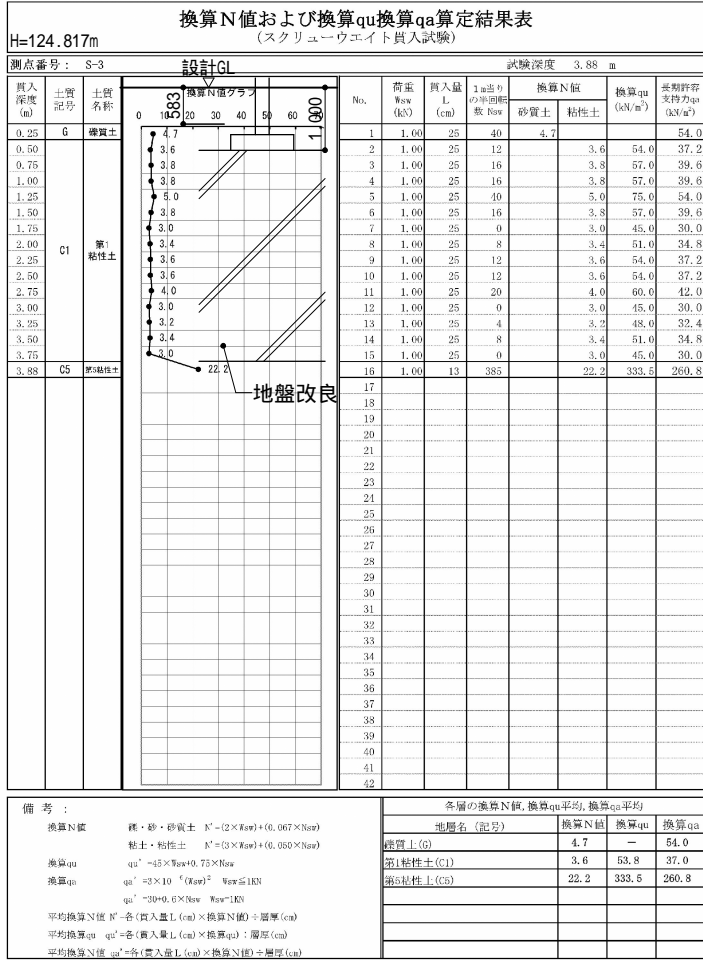
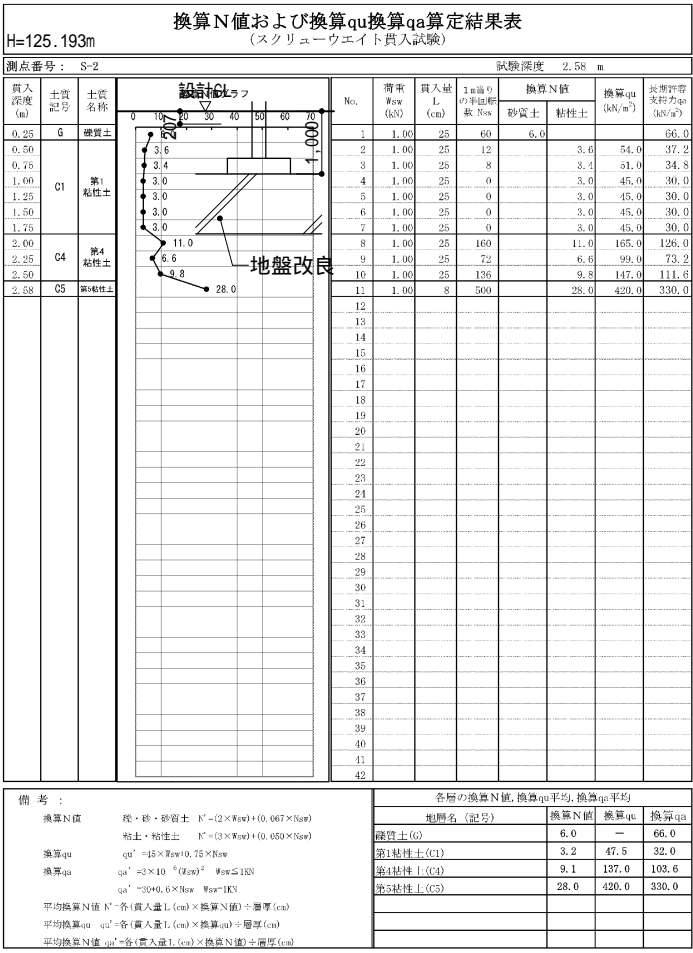
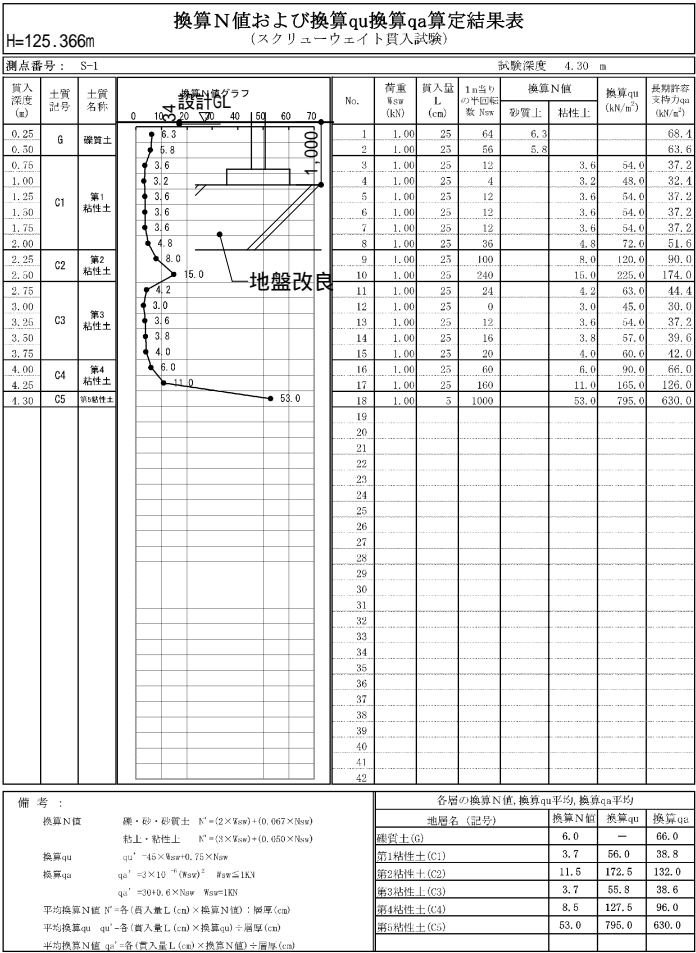
但し D/3 とする
設置可能範囲 原則として梁端部(スパン ℓ/10以内かつD以内)は避ける
ただし、基礎梁、壁付帯梁は除く

| | | | | | |
|----|---------------|------|--------------|------|--------------|
| 80 | 100 | 100< | 150 | 150< | 250 |
| 折筋 | 2-(2-D13) | 折筋 | 2-(2-D13) | 斜筋 | 4-(2-D13) |
| 縦筋 | ST 2-D13 @100 | 縦筋 | ST 2-D13 @50 | 縦筋 | ST 2-D13 @50 |
| | | 横筋 | 2-(2-D13) | 横筋 | 2-(2-D13) |
| | | 上縦筋 | ST 2-D13 @50 | 上縦筋 | ST 2-D13 @50 |
| | | 下 | | 下 | |



部分について計算で確認された場合は右記の位置、寸法によらずとも良い。
(スターラップ補強範囲)

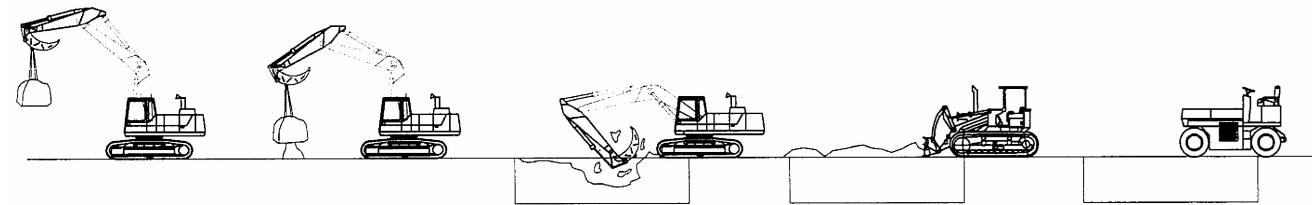
貫通孔は連続して間隔が取れない場合は設計者又は工事監理者と打合せのこと。



浅層地盤改良工法特記仕様書

1 工法概要

本工法は現地盤土とセメント系固化材をバックホウで混合し、所要の強度を有する改良体を造成する工法である。



区割り固化材配置 材料散布 混合攪拌 整地・敷き均し 転圧

2 一般事項

本工事は、本特記仕様書によるほか、「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」((財)日本建築センター) による。
改良厚さ、土量、位置および固化材の配合等は、土質や地盤状況により変更することがある。
本工事に先立ち、施工計画書を提出し監督員の承認を得るものとする。施工計画書には次の事項を明記する。

- (1) 工事内容 (改良厚さ、土量、位置、設計基準強度等)
- (2) 工程表
- (3) 施工方法 (仕様固化材、配合量等)
- (4) 施工機械
- (5) 施工管理方法
- (6) 品質管理方法
- (7) 安全管理方法
- (8) 請負業者の本工事責任者名
- (9) 本工事施工業者名および施工責任者名

3 特記事項

- (1) 改良厚さ、位置等は設計図による。
- (2) 改良体の設計基準強度 : $F_c = 195 \text{ kN/m}^2$
- (3) 必ず事前に配合試験を行い配合量の妥当性を確認する。

4 配合管理

- (1) 地盤改良に使用する固化材は、六価クロム抑制タイプのセメント系固化材とする。
- (2) $F_c = (1 - m \cdot V) \cdot q_{uf}$ F_c : 設計基準強度 (kN/m^2)
 $q_{uf} = F_c / (1 - m \cdot v)$ m : 相関係数 = 1.3
 $q_{ul} = q_{uf} / d_1$ V : 変動係数 = 0.45
 d_1 : 現場/室内強度比 (0.5 ~ 0.8)
 0.7を採用
- (3) $q_{ul} = \{ 195 / (1 - 1.3 \times 0.45) \} / 0.7$
 = 671 kN/m^2
- (4) 推定配合量 80 kg/m^3 (最終的には配合試験により決定する)

5 施工

- (1) 施工
改良対象地盤にマーキングしできあがった升目に改良体を散布する。
混合した改良土は、状況を見てできるだけ早期に転圧を行う。
改良土は、転圧完了後所定の強度を得るまで養生する。
施工に対して疑義が生じた場合は、直ちに監督員と協議し、その指示を受ける。
施工精度を満足しない場合は、監督員と協議しその指示を受け適切な処置をする。

6 施工管理

施工過程における管理方法は次の通りとする。

- (1) 固化材散布量
マーキングに基づき1tフレコンを所定面積内に均一に散布する。
- (2) 改良厚さ
混合中に機械を止めて、改良厚さをスタッフ等により測定する。
- (3) 混合程度
固化材と改良対象土の色むらがなくなるまで混合する。


7 報告

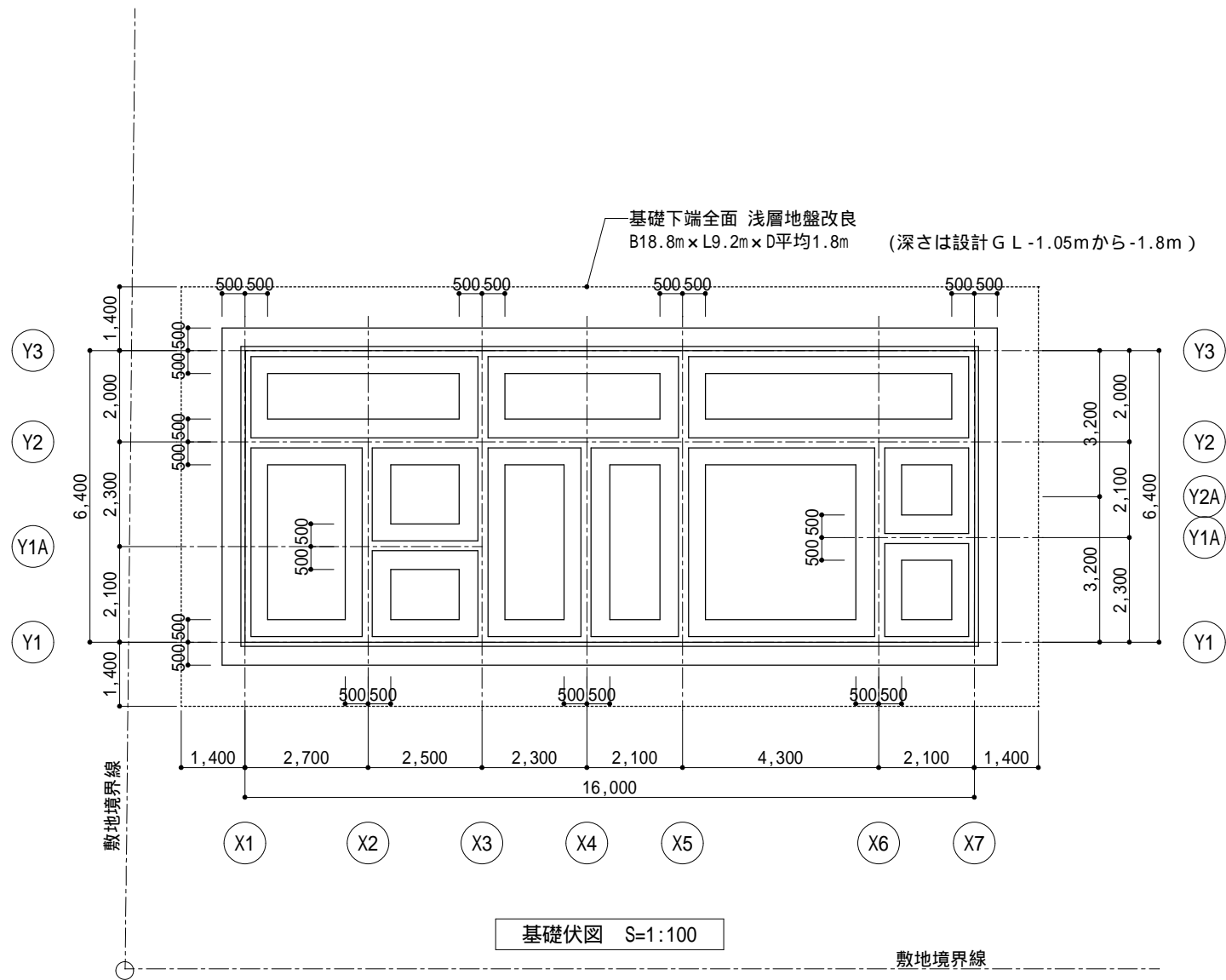
工事完了後、次の事項について報告書をまとめて、監督員に提出する。

- (1) 施工日報 (改良厚さ、位置、土量、配合量、固化材使用量等)
- (2) 固化材散布量、改良厚さの状況写真
- (3) 管理試験結果

8 管理試験

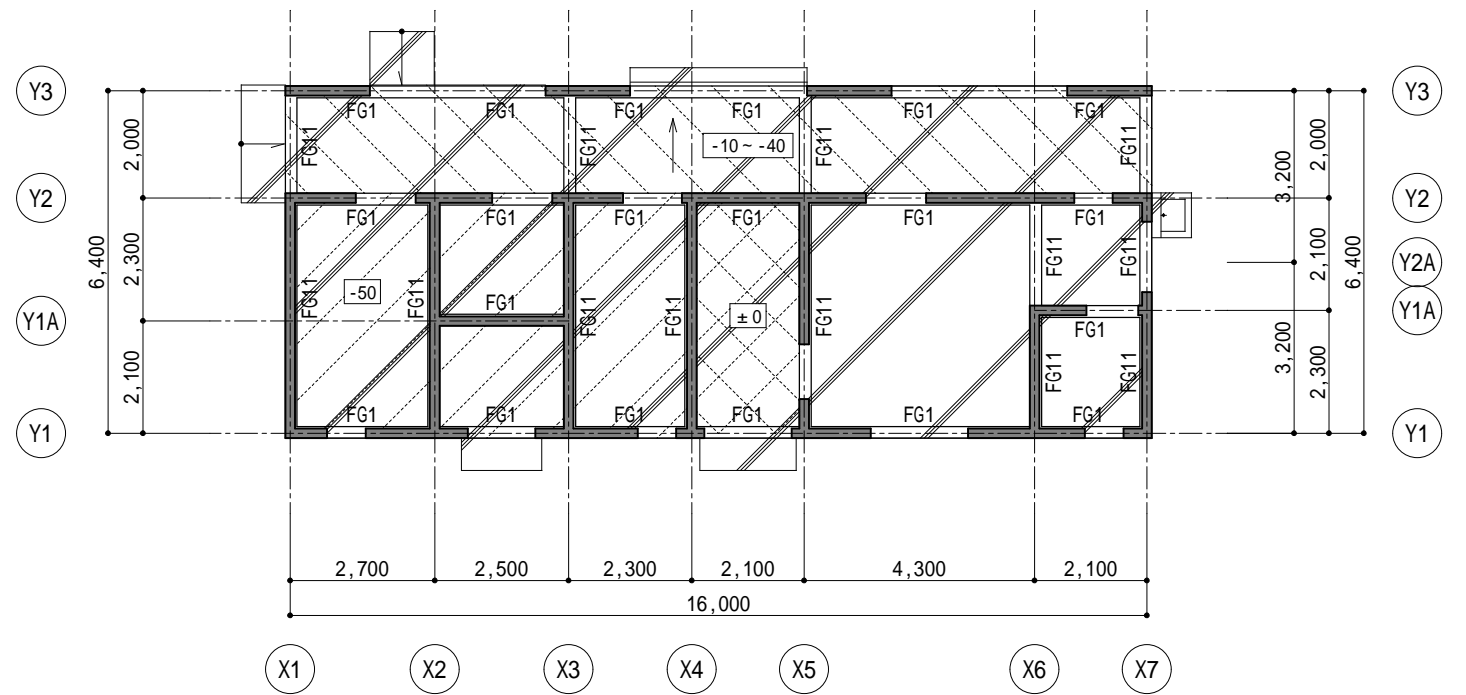
- (1) 一軸圧縮試験
1) 現場採取供試体
2ヶ所から改良土を採取し、寸法 5cm × 10cmの供試体を 3 個/箇所作成し、一軸圧縮試験を行う。
2) 材令28日で各箇所の圧縮強度の平均値が設計基準強度を上回ること。
- (2) 六価クロム溶出試験
国土交通省 国官技第16号、国営建第1号 (平成13年4月20日) 「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領 (案)」による六価クロム溶出試験を実施し、試験結果を提出するものとする。
事前配合試験段階 1 検体

| | | | | | | | | | | |
|---------------------------|--|--|-------|--------|-----|--------|------|-------------------------|----|------|
| 構造設計者 一級建築士 第241724号 小野芳美 | | | | | | | | | | |
| 備考 | <div></div> <div>一級建築士事務所 株式会社 工藤金正建築設計</div> <div>青森県A1第495号 1級建築士第153872号 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正</div> | | 承認 | 担当 | 製図 | 年月日 | 工事名称 | 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事 | 縮尺 | 設計番号 |
| | | | Kudou | Sugimi | Ono | R 7. 3 | 図面名称 | 浅層地盤改良工法特記仕様書 | - | 図面番号 |
| | | | | | | | S 05 | | | |



特記なき限り以下とする。

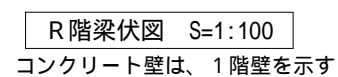
- 1.基礎は、布コンクリート F1 とする。
- 2.基礎下端は、GL-1,000とする。
- 3.設計用地耐力 $F_e = 65\text{kN/m}^2$ (長期)
- 4.基礎下部は浅層地盤改良を行い、設計用地耐力 $F_e = 65\text{kN/m}^2$ (長期) 確保する事。
- 5.地盤改良厚さDは軟弱地盤 ($N_{sw} = 0$) 以深まで浅層地盤改良を行う事。



特記なき限り以下とする。

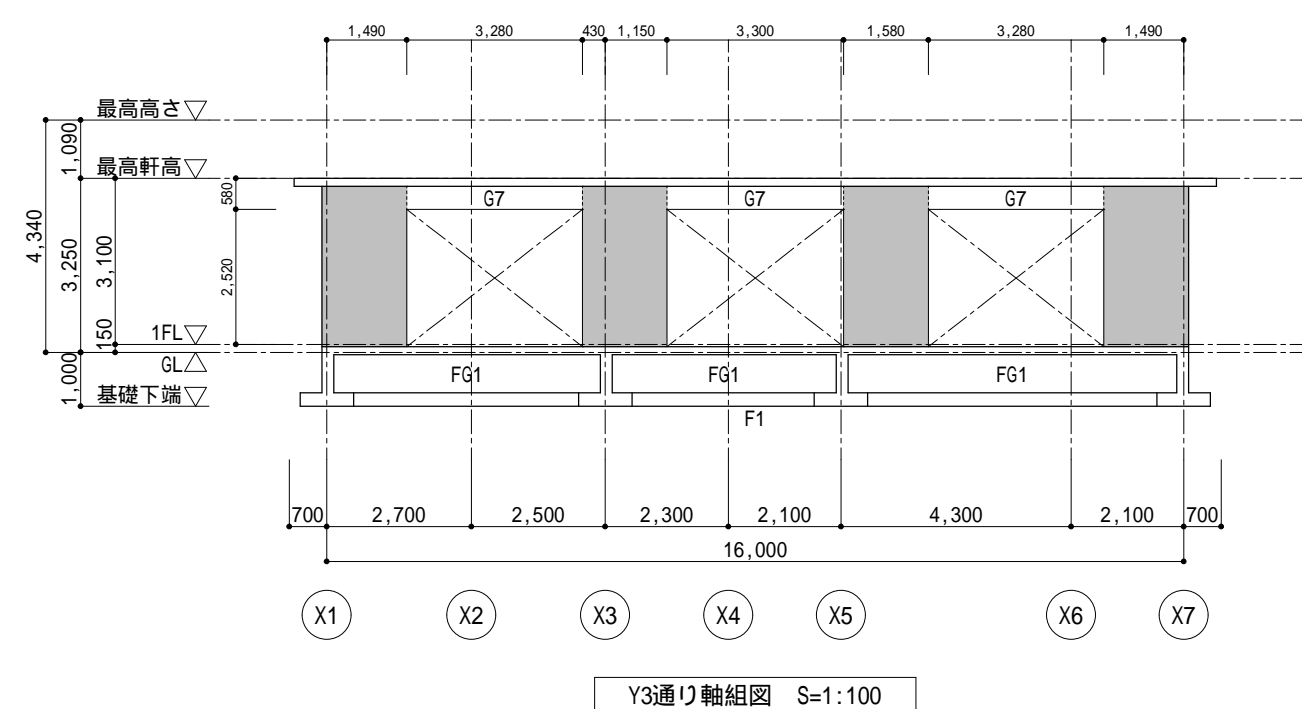
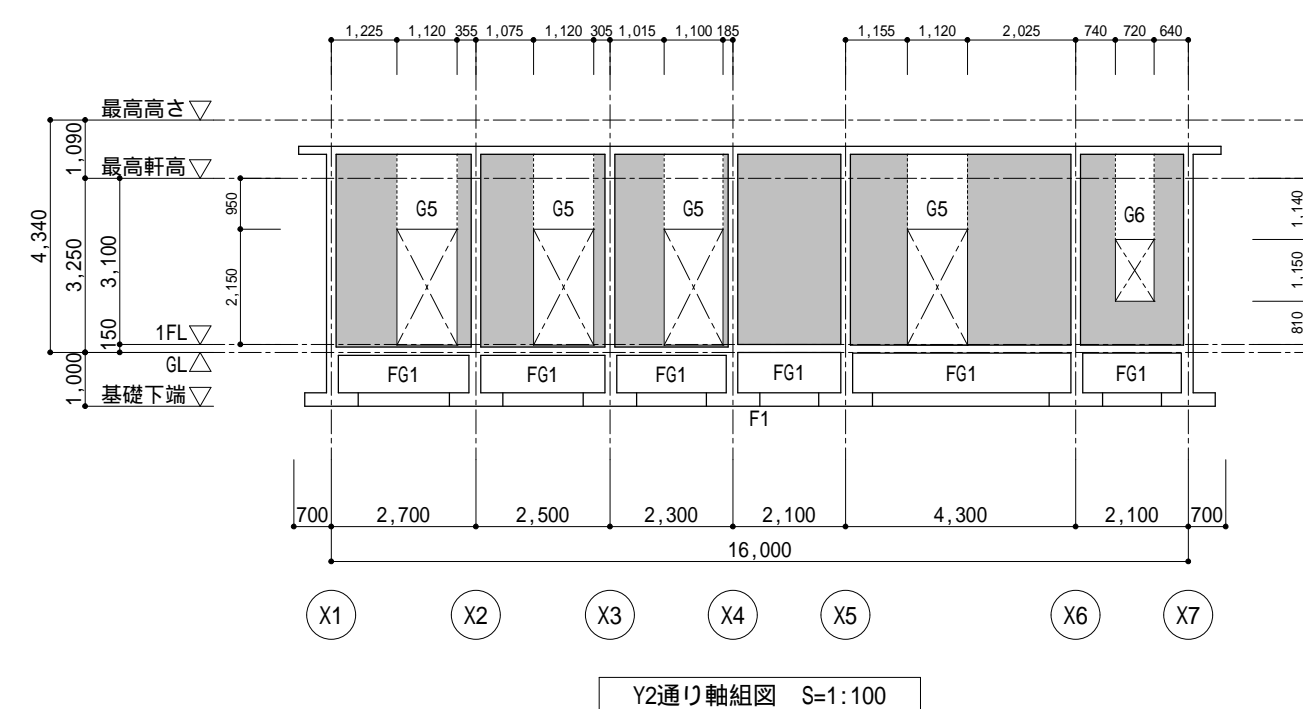
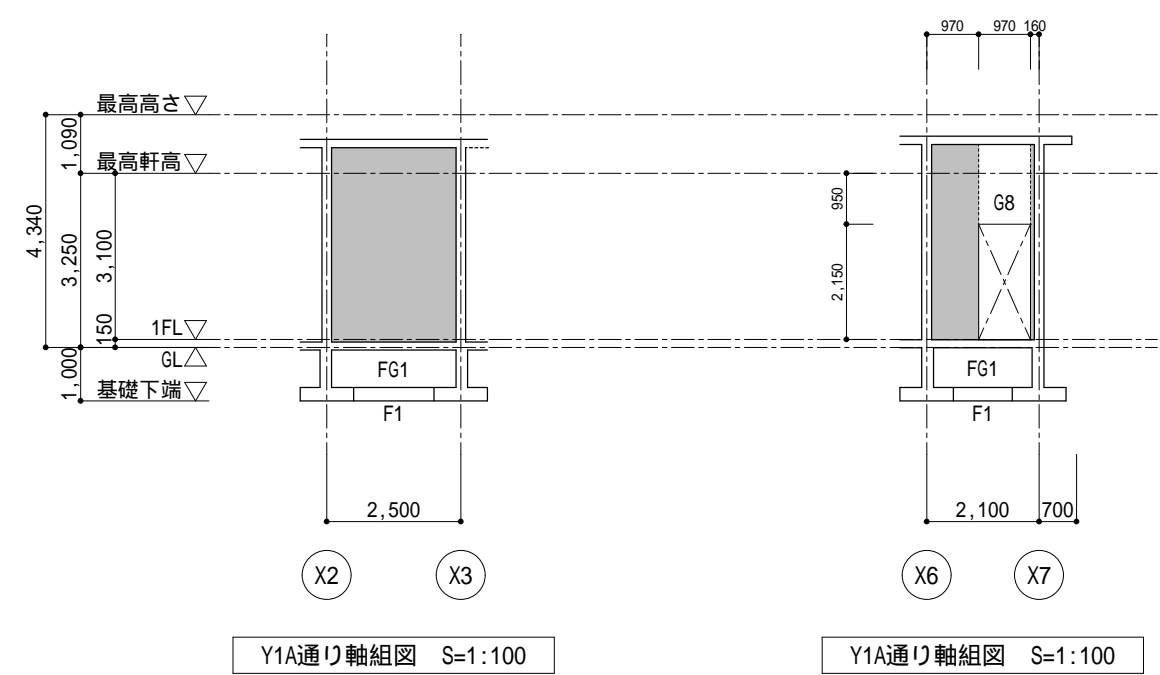
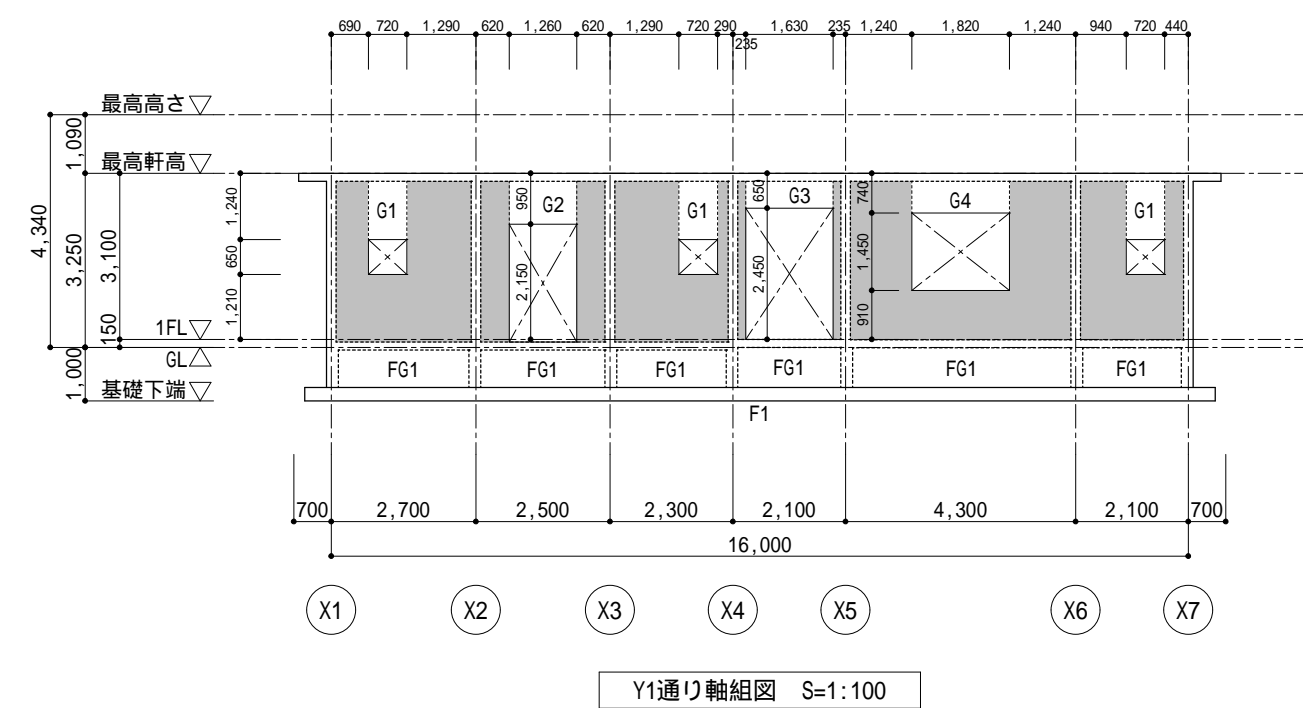
- 1.コンクリート壁は、W18とする。
- 2.W18の壁は、壁芯 = 通り芯とする。
- 3.地中梁天端レベルは、1FL-200 (GL-50) とする。
4. は、土間コンクリート t=150 を示す。
- 5.スラブ天端レベル無印は、1SL=1FL-10とする。
6. 内は、1FLからのスラブ天端レベルを示す。


| | | | | | | | | | | |
|-------|---|--------|-----|--------|------|-------------------------|---------------------------|------------|-------|------|
| 備考 | 一級建築士事務所 青森県A1第495号 1級建築士第153872号 株式会社 工藤金正建築設計 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正 | | | | | | 構造設計者 一級建築士 第241724号 小野芳美 | | 縮尺 | 設計番号 |
| | | | | | | | | | 1:100 | 図面番号 |
| | | | | | | | | | | S 06 |
| 承認 | | 担当 | 製図 | 年月日 | 工事名称 | 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事 | | 基礎伏図、1階梁伏図 | | |
| Kudou | | Sugimi | Ono | R 7. 3 | 図面名称 | | | | | |

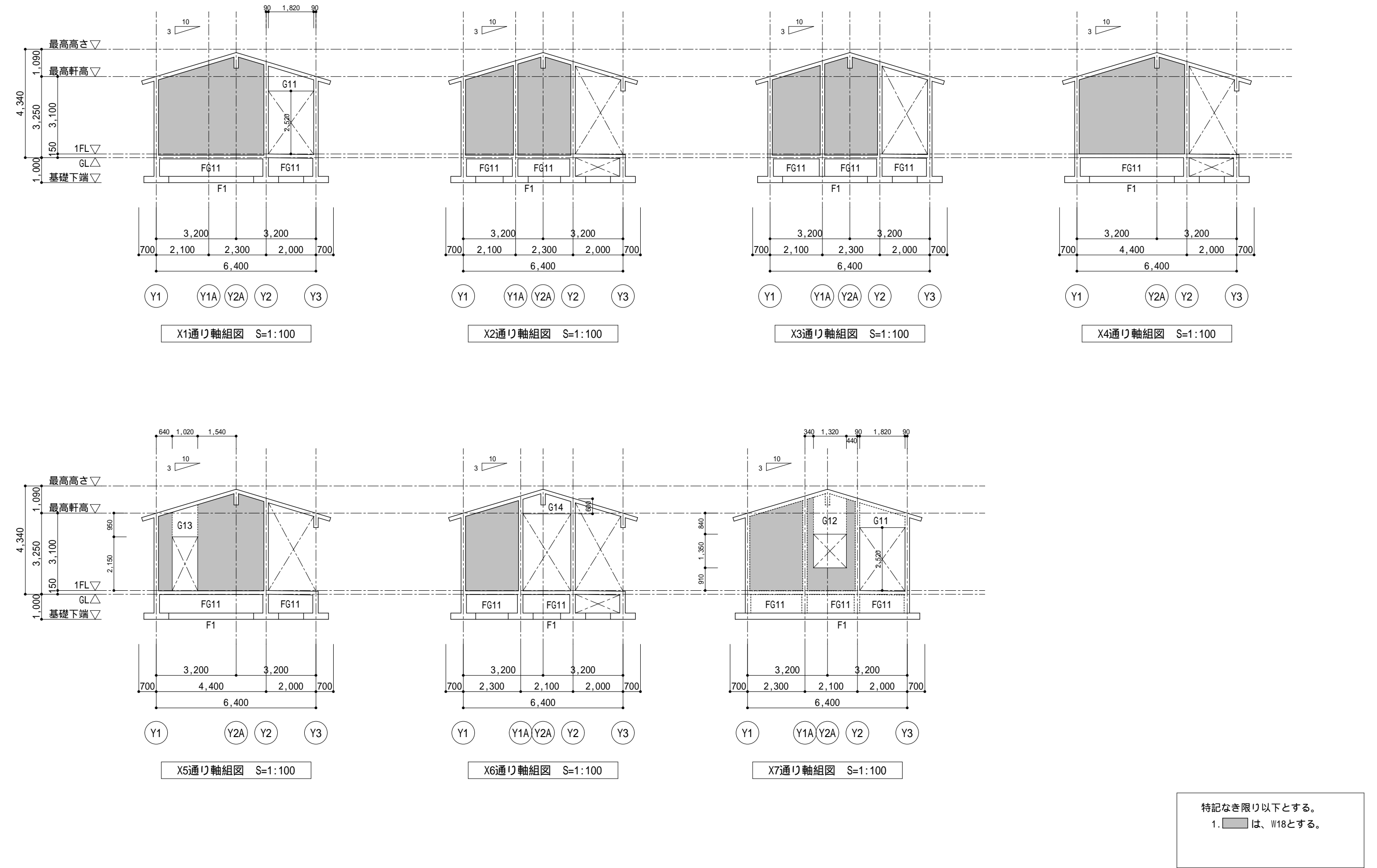


特記なき限り以下とする。

1. コンクリート壁は、W18とする。
2. W18の壁は、壁芯 = 通り芯とする。
3. 梁天端レベルは、水勾配なりとする。
4. スラブ天端レベルは、水勾配なりとする。



特記なき限り以下とする。
1.  は、W18とする。

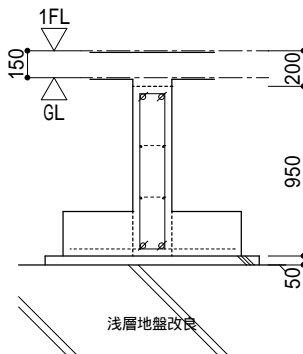
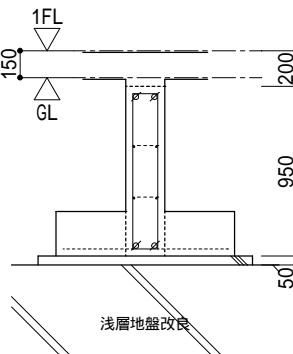


| | | | | | | | | | | | | |
|----|---|--|--|--|-------|--------|-----|--------|------|-------------------------|-------|------|
| 備考 | 一級建築士事務所 青森県A1第495号 株式会社 工藤金正建築設計 1級建築士第153872号 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正 | | | | 承認 | 担当 | 製図 | 年月日 | 工事名称 | 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事 | 縮尺 | 設計番号 |
| | | | | | Kudou | Sugimi | Ono | R 7. 3 | 図面名称 | 軸組図(2) | 1:100 | 図面番号 |
| | | | | | | | | | S 09 | | | |

基礎リスト S=1:30

| 符 号 | F 1 |
|---|-----|
| <p>断 面 ($F_c=24\text{N/mm}^2$)</p> | |

地中梁リスト S=1:30

| 符 号 | F G 1 | F G 1 1 |
|---|---|---|
| 位 置 | 全 断 面 | 全 断 面 |
| 断 面 ($F_c=24\text{N}/\text{mm}^2$) |  |  |
| B × D | 220 × 950 | 220 × 950 |
| 上 端 筋 | 2 - D16 | 2 - D16 |
| 下 端 筋 | 2 - D16 | 2 - D16 |
| ス タ ー ラ ッ プ ° | □ - D10 @200 | □ - D10 @200 |
| 腹 筋 | 4 - D10 | 4 - D10 |

置きスラブ配筋要領 S=1:30

特記事項

1. B × D

2. 幅止め筋は、D10 @1,000とする。

鉄筋記号

※ D 1 6

上部に壁がない場合

上部に壁がある場合

スラブリスト

| スラブ配筋リスト | | | | (モチアミ) | 備 考 |
|----------|---------|-----|--------------|--------------|-----|
| 記 号 | スラブ厚 | 位 置 | 短辺方向 (主筋) | 長辺方向 (配力筋) | |
| | | | 全 域 | 全 域 | |
| S 1 | t = 150 | 上端筋 | D10・D13 @200 | D10・D13 @200 | |
| | | 下端筋 | D10・D13 @200 | D10・D13 @200 | |
| C S 1 | t = 150 | 上端筋 | D10・D13 @200 | D10 @200 | |
| | | 下端筋 | D10・D13 @200 | D10 @200 | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

雜配筋図 S=1:30

土間コン配筋詳細図


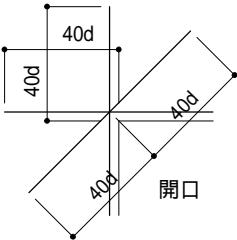
D10 @200

150

150

碎石

壁リスト S=1:30

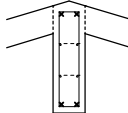
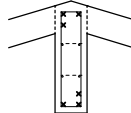
| | | | |
|----------------------------------|-------|---|---|
| 符 号 | | W 1 8 | 開口補強筋 |
| 断 面 ($F_c=24\text{N/mm}^2$) | |  |  |
| タ テ 筋 | | D10 @250 タ'ﾌﾞﾙ配筋 | |
| ヨ コ 筋 | | D10 @250 タ'ﾌﾞﾙ配筋 | |
| 補 強 筋 | タ テ 筋 | 2 - D 1 3 | |
| | ヨ コ 筋 | 2 - D 1 3 | |
| | 斜 ム 筋 | 1 - D 1 3 | |

大梁リスト S=1:30

[illegible]

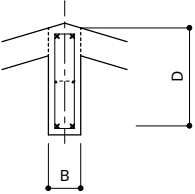
| 階 | 符 号 | G 1 1 | | G 1 2 | | G 1 3 | | G 1 4 | |
|--------|---|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-----------|
| | 位 置 | Y3通り側端部 | Y2通り側端部 | 水 下 側 | 水 上 側 | 水 下 側 | 水 上 側 | 水 下 側 | 水 上 側 |
| R 階 | 断 面 ($F_c=24\text{N}/\text{mm}^2$) | | | | | | | | |
| | B × D | 180 × 580 | 180 × 1,180 | 180 × 1,560 | 180 × 1,800 | 180 × 950 | 180 × 1,440 | 180 × 600 | 180 × 980 |
| | 上 端 筋 | 2 - D13 | | 2 - D13 | | 2 - D13 | | 2 - D13 | |
| | 下 端 筋 | 2 - D13 | | 2 - D13 | | 2 - D13 | | 2 - D13 | |
| | スターラップ° | □ - D10 @250 | | □ - D10 @250 | | □ - D10 @250 | | □ - D10 @250 | |
| | 腹 筋 | D10 @250 | | D10 @250 | | D10 @250 | | D10 @250 | |

小梁リスト S=1:30

| 符 号 | B 1 | B 2 |
|---------------------------|---|---|
| 位 置 | 全 断 面 | 全 断 面 |
| 断 面 ($F_c=24N/mm^2$) |  |  |
| B x D | 180 x 600 | 180 x 600 |
| 上 端 筋 | 2 - D 13 | 3 - D 13 |
| 下 端 筋 | 2 - D 13 | 3 - D 13 |
| スラープ [°] | □ - D10 @250 | □ - D10 @250 |
| 腹 筋 | D10 @250 | D10 @250 |

特 記 事 項

1. $B \times D$



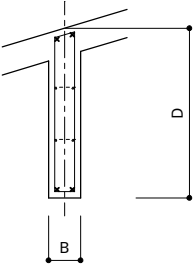
2.幅止め筋は、D10 @1,000とする。

鉄筋記号

x D 1 3

特記事項

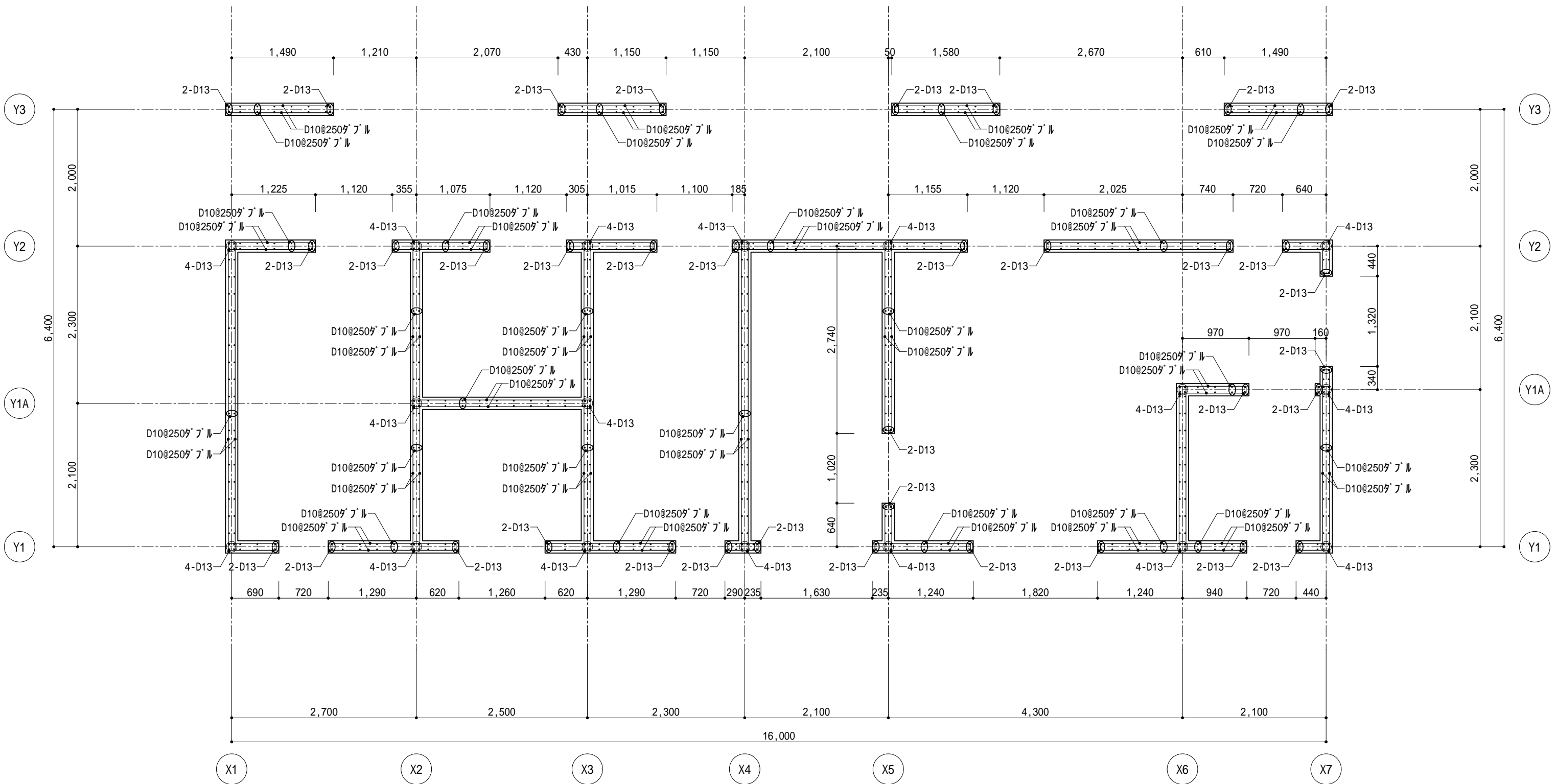
1. $B \times D$



2.幅止め筋は、D10 @1,000とする。

鉄筋記号

x D 1 3

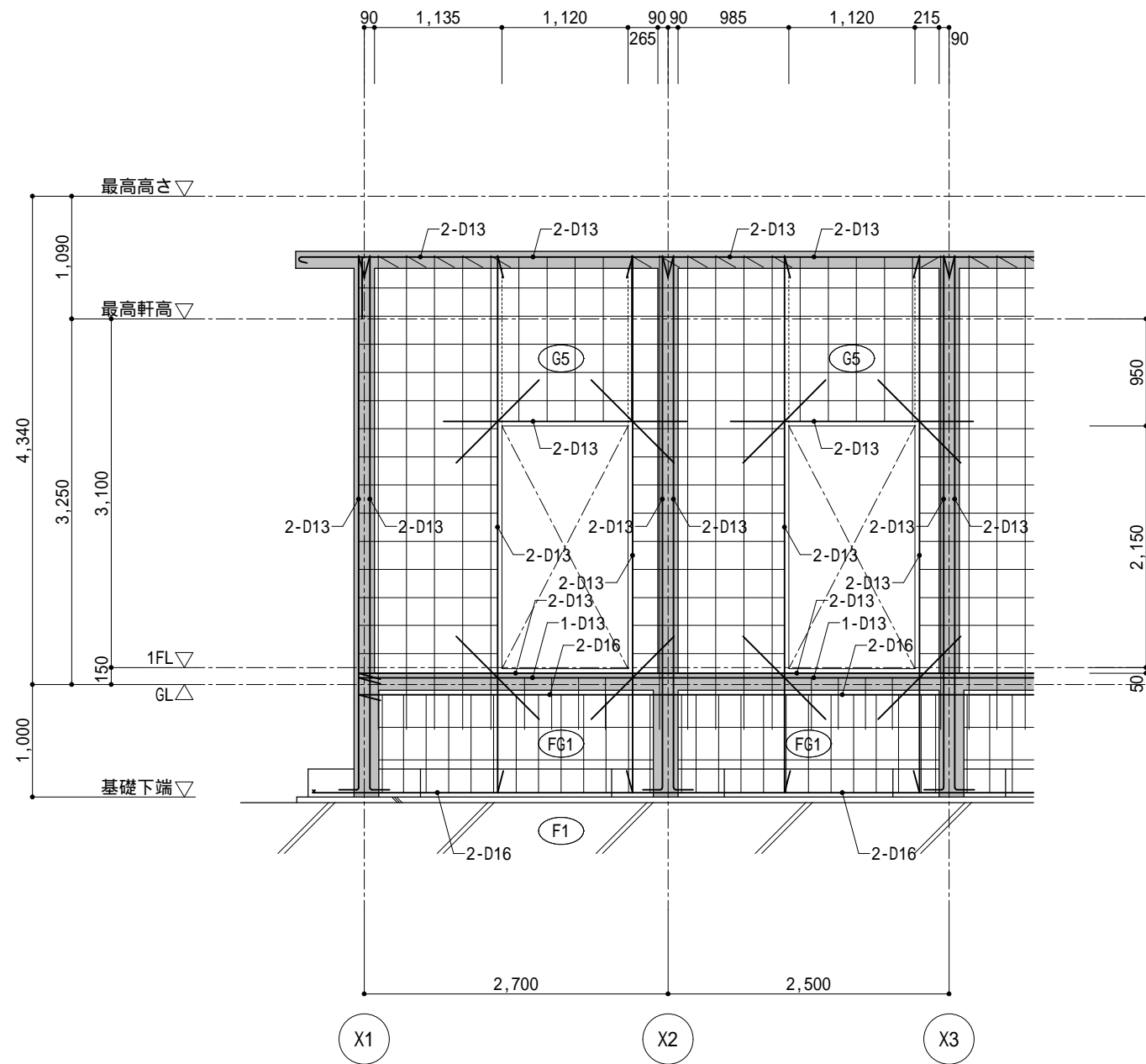


1 階平面配筋詳細図 S=1:40

コンクリート壁は、1 階壁を示す。
特記なき壁は、W18(t=180) とする。
W18 の壁は、壁芯 = 通り芯とする。

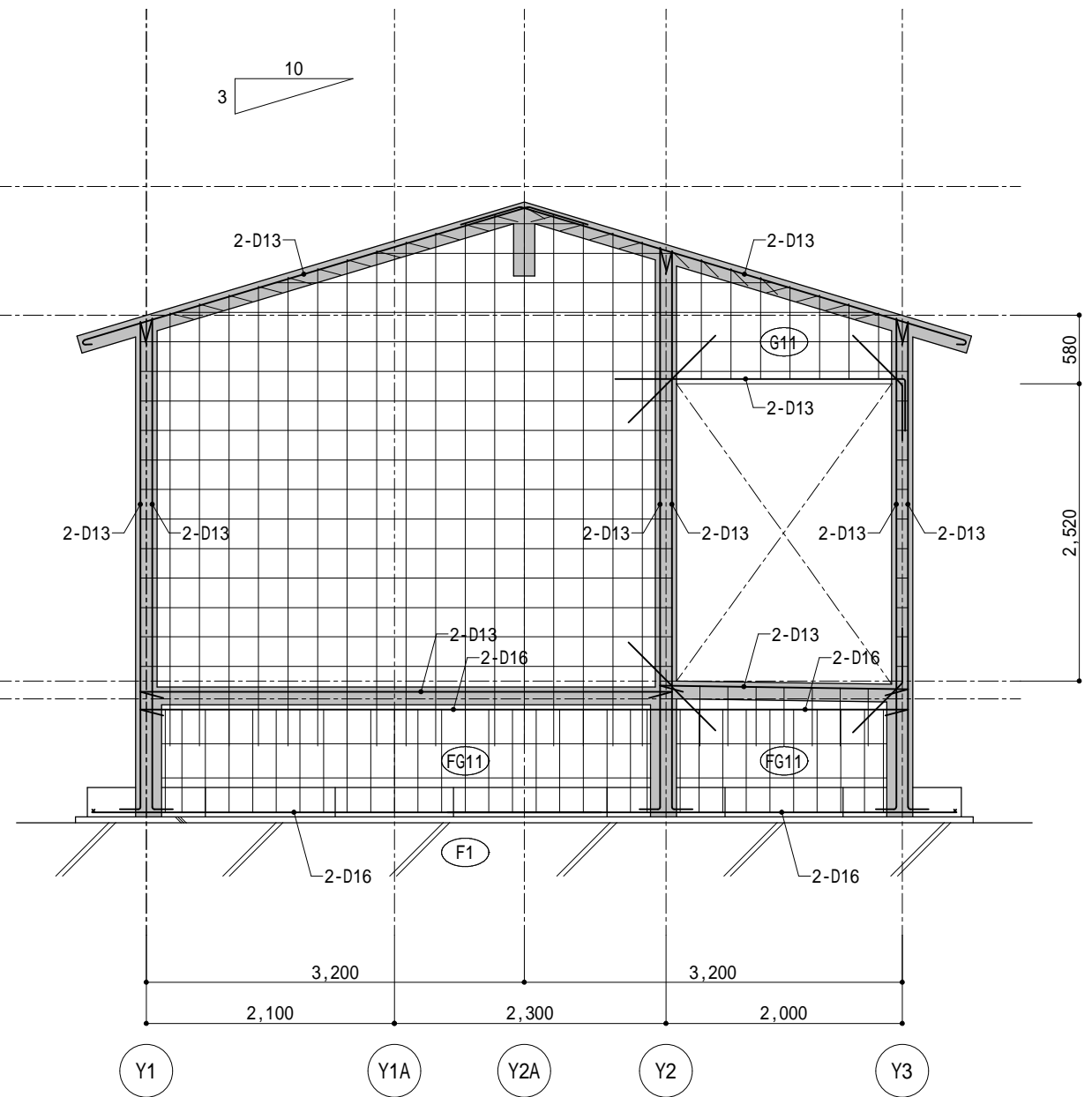
| | | | | | | | | | | | | |
|----|-------------------------------------|--|--|--|-------|--------|-----|--------|------|------------------------|------|------|
| 備考 | 一級建築士事務所 青森県A1第495号 | | | | 承認 | 担当 | 製図 | 年月日 | 工事名称 | 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便施設整備工事 | 縮尺 | 設計番号 |
| | 株式会社 工藤金正建築設計 1級建築士第153872号 | | | | Kudou | Sugimi | Ono | R 7. 3 | 図面名称 | 配筋詳細図 | 1:40 | 図面番号 |
| | 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正 | | | | | | | | | | | S 12 |

構造設計者 一級建築士 第241724号 小野芳美



Y2通り架構配筋図 S=1:40

特記なき限り下記による。
壁は、W18 とする。
壁筋は、縦横共 D10@250ダブル とする。
G梁のスターラップは、D10@250 とする。
FG梁のスターラップは、D10@200 とする。
斜メ補強筋は、1-D13 とする。
幅止筋 D10@1,000 以下 千鳥



X1通り架構配筋図 S=1:40

特記なき限り下記による。
壁は、W18 とする。
壁筋は、縦横共 D10@250ダブル とする。
G梁のスターラップは、D10@250 とする。
FG梁のスターラップは、D10@200 とする。
斜メ補強筋は、1-D13 とする。
幅止筋 D10@1,000 以下 千鳥

令和 7 年度足跡大森勝山遺跡休便施設整備工事 電気設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所 弘前市大字大森字勝山 9 6 1 - 3

2. 建物概要

| 建物名称 | 構造 | 階 数 | | | 建築基準法上の 延面積(m ²) | 消防法施行令 別表第 1 の区分 | 備 考 |
|-------|-----|-----|----|----|---------------------------------|---------------------|--------|
| | | 地上 | 地下 | 塔屋 | | | |
| 休息便施設 | RC造 | 1 | | | 70.4 | (七) 項 | 新築 1 棟 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

3. 工事種目 (●印の付いたものを適用する。)

| | 工 事 種 目 | | | | 備 考 |
|--------------|---------|--|--|-----|---------|
| | 庁 舎 | | | 屋 外 | |
| ● 電灯設備 | 新設一式 | | | | |
| ○ 動力設備 | | | | | |
| ○ 電気自動車用充電設備 | | | | | |
| ○ 電熱設備 | | | | | |
| ○ 雷保護設備 | | | | | |
| ○ 受変電設備 | | | | | |
| ○ 電力貯蔵設備 | | | | | |
| ○ 発電設備 | | | | | |
| ○ 構内情報通信網設備 | | | | | |
| ○ 構内交換設備 | | | | | |
| ○ 情報表示設備 | | | | | |
| ○ 映像・音響設備 | | | | | |
| ○ 拡声設備 | | | | | |
| ● 誘導支援設備 | 新設一式 | | | | |
| ○ テレビ共同受信設備 | | | | | |
| ○ 監視カメラ設備 | | | | | |
| ○ 駐車場管制設備 | | | | | |
| ○ 防犯・入退室管理設備 | | | | | |
| ○ 火災報知設備 | | | | | |
| ○ 中央監視制御設備 | | | | | |
| ○ | | | | | |
| ○ | | | | | |
| ○ 構内配電線路 | | | | | 外灯設備を含む |
| ○ 構内通信線路 | | | | | |
| ○ | | | | | |
| ○ | | | | | |

4. 指定部分 ● なし
○ あり 範囲: 工期: 令和 年 月 日

II. 工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、●印が付いたものを適用する。

- 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和 4 年版）（以下「標準仕様書」という。）
- 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和 4 年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
- 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和 4 年版）（以下「標準図」という。）

(2) 機械設備工事を本工事に含む場合は、機械設備工事は機械設備の部の特記仕様書を適用する。

なお、機械設備の部の特記仕様書は（ / ）図による。

2. 特記仕様

項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用する。

| 章 | 項 目 | 特 記 事 項 |
|--------|------------|---|
| 一般共通事項 | ●適用区分 | 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ● 風圧力 風速 (V ₀ = 34 m/s) 地表面粗度区分 (Ⅲ) ● 積雪荷重 建設省告示第 1455 号における区域別表 () |
| | ●電気工作物保安規程 | 東北地方整備局制定の営繕工事業用電気工作物保安規程を適用する。 |
| | ●電気工士 | 最大電力 500 kW 以上の場合においても、第 1 種電気工士により施工を行う。 |
| | ●機材の品質等 | (1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 下表に機材名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承認を受ける。 ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承認を受けた場合は証明となる資料等の提出を省略することができる。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。 |

| | 機 材 名 | 製造業者等名 |
|--|-------------------------------|--------|
| | LED照明器具（一般屋内用に限る。） | |
| | 照明制御装置 | |
| | 可変速運転用インバータ装置 | |
| | 分電盤 | |
| | 制御盤 | |
| | キュービクル式配電盤 | |
| | 高圧スイッチギア（CW形） | |
| | 高圧スイッチギア（PW形） | |
| | 高圧交流遮断器 | |
| | 高圧変圧器（特定機器） | |
| | 高圧進相コンデンサ | |
| | 高圧限流ヒューズ | |
| | 高圧負荷開閉器 | |
| | 交流無停電電源装置 | |
| | 太陽光発電装置（パワーコンディショナ及び系統連系保護装置） | |
| | 監視カメラ装置 | |
| | 中央監視制御（監視制御装置） | |

● 環境への配慮

● 他工事との取合い

● 耐震施工

(1) 本工事において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和3年2月閣議決定）」に定める特定調達品目「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。

(2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。

① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材、は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。

② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。

④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。

(3) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。

① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料

② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

③ 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料

④ 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

施工範囲 図面に特記なき場合は、「工事区分表」による。

(1) 施設の耐震安全性の分類 ○ 特定の施設 ● 一般の施設

(2) 設備機器の固定は、施設の分類並びに機器の種別、重要度及び設置階に応じて、次の設計用水平地震力及び設計用鉛直地震力に対し、移動、転倒、破壊等が生じないようにする。

① 設計用水平地震力
機器の重量[kN]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。
なお、特記なき場合は設計用標準水平震度は次のようにする。

| | 機器種別 | 特定の施設 | | 一般の施設 | |
|--------|---------|-------|------|-------|------|
| | | 重要機器 | 一般機器 | 重要機器 | 一般機器 |
| 上層階 | 機器 | 2.0 | 1.5 | 1.5 | 1.0 |
| 屋上及び塔屋 | 防振支持の機器 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | 1.5 |
| | 水槽類 | 2.0 | 1.5 | 1.5 | 1.0 |
| 中間階 | 機器 | 1.5 | 1.0 | 1.0 | 0.6 |
| | 防振支持の機器 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.0 |
| | 水槽類 | 1.5 | 1.0 | 1.0 | 0.6 |
| | 機器 | 1.0 | 0.6 | 0.6 | 0.4 |
| 地階・1階 | 防振支持の機器 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 0.6 |
| | 水槽類 | 1.5 | 1.0 | 1.0 | 0.6 |

・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。

・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しない階とする。

・水槽類には燃料小槽を含む。

・重要機器は次のものを示す。

○ 配電盤
○ 発電装置（防災用）
○ 直流電源装置

○ 交流無停電電源装置
○ 交換機
○ 自動火災報知受信機

○ 中央監視装置
○
○

② 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

(3) 横引き配管等の耐震支持は、施設の耐震安全性の分類に応じたものとする。

●仮設工事

●電源周波数

●支持金物・固定金具

●電線・ケーブル

○ケーブルの種類

●厚鋼電線管

○合成樹脂製可とう管

●電線本数、管路など

○インサート

●フラッシュプレート

○フロアプレート

●接地極の種類及び位置表示

○塗装

●機器取付高さ

○（〇〇〇〇の部）特記仕様書による。

●足場その他

○別契約の関係受注者が設置したものは無償で使用できる。

○本工事で設置する。

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

○内部足場

○外部足場

種別

○脚立、足踏板等

○

種別

○Ａ種

○Ｂ種

○Ｃ種

○Ｄ種

○Ｅ種

防護シート

○設置する。

○設置しない。

５０ＨＺ

イ)屋外機器及び屋外の配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製（ＳＵＳ３０４）とし、屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。

ロ)振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。

新設する電線類は、図面に「EM-○○」の記載がなくとも、EM電線、EMケーブルを使用する。

EM-高圧架橋ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V 架橋ポリエチレンケーブル（3層押出型）」によるものとし、次による。

| 呼称（図示記号） | 種 類 |
|------------------|---|
| 6kV EM-G(E)(EE) | 6600V 架橋ポリエチレン絶縁耐燃性 ポリエチレンシースケーブル（6600V CE/F(EE)） |
| 6kV EM-CET(E)(E) | 6600V トリプレックス形架橋ポリエチレン絶縁耐燃性 ポリエチレンシースケーブル（6600V CET/F(EE)） |

屋外、及び地下ビッドで使用する厚鋼電線管のうち特記のないものは「内外面熔融亜鉛めっき（めっき付着量 300g/m²以上）」仕上げとする。

合成樹脂製可とう管はPＦ管（一重管）とし、温度による分類はタイプ－25とする。

分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受けて、変更しても差しつかえない。

床版で断熱材打込み部分は、断熱材用インサートとする。

●金属製（ステンレス、新金属も含む）

○樹脂製

○アルミ製

○銅合金製

水平調整付プレート（空転防止リング付）とする。

図面に特記なき場合は、表１「接地極一覧表」による。

○居室に設置する分電盤は指定色塗装を施す。

○下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。（○居室○）

●図面に特記なき場合は、表２「機器取付高さ」による。

●タンブラスイッチ

○OAフローア用配線器具の蓋

○ハーフジョイント用OAボックス

●人感センサー用プレート

○ターミナルユニット付リモコンレール

●LED照明器具

○照度測定

○照度測定（非常用の照明装置）

ネーム付きとする。

○アルミ製

○樹脂製

特記が無いハーフジョイント用OAボックスは次の仕様とする。
2P15A（接地極付抜止形）×4ポート3m（約）付通電表示灯付

照明の人感センサー制御を行う部屋には、下記の注意プレートを設置する。
材質：亚克力 文字：印刷文字 寸法：W=180mm程度、H=50mm程度
参考文例：「人の動きを検知して点灯します。一定時間動きがなければ消灯しますので、その際は再度身体を動かしてください。」
注意プレート設置室： ●便所（計3枚） ○（計 1 枚）

天井内に取付けるターミナルユニット付リモコンレールの設置場所は、原則として点滅系統内の第1照明器具近傍とする。
ただし、これによりがたい場合は監督職員と協議する。

LED照明器具の制御装置記号が特記されていないものは「一般形(LN)」とする。

一般照明の照度測定箇所は、下記によるものとし監督職員に報告する。
○明るさセンサが設置される部屋は、センサ1個につき1箇所以上
○明るさセンサが設置されない部屋は、工事全体で計 箇所以上


非常用の照明装置の照度測定箇所は、工事全体で計 箇所以上とし、監督職員に報告する。

| | | |
|-------------|--|---|
| 各 設 備 | ● 分電盤 | ● 分電盤の分岐回路に使用する配線用遮断器及び漏電遮断器は、JIS協約形の1Pサイズ(100V2P1E、200V2P2E)とする。 |
| | ○ 埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合(PF22)を1本、5個以上の場合(PF22)を2本、天井まで立上げる。 | |
| | ○ 制御盤 | 配管バンドとなる負荷には接地端子を設けなくともよい。 |

| 表1「接地極一覧表」 | | | |
|--|---------|--------|-------------------------|
| 接地極の種類は下記を標準としEBの長さは1,500mmとする。ただし、D=10は1,000mm、W=30は1,200mmとする。又、装柱機器及び屋外灯用接地極の埋設深は不要とする。 | | | |
| 接地極の種類 | 記号 | 接地抵抗値 | 接地極の規格、数量 |
| ○ 電気設備用接地 | ELA | Ω以下 | EP×2 |
| ○ 雷保護用接地 | ELA | Ω以下 | EB (D=14又はW=40) × 3連-1組 |
| ○ 共同接地 | EAEDELH | 10Ω以下 | EB (D=14又はW=40) × 3連-2組 |
| ○ 共同接地 | EAECEDE | 10Ω以下 | EB (D=14又はW=40) × 3連-2組 |
| ○ A種接地 | EA | 10Ω以下 | EB (D=14又はW=40) × 3連-2組 |
| ○ B種接地 | EB | Ω以下 | EB (D=14又はW=40) × 2 |
| ○ C種接地 | EC | 10Ω以下 | EB (D=14又はW=40) × 3連-2組 |
| ● D種接地 | ED | 100Ω以下 | EB (D=14又はW=40) × 1 |
| ○ 漏電遮断器回路 | EFL | 500Ω以下 | EB (D=14又はW=40) × 1 |
| ○ 構内交接地極(埋設用) | Ea | 10Ω以下 | EB (D=14又はW=40) × 3連-2組 |
| ○ 本配線盤の保安装置 | Eat | 10Ω以下 | EB (D=14又はW=40) × 3連-2組 |
| ○ 電話口の保安装置 | ELt | 100Ω以下 | EB (D=14又はW=40) × 1 |
| ○ アンテナ保安装置 | ELt | 100Ω以下 | EB (D=14又はW=40) × 1 |
| ○ 地声増幅器 | Edt | 100Ω以下 | EB (D=14又はW=40) × 1 |
| ○ 防犯装置用 | ES | Ω以下 | EB (D=14又はW=40) × 3連-1組 |
| ○ 測定用補助接地極 | EO | — | EB (D=10又はW=30) × 1 |
| ○ 避雷器用(低圧用) | ELL | 10Ω以下 | EB (D=14又はW=40) × 3連-2組 |
| ○ 避雷器用(高圧用) | ELH | 10Ω以下 | EB (D=14又はW=40) × 3連-2組 |
| ○ 避雷器用(モテム用) | EMD | 100Ω以下 | EB (D=14又はW=40) × 1 |

| 表2「機器取付高さ」 | | | | |
|------------|--------------|------------|---------------------|-------|
| 機 器 | 測 点 | 取付高(mm) | | |
| 共通 | 概算用計器 | 地上～窓中心 | 1,800～2,000 | |
| | 引込開閉器 | 床～中心 | 1,800～2,200 | |
| 電 | 分電盤 | 床～中心 | 1,500 (上)1,900以下 | |
| | スイッチ(一般) | 床～中心 | 1,300 | |
| | スイッチ(自動ドア) | 床～中心 | 1,300 | |
| | スイッチ(和室) | 床～中心 | 1,200 | |
| | スイッチ(一般) | 床～中心 | 300 | |
| | スイッチ(和室) | 床～中心 | 150 | |
| | スイッチ(台上) | 台～中心 | 150～200 | |
| | スイッチ(厨房) | 床～中心 | 800～1,000 | |
| | スイッチ(車庫) | 床～中心 | 1,300 | |
| | スイッチ(機械室) | 床～中心 | 500～1,000 | |
| 灯 | スイッチ(屋外) | 地上～中心 | 1,000～1,300 | |
| | スイッチ(一般) | 床～中心 | 2,100～2,300 | |
| | スイッチ(露場) | 床～中心 | 2,000～2,500 | |
| | スイッチ(壁上) | 壁～中心 | 150 | |
| | 壁掛形制御盤 | 床～中心 | 1,500 (上)1,900以下 | |
| | 開閉器箱 | 床～中心 | 1,500 | |
| 動力 | 制御用スイッチ | 床～中心 | 1,300 | |
| | 試験用接地端子箱 | 床～下端 | 800 | |
| 電保受 | 接地端子箱 | 床～中心 | 500 | |
| 誘導文接等 | 呼出し装置(多機能利用) | 床～中心 | 900、400(各1個) | |
| | 壁付イヤホン(観機) | 床～中心 | 1,300 | |
| | 壁付イヤホン(玄関子機) | 床～中心 | 1,100 | |
| | 廊下表示灯(復旧付) | 床～中心 | 1,300 | |
| | スイッチ(車椅子用) | 床～中心 | 1,100 | |
| | スイッチ(車椅子用) | 床～中心 | 900 | |
| | 電 話 | 集合保安装置箱 | 天井～下端 | 200 |
| | | 端子箱(廊下、室内) | 床～下端 | 300 |
| | | 端子箱(EPSなど) | 床～中心 | 1,500 |
| | | 壁付電話機 | 床～中心 | 1,300 |
| 壁付カナル(一般) | | 床～中心 | 1,300 | |
| 壁付カナル(和室) | | 床～中心 | 150 | |
| 壁掛形時計 | | 床～中心 | 1,500 (上)1,900以下 | |
| 壁付時計 | | 床～中心 | 天井高×0.9 | |
| 壁付時計(一般) | | 天井高×0.9 | 天井高×0.9 | |
| 壁付時計(和室) | | 天井高×0.9 | 天井高×0.9 | |
| 時 計 | 情報表示器 | 床～中心 | 1,300 | |
| | 壁付表示機 | 床～中心 | 1,300 | |
| | 壁付表示機(一般) | 床～中心 | 2,300 | |
| | 壁付表示機(和室) | 床～中心 | 1,300 | |
| | 壁付時計(一般) | 床～中心 | 1,300 | |
| | 壁付時計(和室) | 床～中心 | 約1,350 | |
| | 壁付カナル(一般) | 床～中心 | 1,300 | |
| | 壁付カナル(和室) | 床～中心 | 1,300 | |
| | 壁付カナル(一般) | 床～中心 | 1,300 | |
| | 壁付カナル(和室) | 床～中心 | 1,300 | |
| ホ イ ン タ ー | 壁掛形時計 | 床～中心 | 1,500 (上)1,900以下 | |
| | 壁付時計 | 床～中心 | 天井高×0.9 | |
| | 壁付時計(一般) | 天井高×0.9 | 天井高×0.9 | |
| | 壁付時計(和室) | 天井高×0.9 | 天井高×0.9 | |
| | 情報表示器 | 床～中心 | 1,300 | |
| | 壁付表示機 | 床～中心 | 1,300 | |
| | 壁付表示機(一般) | 床～中心 | 2,300 | |
| | 壁付表示機(和室) | 床～中心 | 1,300 | |
| | 壁付時計(一般) | 床～中心 | 1,300 | |
| | 壁付時計(和室) | 床～中心 | 約1,350 | |
| テ レ ビ | 壁掛形時計 | 床～中心 | 1,500 (上)1,900以下 | |
| | 壁付時計 | 床～中心 | 天井高×0.9 | |
| | 壁付時計(一般) | 天井高×0.9 | 天井高×0.9 | |
| | 壁付時計(和室) | 天井高×0.9 | 天井高×0.9 | |
| | 情報表示器 | 床～中心 | 1,300 | |
| | 壁付表示機 | 床～中心 | 1,300 | |
| | 壁付表示機(一般) | 床～中心 | 2,300 | |
| | 壁付表示機(和室) | 床～中心 | 1,300 | |
| | 壁付時計(一般) | 床～中心 | 1,300 | |
| | 壁付時計(和室) | 床～中心 | 約1,350 | |
| 火 災 報 知 | 壁掛形時計 | 床～中心 | 1,500 (上)1,900以下 | |
| | 壁付時計 | 床～中心 | 天井高×0.9 | |
| | 壁付時計(一般) | 天井高×0.9 | 天井高×0.9 | |
| | 壁付時計(和室) | 天井高×0.9 | 天井高×0.9 | |
| | 情報表示器 | 床～中心 | 1,300 | |
| | 壁付表示機 | 床～中心 | 1,300 | |
| | 壁付表示機(一般) | 床～中心 | 2,300 | |
| | 壁付表示機(和室) | 床～中心 | 1,300 | |
| | 壁付時計(一般) | 床～中心 | 1,300 | |
| | 壁付時計(和室) | 床～中心 | 約1,350 | |
| ガ ス 検 知 器 | 壁掛形時計 | 床～中心 | 1,500 (上)1,900以下 | |
| | 壁付時計 | 床～中心 | 天井高×0.9 | |
| | 壁付時計(一般) | 天井高×0.9 | 天井高×0.9 | |
| | 壁付時計(和室) | 天井高×0.9 | 天井高×0.9 | |
| | 情報表示器 | 床～中心 | 1,300 | |
| | 壁付表示機 | 床～中心 | 1,300 | |
| | 壁付表示機(一般) | 床～中心 | 2,300 | |
| | 壁付表示機(和室) | 床～中心 | 1,300 | |
| | 壁付時計(一般) | 床～中心 | 1,300 | |
| | 壁付時計(和室) | 床～中心 | 約1,350 | |

注) 天井高3,000mm以上の場合及び上取付高さにおいて機器の使用に支障が生じる場合は、監督職員と協議する。

| | | | | | | | | | | | | |
|----|--|---|-------------------------------------|---------------|-------|--------|-----|--------|------|------------------------|----|--------|
| 備考 | |  | 一級建築士事務所 | 青森県A1第495号 | 承認 | 担当 | 製図 | 年月日 | 工事名称 | 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便施設整備工事 | 縮尺 | 設計番号 |
| | | | 株式会社 工藤金正建築設計 | 1級建築士第153872号 | Kudou | Sugimi | Ose | R 7. 3 | 図面名称 | 電気設備特記仕様書 | — | 図面番号 |
| | | | 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正 | | | | | | | | | E — 01 |

工事区分表

（他工事との取合い等）

区分は○印を適用する

A 建築工事E 電気設備工事M 機械設備工事EV エレベーター設備工事

※複数箇所に○印があるものは、各工事を適用する


| | 項目 | A | E | M | EV | | 備考 | | 項目 | A | E | M | EV | | 備考 | | 項目 | A | E | M | EV | | 備考 | | | | | | | | | |
|-----------------------|-----------------------|----------------|---|---|----|---|---------|---|--------------------------------|---|---|---|----|--|-----------|--------------------------------------|------------------------------|--------------|---|---|----|--|----|------------------------------------|--|--------------------|---|---|---|---|--|--|
| 躯体関係 | | | | | | | | | ユニットバス・シャワーユニット | | | ○ | | | | | 自家発電設備 | | | | | | | エレベーター設備 | | | | | | | | |
| | RC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部 | 貫通スリーブ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | 既製浴槽 | | | ○ | | | | | | 自家発電装置 | | ○ | | | | | | 機械室・昇降路の躯体 | ○ | | | | | |
| | | 貫通スリーブの補強 | ○ | | | | | | コンクリート浴槽 | ○ | | | | | | | | 発電装置 基礎 | ○ | | | | | | | 機械室の床開口 | ○ | | | | | |
| | | 開口部の型枠・補強 | ○ | | | | | | 浴槽排水金物 | | | ○ | | | | | | トレンチ | ○ | | | | | | | 機械室の床配管ビット・蓋 | ○ | | | | | |
| | | 貫通スリーブ・開口部の墨出し | ○ | ○ | ○ | ○ | | | 洗濯機パン | | | ○ | | | | | | トレンチ用 蓋 | ○ | | | | | | | 機械室の上げ床コンクリート打設・仕上 | ○ | | | | | |
| | | 貫通スリーブ・型枠部の穴埋め | ○ | ○ | ○ | ○ | | 防火・防煙区画 | フリーアクセスフロアパネル切込み加工 | ○ | | | | | | | | 主燃料タンク（充填砂共） | | ○ | | | | | | 巻上機周囲のチェッカープレート敷 | | | | ○ | | |
| | | | | | | | | フリーアクセスフロア給排気グリル | ○ | | | | | | | | 主燃料タンク用 基礎、外郭工事 | ○ | | | | | | | 昇降路内ビット防水 | ○ | | | | | | |
| S・SRC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部 | 鉄骨貫通鋼管スリーブ | ○ | | | | | | フリーアクセスフロアコンセント | | ○ | | | | | | | 同上杭及び杭頭処理 | ○ | | | | | | | ビット点検タラップ | | | | ○ | | | |
| | 貫通スリーブ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | 壁・天井空調用給排気グリル | | | ○ | | | | | | 燃料小出タンク | | ○ | | | | | | 各階出入口穴あけ・同補強 | ○ | | | | | | |
| | 貫通スリーブの補強 | ○ | | | | | | 感知器連動防火戸のレリーズ用切込み | ○ | | | | | | | | 燃料小出タンク基礎 | ○ | | | | | | | 三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補強 | | | | ○ | | | |
| | 開口部の型枠・補強 | ○ | | | | | | 消火器ボックス | ○ | | | | | | | | 防油堤 | ○ | | | | | | | 昇降路がS造の場合の出入口扉・三方枠及び幕板の受け | ○ | | | | | | |
| | 貫通スリーブ・開口部の墨出し | ○ | ○ | ○ | ○ | | | 表面仕上がが必要な全熱交換機等の表面仕上 | ○ | | | | | | ボード類、塗装のみ | | | ○ | | | | | | | 昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、他昇降路内の鋼製部材一式 | | | | ○ | | | |
| | 貫通スリーブ・型枠部の穴埋め | ○ | ○ | ○ | ○ | | 防火・防煙区画 | 壁・天井・床点検口 | ○ | | | | | | M・E用含む | | | 給油ボックス | | ○ | | | | | 昇降路がS造の場合の中間ビーム及びブラケットの受けベース | | | | | | | |
| | 貫通スリーブ・型枠部の穴埋め | ○ | ○ | ○ | ○ | | 防火・防煙区画 | 駆動装置が電動の建具類の1次電源、1次・2次配管、及び手元電源スイッチ | | | ○ | | | | | | 給油ボックス 基礎 | ○ | | | | | | | 昇降路がS造の場合の中間ビーム及びブラケットの受けベース | ○ | | | | | | |
| | 予備スリーブの穴埋め | ○ | ○ | ○ | ○ | | 防火・防煙区画 | 同上本体・駆動装置・検出装置（センサー） | ○ | | | | | | | | 屋外トレンチ | ○ | | | | | | | 機械室天井・昇降路内フック取付 | ○ | | | | | | |
| | | | | | | | | 駆動装置が電動のブラインド・排煙オペレーター等の1次配線及び1次・2次配管 | | | ○ | | | | | | 屋外トレンチ用 蓋 | ○ | | | | | | | ホール押釦・インジケータなどの壁開口 | ○ | | | | | | |
| | | | | | | | | 同上本体・操作スイッチ及び2次配線 | ○ | | | | | | | | 危険物表示板 | | ○ | | | | | | | 機械室内換気設備 | | | | ○ | | |
| 設備機器の基礎 | 機器取り付け用アンカー・架台 | | ○ | ○ | ○ | | | 電動スクリーン用ボックス | ○ | | | | | | | | 機器附属の制御盤以降の2次側配管配線（接地線共） | | | ○ | ○ | | | | エレベーター制御盤までの一次側動力用配管配線工事（AC3相 200V50Hz） | | | ○ | | | | |
| | 基礎 | ○ | | | | | | 電気錠及び扉～枠通電金具及び2次配線 | ○ | | | | | | | | 機器附属の制御盤への1次側電源供給配管配線（接地線共） | | ○ | | | | | | エレベーター制御盤までの一次側電灯用配管配線工事（AC単相 100V50Hz） | | | ○ | | | | |
| | 太陽光発電設備基礎 | ○ | | | | | | 同上用1次配線及び1次・2次配管 | | ○ | | | | | | | 自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線（接地線共） | | ○ | | | | | | エレベーター制御盤までの接地用配管配線工事（D種接地） | | | ○ | | | | |
| | 太陽光発電設備架台 | | ○ | | | | | 避雷導体の接続 | | ○ | | | | | | | 機器と附属操作スイッチの渡り配管配線 | | | ○ | ○ | | | | エレベーター制御盤までの火災警報用配管配線工事 | | | ○ | | | | |
| その他 | トラフ・ビット類（ふたを含む） | ○ | | | | | | 笠木を棟上げ導体とした場合の笠木～笠木の接続 | ○ | | | | | | | | 注油口内アース端子からのアース用配管配線 | | ○ | ○ | | | | | エレベーター制御盤からの非常用インターホンまでの配線及びインターホン取付工事 | | | | ○ | | | |
| | RC造各種ビット | ○ | | | | | | ルーフドレン及びたてどい | ○ | | | | | | | ACP屋外機と屋内機の渡り電源・信号・アース用配管配線 | | | ○ | | | | | エレベーター制御盤までのエレベーター監視又は警報盤までの配管配線工事 | | | | ○ | | | | |
| | 同上用マンホール・タラップ | ○ | | | | | | 煙突の水抜き管（排水管） | ○ | | | | | | | ACPマルチ形屋内機の電源・アース用配管配線 | | ○ | | | | | | エレベーター制御盤からエレベーター内監視カメラまでの配管配線工事 | | | | ○ | | | | |
| | 排水溝 | ○ | | | | | | 地震感知器の配管配線 | | | ○ | | | | | 機器・電極棒用の電源配管配線 | | ○ | | | | | | 緊急地震速報受信用配管工事 | | | ○ | | | | | |
| | オイルサービスタンクの防油堤 | ○ | | | | | | 防煙ダンパーと連動制御器までの配管配線及び連動制御盤から煙感知器までの配管配線 | | ○ | | | | | | 屋内消火栓ポンプ制御盤から消火栓ポンプ始動装置への電源・信号線の配管配線 | | ○ | | | | | | 昇降路頂部煙感知器・熱感知器設備工事 | | | ○ | | | | | |
| | フリーアクセスフロア内の防水堤 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ビット内点検用コンセント設備工事 | | | ○ | | | | | |
| | 設備室内床排水管 | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | エレベーターシャフト吊りフック（必要な場合、建築工事に支給） | | | | ○ | | | |
| | 既埋設配管配線調査（X線探査含む） | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | レールブラケット取り付けファスナー（必要な場合、建築工事に支給） | | | | ○ | | | |
| 仕上関係 | | | | | | | | 屋外関係 | | | | | | | | | | | | | | | | | 動力計測用電力計から自動制御盤までの配管・配線工事 | | | | ○ | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 軽鉄天井・壁下地 | ボード類の切り込み | ○ | | | | | | 排水・ハンドホール廻り | 雨水排水設備 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 下地材の切込み・補強 | ○ | | | | | | | くつ洗いの排水金物・排水管 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 開口部の墨だし | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | 駐車場・車庫廻りのガソリントラップ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可動間仕切 | 切込み・補強 | ○ | | | | | | | 雑排水・汚水排水設備 | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 各種ボックス類 | ○ | ○ | ○ | | | | | ハンドホール | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 吊りボルト及びインサート | 設備機器類用 | | ○ | ○ | | | | | E・M棟で充填用マンホールふたを使用した場合の表面仕上 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | 雨水利用設備（ルーフドレン、縦樋はA、縦樋から集水槽までM） | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 給排気関係 | 外壁ガラリ | ○ | | | | | | オイルタンク廻り | オイルタンク本体（充填砂共） | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 防風板 | ○ | | | | | | | オイルタンクの外郭、基礎 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ウェザーカバー・ベントキャップ | | | ○ | | | | | 同上杭及び杭頭処理 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 排気フード（標準詳細図によるステンレス製） | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 排気フード（レンジフード等既製品） | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 水廻り機器 | 流し台・吊り戸棚・水切り棚・コンロ台 | ○ | | | | | 厨房用はM | ユニット型浄化槽 | ビット型の躯体 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 手洗い・洗面器カウンター | ○ | | | | | | | 上記以外のユニット型浄化槽本体・配管及び器付等（充填砂共） | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 鏡（既製品） | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 鏡（注文品） | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | バリアフリースイッチ手すり・便器類手すり | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | トイレブース内小物棚 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ベビースीト | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

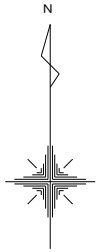
この工事区分表は、建築工事（A）、電気設備工事（E）、機械設備工事（M）、エレベーター工事（EV）といった施工上密接に関連する各工事において、材料や作業がどの工事に含まれているかを明確にするために共通事項として添付しているものである。よって、本工事の設計図書に記載されていない、工事範囲外の項目も含んでおり、本工事の具体の工事内容を示すものではないことに留意すること。

〇〇〇〇（〇〇）電気設備工事

工事区分表

青森県 令和 年 月

| | | | | | | | | | | | |
|----|--|--|---------------|-------|--------|-----|--------|------|-------------------------|----|--------|
| 備考 | |  一級建築士事務所 株式会社 工藤金正建築設計 <small>弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559</small> | 青森県A1第495号 | 承認 | 担当 | 製図 | 年月日 | 工事名称 | 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事 | 縮尺 | 設計番号 |
| | | | 1級建築士第153872号 | Kudou | Sugimi | Ose | R 7. 3 | 図面名称 | 工事区分表 | — | 図面番号 |
| | | | 工藤金正 | | | | | | | | E — 02 |



付近見取図

凡 例

WHM

引込開閉器盤（屋外用・銅板製）

ハンドホール H1-6 (R8K-60)

⊠

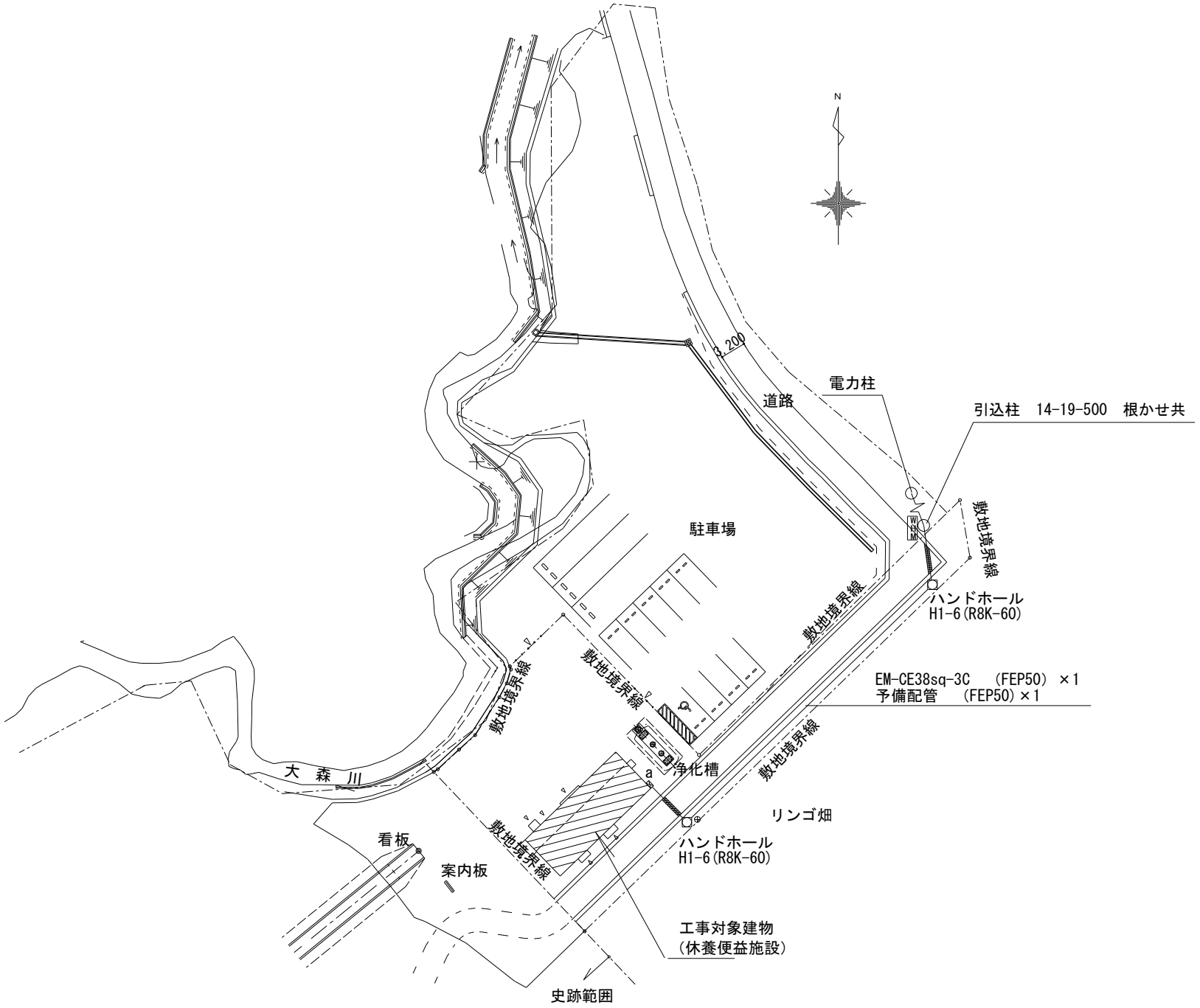
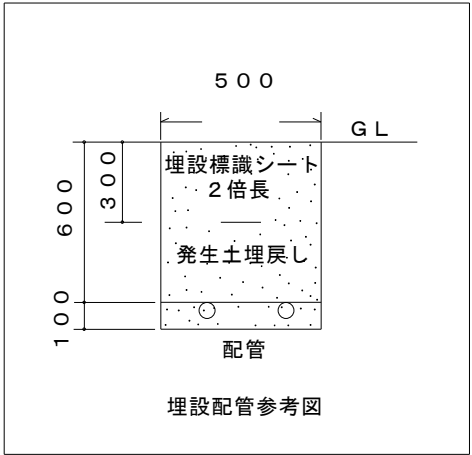
a

ブルボックスSS形防水 (SUS) 250×250×250
GL+2,700に取付

配線は下記による

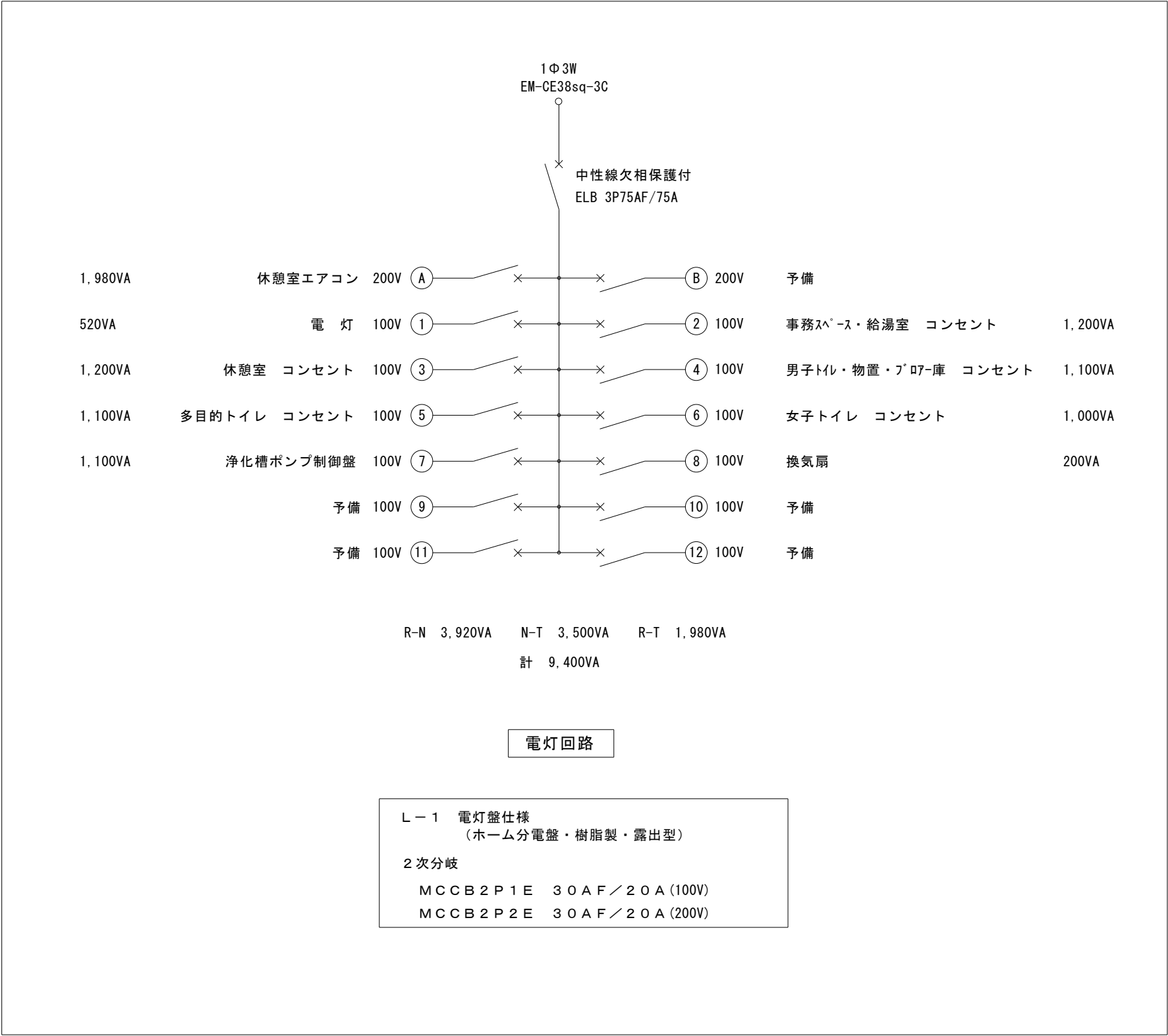
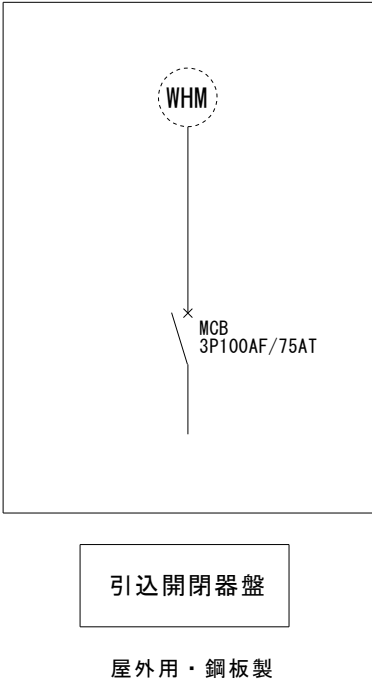
EM-CE38sq-3C (FEP50)
予備配管 (FEP50)
GL-600 (埋設シート共)
引込柱及びブルボックスへの立上りは
G54・SUSを使用する

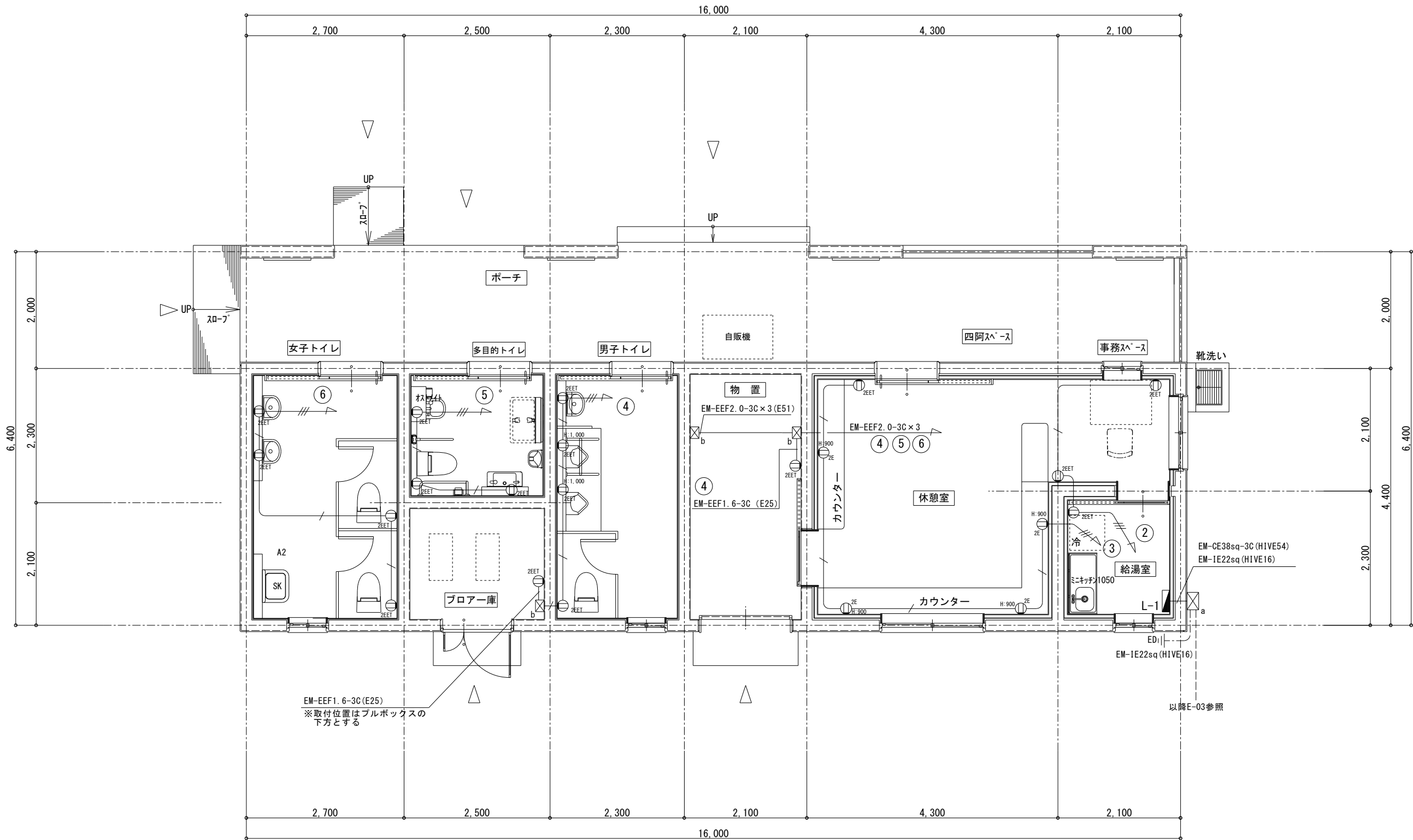
注記 配管経路の斜線部はアスファルト舗装でなので、アスファルトの撤去及び修復のみ建築工事で行い
その他は土なので電気工事で掘削・埋戻しを行う



配置図 S=1:500

| | | | | | | | | | | |
|----|--|-----------------------------|-------|--------|-----|-------|------|-------------------------|-------|-----------|
| 備考 | <div><div>一級建築士事務所</div><div>株式会社 工藤金正建築設計</div><div>弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172 (27) 1559 工藤金正</div></div> | 青森県A1第495号 1級建築士第153872号 | 承認 | 担当 | 製図 | 年月日 | 工事名称 | 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事 | 縮尺 | 設計番号 |
| | | | Kudou | Sugimi | Ose | R 7.3 | 図面名称 | 付近見取図・配置図・屋外配線図 | 1:500 | 図面番号 E-03 |





EM-EEF1.6-3C(E25)
※取付位置はブルボックスの
下方とする

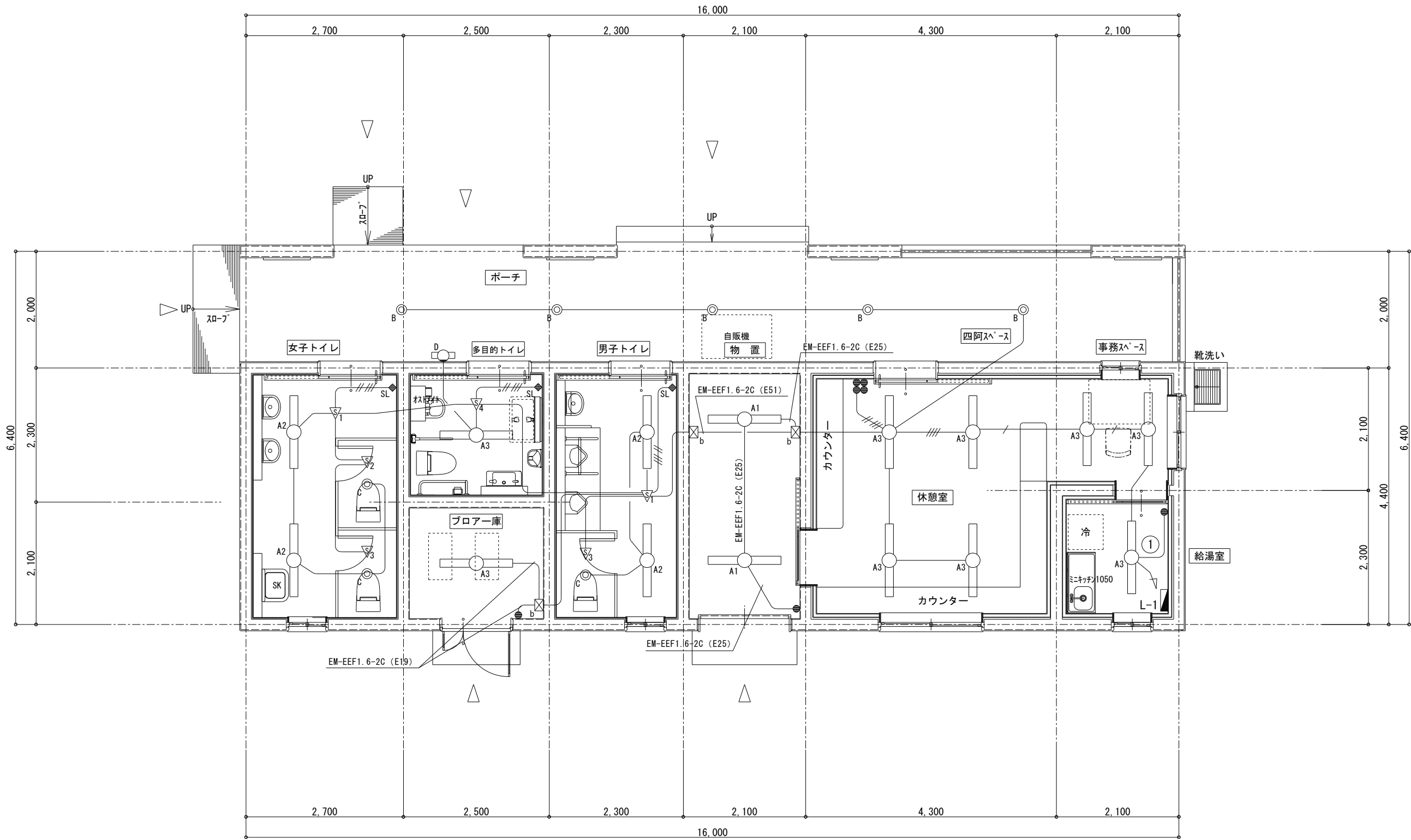
平面詳細図 S=1:50

※注記 物置とフロアー庫は露出配管とする
コンセントは露出金属ボックス取付とする

凡例

- | | | | | |
|--|------------------|-------------|--|--------------|
| | L-1 | 電灯盤 | | 特記なき配線は下記による |
| | コンセント | 2P15AE×2 | | EM-EEF1.6-3C |
| | コンセント | 2P15AE×2+ET | | EM-EEF2.0-3C |
| | ブルボックスSS形防水(SUS) | 250×250×250 | | |
| | ブルボックスSS形(錆止め塗装) | 200×200×150 | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----|--|--|-----------------------------|-------|--------|-----|--------|------|-------------------------|------------|--------------|
| 備考 | | 一級建築士事務所 株式会社 工藤金正建築設計 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正 | 青森県A1第495号 1級建築士第153872号 | 承認 | 担当 | 製図 | 年月日 | 工事名称 | 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事 | 縮尺 1:50 | 設計番号 |
| | | | | Kudou | Sugimi | Ose | R 7. 3 | 図面名称 | コンセント設備図 | | 図面番号 E 05 |



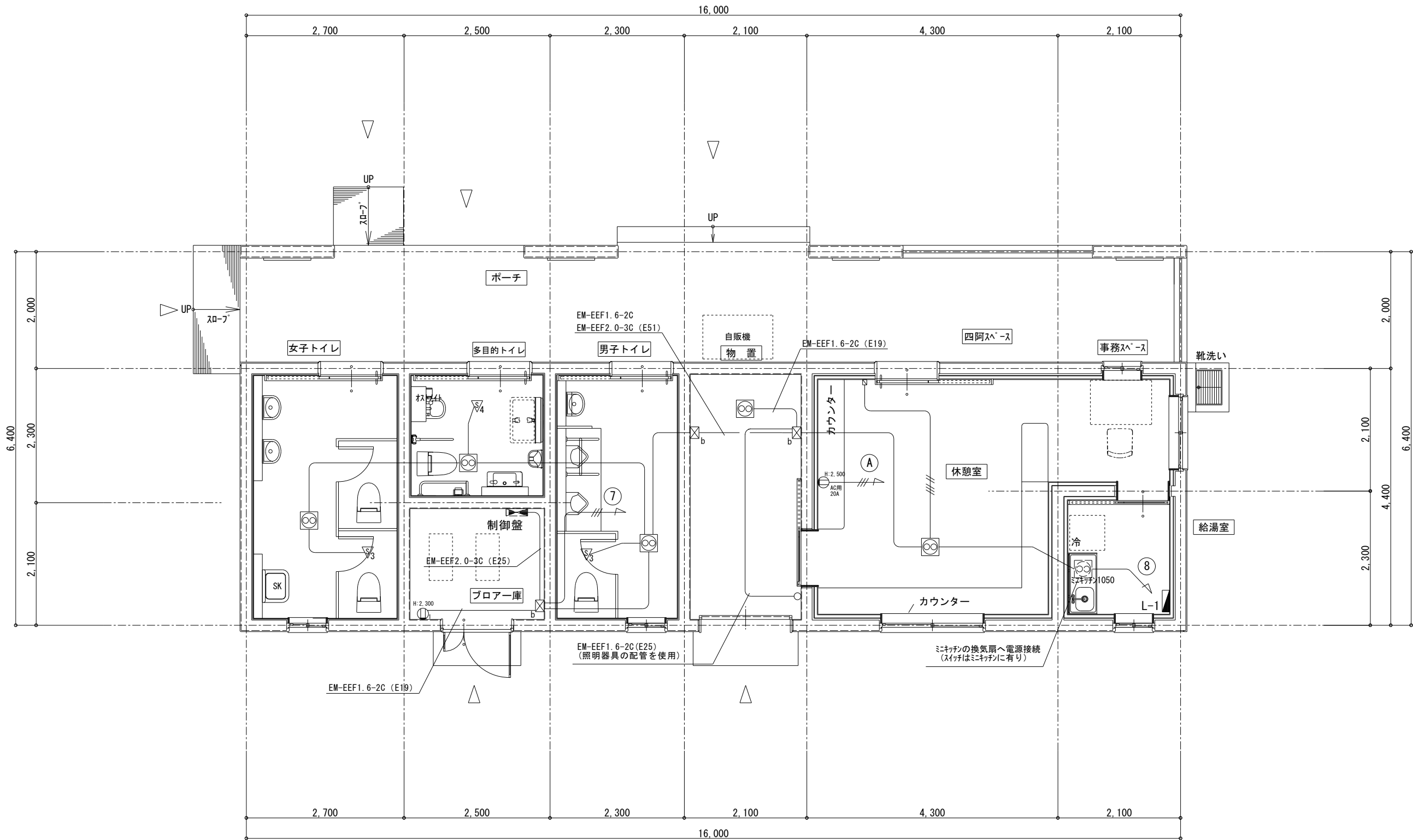
平面詳細図 S=1:50

※注記 物置とフロアー庫は露出配管とする
照明器具及びスイッチは露出金属ボックス取付とする

凡例

- | | | | |
|--|--------------------------|--------------|------------------------------|
| | L-1 電灯盤 | | ﾌﾟﾙｯｸｽSS形(錆止め塗装) 200×200×150 |
| | ネーム付スイッチ 1P15A | 特記なき配線は下記による | |
| | 熱線センサ付自動スイッチ用操作ユニット 2回路用 | | EM-EEF1.6-2C |
| | 熱線センサ付自動スイッチ 親機・8Aタイプ | | EM-EEF1.6-3C |
| | 熱線センサ付自動スイッチ 子機 | | EM-EEF1.6-2C×2 |
| | 熱線センサ付自動スイッチ 子機(換気扇連動用) | | EM-EEF1.6-2C+3C |
| | 熱線センサ付自動スイッチ 親機(換気扇連動用) | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----|--|--|-----------------------------|-------|--------|-----|--------|------|-------------------------|------------|--------------|
| 備考 | | 一級建築士事務所 株式会社 工藤金正建築設計 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正 | 青森県A1第495号 1級建築士第153872号 | 承認 | 担当 | 製図 | 年月日 | 工事名称 | 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事 | 縮尺 1:50 | 設計番号 |
| | | | | Kudou | Sugimi | Ose | R 7. 3 | 図面名称 | 電灯設備図 | | 図面番号 E 07 |



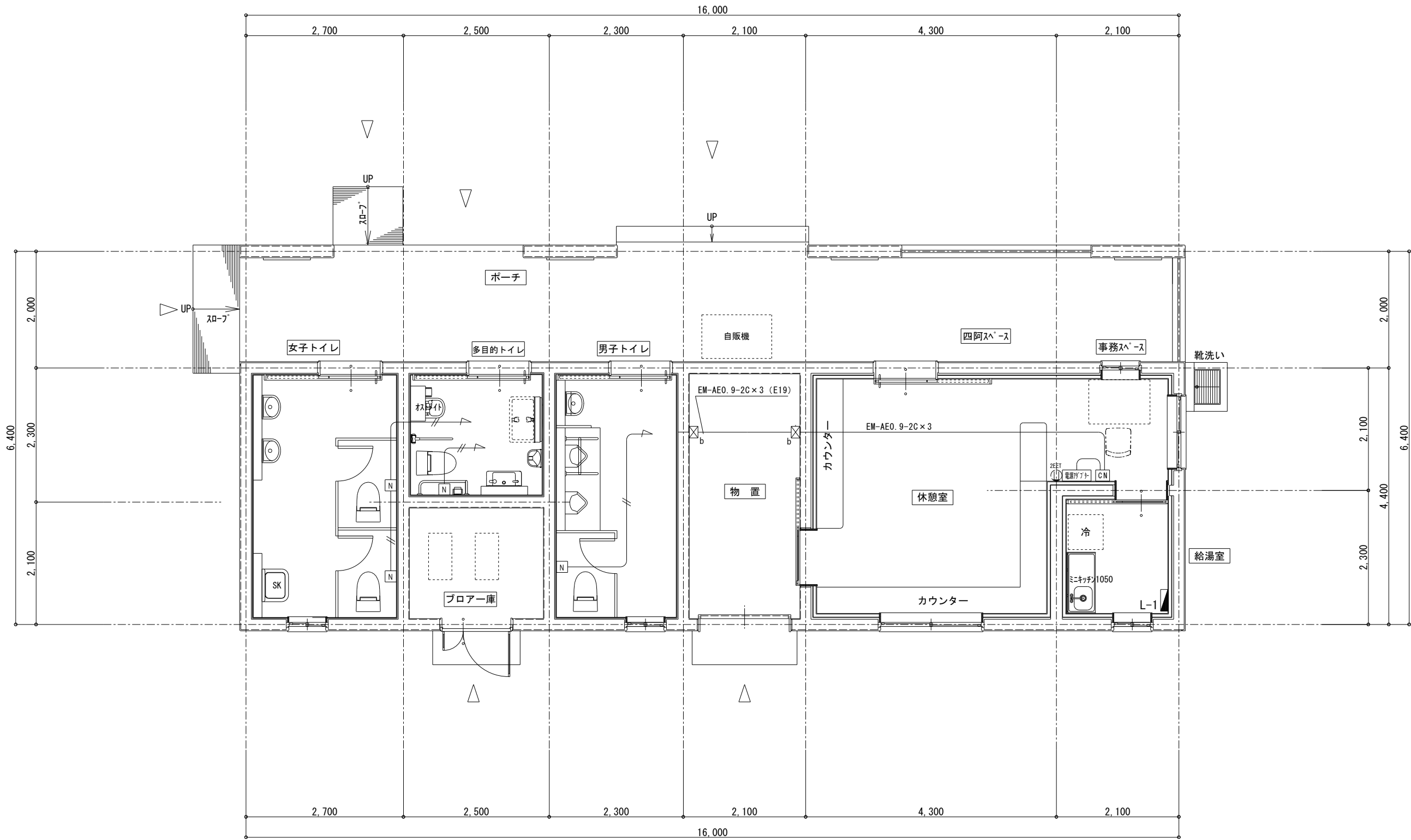
平面詳細図 S=1:50

※注記 物置とフロアー庫は露出配管とする
コンセント及びスイッチは露出金属ボックス取付とする
物置のスイッチは照明器具のスイッチと同じ露出金属
ボックスを使用する

凡例

- | | |
|---|---|
| ■ L-1 電灯盤 | ⊠ _b プルボックスSS形(錆止め塗装) 200×200×150 |
| ○ ネーム付バネロッドスイッチ 1P4A | ■ 制御盤取付は機械設備工事・結線は電気設備工事 |
| ⊖ コンセント 2P15A×1 | ⊠ 換気扇及びスイッチ等 |
| ⊖ _{AC用 20A} コンセント 接地2P20A×1 AC200V | ⊠ 取付は機械設備工事・結線は電気設備工事 |
| ▽ ₃ 熱線センサ付自動スイッチ 子機(換気扇連動用) | 特記なき配線は下記による |
| ▽ ₄ 熱線センサ付自動スイッチ 親機(換気扇連動用) | —— EM-EEF1.6-2C |
| | —— /// EM-EEF2.0-3C |
| | —— /// EM-EEF1.6-2C+1.6-3C |

| | | | | | | | | | | |
|----|---|-----------------------------|-------|--------|-----|--------|------|-------------------------|------|-----------|
| 備考 | <div>一級建築士事務所 株式会社 工藤金正建築設計 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正</div> | 青森県A1第495号 1級建築士第153872号 | 承認 | 担当 | 製図 | 年月日 | 工事名称 | 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事 | 縮尺 | 設計番号 |
| | | | Kudou | Sugimi | Ose | R 7. 3 | 図面名称 | 機械設備用配線図 | 1:50 | 図面番号 E 08 |




平面詳細図 S=1:50

※注記 物置のみ露出配管とする

凡例

- L-1 電灯盤
 - CN 3窓用トイレ呼出表示器
 - 電源アダプター
 - N 呼出ボタン（引きひも付）
 - 排水口 排水口SS形（錆止め塗装） 200×200×150
- 特記なき配線は下記による
- EM-AE0.9-2C

| | | | | | | | | | | |
|----|---|-----------------------------|-------|--------|-----|--------|------|-------------------------|------------|--------------|
| 備考 |  <div>一級建築士事務所 株式会社 工藤金正建築設計 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正</div> | 青森県A1第495号 1級建築士第153872号 | 承認 | 担当 | 製図 | 年月日 | 工事名称 | 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事 | 縮尺 1:50 | 設計番号 |
| | | | Kudou | Sugimi | Ose | R 7. 3 | 図面名称 | トイレ呼出設備図 | | 図面番号 E 09 |



付近見取図

凡 例

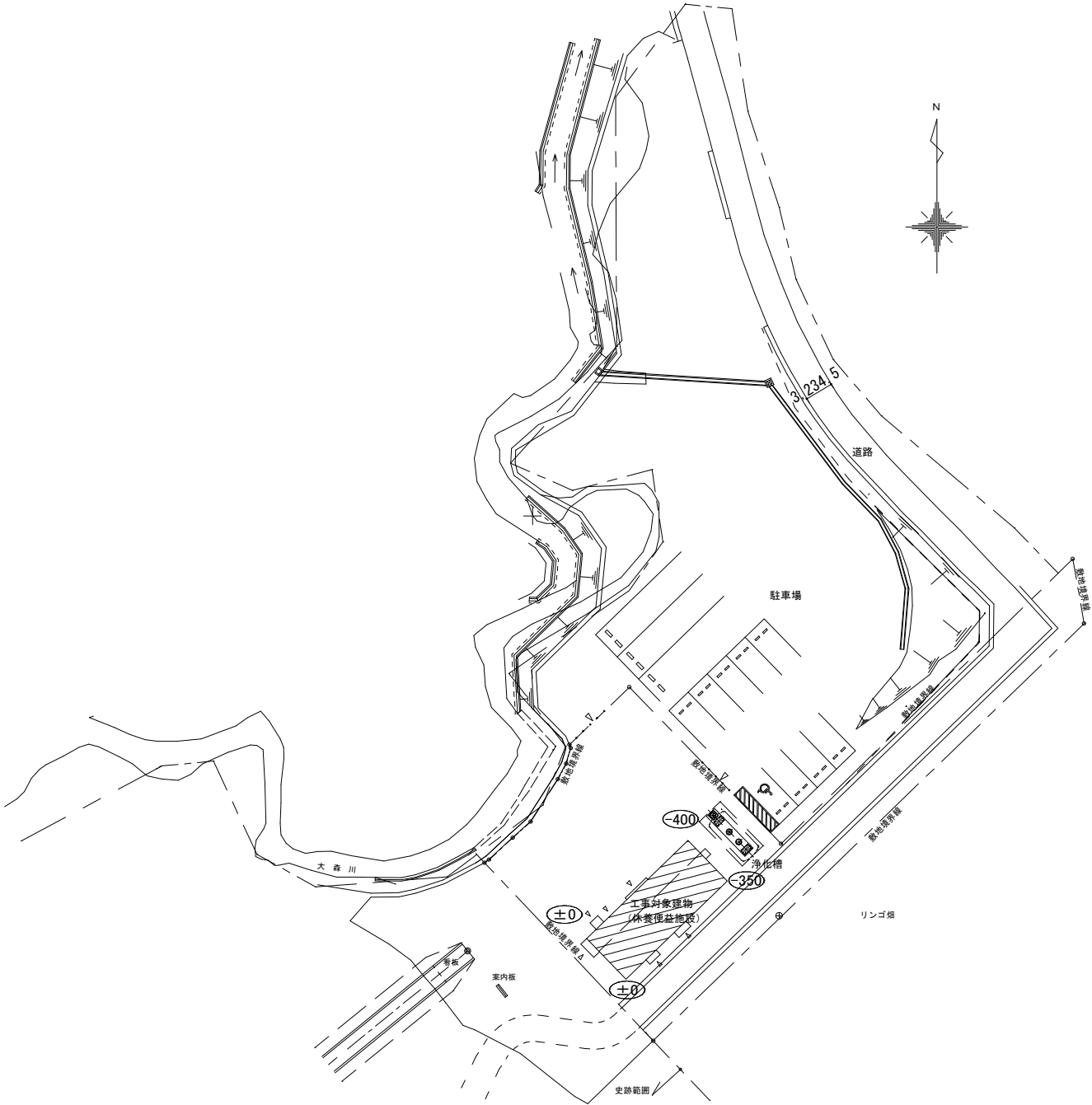
| 記 号 | 名 称 | 仕様 |
|-----------|---------|------------------------------|
| —— — — — | 給 水 管 | 屋外 PP管(水抜栓まで)以降埋設 VD管.隠蔽 VB管 |
| ————— | 汚水.排水管 | 屋外 VU管(柵間). 屋内 VP 管 |
| - - - - - | 通 気 管 | VP 管 |
| —— A —— | エ ア - 管 | 屋外埋設管 HIVP 管.屋内露出管 SGP(白)管 |
| —— E —— | 電 気 管 | PF管及び浄化槽メーカー仕様による |

特記事項

1. 各官庁の指示及び指導に従う事

2. 冬季間閉鎖に伴う水抜き対策

3. 量水器BOX内の凍結対策(断熱材の充填)



配 置 図 S=1:500

※設計G L : 125.40
○ 設計G Lからの高低差

備考



一 級 建 築 士 事 務 所
株式会社 工藤金正建築設計

青森県A1第495号
1級建築士第153872号
弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正

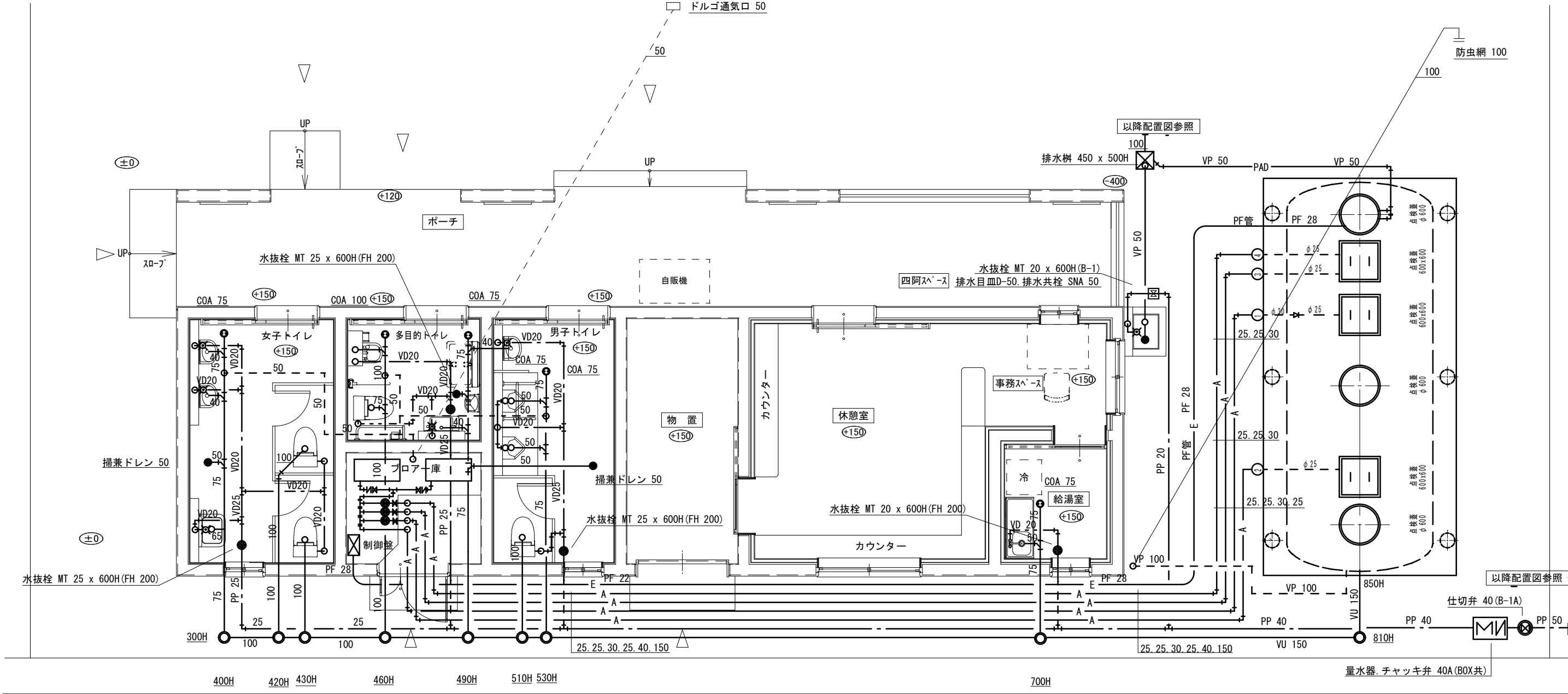
| 承認 | 担当 | 製図 | 年月日 |
|-------|--------|--------|--------|
| Kudou | Sugimi | kimura | R 7. 3 |

| 工事名称 | 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事 |
|------|-------------------------|
| 図面名称 | 付近見取図.配置図.凡例 |

| 縮 尺 | 1 : 500 |
|------|---------|
| 設計番号 | — |
| 図面番号 | M — 03 |

衛生器具表

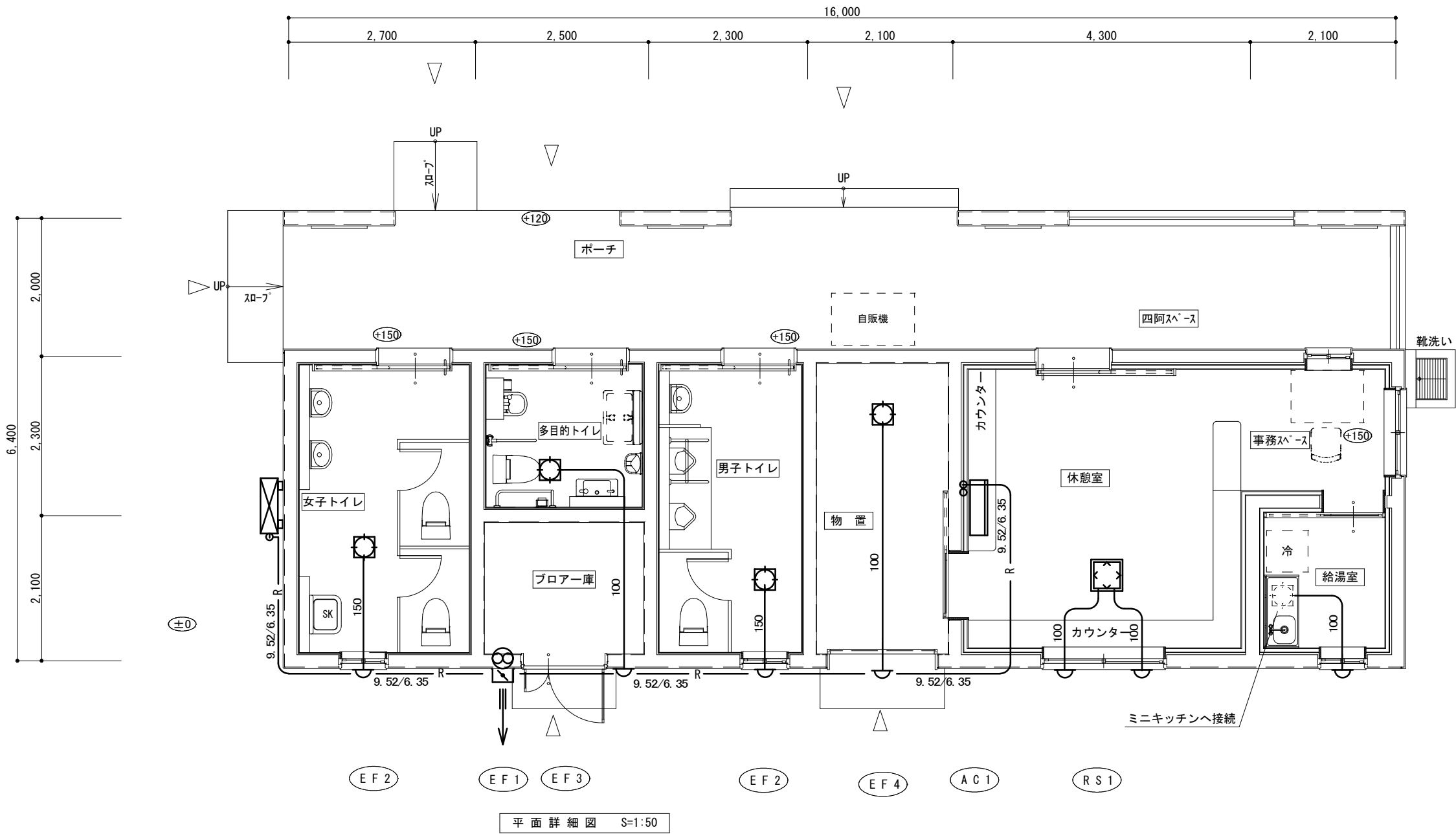
| 名 称 | 仕様（TOTO品番） | 仕様（LIXIL品番） | 女子トイレ | 多目的 トイレ | 男子トイレ | 給湯室 | 屋外 | 数 | 備考 |
|------------------|--|--|-------|------------|-------|-----|----|-----|-------------|
| 洋風大便器 (車いす対応) | CS20AB. SH30BA. TCF5841P. YH181L | BC-220SK. DT-K250N. CW-PC12NECK. KF-67T2L | | 1 | | | | 1 | 1相100Vx410W |
| | 床置. 腰掛け. 温水洗浄方式(蓋無し). 音姫付. ステンレス製2連紙巻器 | 床置. 腰掛け. 温水洗浄方式(蓋無し). 音姫付. ステンレス製2連紙巻器 | | | | | | | |
| 同上手すり | T112CL10. T112HK7R 樹脂製はね上げ式. 樹脂製L型. 他付属金具共 | KF-920AE70D12J. KF-471EH70JU 樹脂製はね上げ式. 樹脂製L型. 他付属金具共 | | 1 | | | | 1 | |
| 洋風大便器 | CS597BCS. SH596BAYR. TCF6553AK. YH181L | BC-P20SUM. DT-PA250UNCHTK. CW-KA32QC. KF-67T2L | 2 | | 1 | | | 3 | 1相100Vx410W |
| | 掃除口付. 床置. 腰掛け. 温水洗浄方式. 音姫付. ステンレス製2連紙巻器 | 掃除口付. 床置. 腰掛け. 温水洗浄方式. 音姫付. ステンレス製2連紙巻器 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 小便器 | UFH500. TEA62ADS 低リップ式. 壁掛型. 自動感知式. 他付属部品共 | U-406RU. OKU-AT131SD 低リップ式. 壁掛型. 自動感知式. 他付属部品共 | | | 2 | | | 2 | 自己発電式 |
| 同上手すり | T112CU22 | KF-701AEJ | | | 1 | | | 1 | |
| 手洗器 | L210C. TLE28SS1A | L-132AG. AM-300CV1 | 2 | | 1 | | | 3 | 1相100Vx10W |
| | 小型壁掛形. 自動水栓. Sトラップ. 床給水. トラップカバー付. 他付属金具共 | 小型壁掛形. 自動水栓. Sトラップ. 床給水. トラップカバー付. 他付属金具共 | | | | | | | |
| 手洗器 | LSE870APFRMS 小型壁掛形. 自動水栓. Sトラップ. 床給水. 他付属金具共 | L-A74TA2B. A-5303W 小型壁掛形. 自動水栓. Sトラップ. 床給水. 他付属金具共 | | 1 | | | | 1 | 1相100Vx10W |
| オストメイト バック | UAS81RPB2NW. LTR141x2. 電気温水器付 . コンパクトタイプ.. 側板. 他付属金具共 | PT0M-B210W. PT0M-ESCR. 電気温水器付 . コンパクトタイプ.. 側板. 他付属金具共 | | 1 | | | | 1 | 1相100Vx600W |
| | | | | | | | | | |
| 掃除流し | SK22A. T23AEQ20 | S-202A. LF-7KEZ-19U | 1 | | | | | 1 | |
| | | | | | | | | | |
| 化粧鏡 | YM6090F 600 x 900 X 5mm. 他付属金具共 | KF-6090A 600 x 900 X 5mm. 他付属金具共 | | 1 | | | | 1 | |
| 化粧鏡 | YM4560F 450 x 600 X 5mm. 他付属金具共 | KF-4560A 450 x 600 X 5mm. 他付属金具共 | 2 | | 1 | | | 3 | |
| | | | | | | | | | |
| 万能ホーム水栓 | T200SUN-13C 寒冷地用 | LF-7R-13U 寒冷地用 | | | | | 1 | 1 | |
| | | | | | | | | | |
| 建築工事一覧表 | | | | | | | | | |
| ミニキッチン | 水栓. 天井扇付属品 | | | | | (1) | | (1) | 建築工事 |
| ベビーシート | | | | (1) | | | | (1) | 建築工事 |
| ベビーチェアー | | | | (1) | | | | (1) | 建築工事 |



衛生設備 平面詳細 図 S=1:50

| | | | | | | | | | | | | |
|----|---|--|------------|---------------|-----|-------|---------|---------|------|--------------------------|-------|-----------|
| 備考 | 一 級 建 築 士 事 務 所 | | 青森県A1第495号 | | 承 認 | 担 当 | 製 図 | 年月日 | 工事名称 | 令和7 年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事 | 縮 尺 | 設計番号 |
| |  | 株式会社 工藤金正建築設計 | | 1級建築士第153872号 | | Kudou | Sugi mi | Sugi mi | | | | |
| | | 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工 藤 金 正 | | | | | | | 図面名称 | 衛生設備 平面詳細図 | 1: 50 | 図面番号 M 06 |

| 記 号 | 名 称 | 仕様 | 電気消費量 | 数 | 備 考 |
|-------|-------------|--|-----------------------------------|---|--------|
| A C 1 | 空調機(壁掛型) | 冷房能力 C : 3.6 KW(～4.3 KW) 暖房能力 H : 4.2 KW(～6.9 KW) . ドレンアップメカ.コードレスRSW. 室内外渡り配線. 配管. 室外機ブラケット式. | 1相200Vx 1,130 W | 1 | 休憩室 |
| R S 1 | 全熱交換器(ロスナイ) | 100 mm x 100 m3/h x 30 Pa. 天井埋込形. 温度交換率 62 %. 電気式シャッター. SUS製フード (網付). 他付属品共 | 1相100Vx 50.5 W | 1 | 休憩室 |
| E F 1 | 換 気 扇 | 25 cm x 450 m3/h x 10 SP. 格子形. 連動式シャッター. 引きひも付. SUS製フード (網付). 他付属品共 | 1相100Vx 26 W | 1 | フロア-室 |
| E F 2 | 天 井 扇 | 150 mm x 300 m3/h x 60 Pa. プラスチックボディ. 深形SUS製セルフフード(網付). 他付属部品共 | 1相100Vx 48 W | 2 | 男女トイレ |
| E F 3 | 天 井 扇 | 100 mm x 100 m3/h x 30 Pa. プラスチックボディ. 深形SUS製セルフフード(網付). 他付属部品共 | 1相100Vx 16.5 W | 1 | 多目的トイレ |
| E F 4 | 天 井 扇 | 100 mm x 100 m3/h x 30 Pa. プラスチックボディ. 深形SUS製セルフフード(網付). 他付属部品共 | 1相100Vx 13 W | 1 | 物置 |
| | | | | | |
| W C 1 | 合併式浄化槽 | FRP製 100 人槽. 20 PPM. 流入-自然. 放流-ポンプアップ方式. ブロア-ポンプ. 法定付属部品共 詳細は別紙図面参照 *電源は1相100V用とする | フロア- 400W x 2台 排水ポンプ 150W x 2台 | 1 | 屋外 |



備考

一級建築士事務所

青森県A1第495号

株式会社 工藤金正建築設計

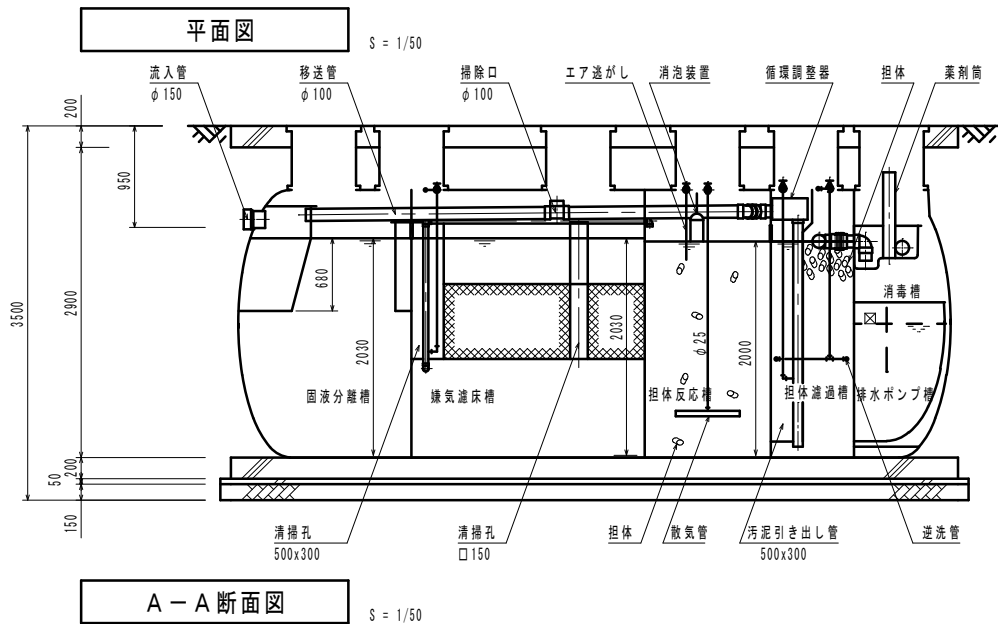
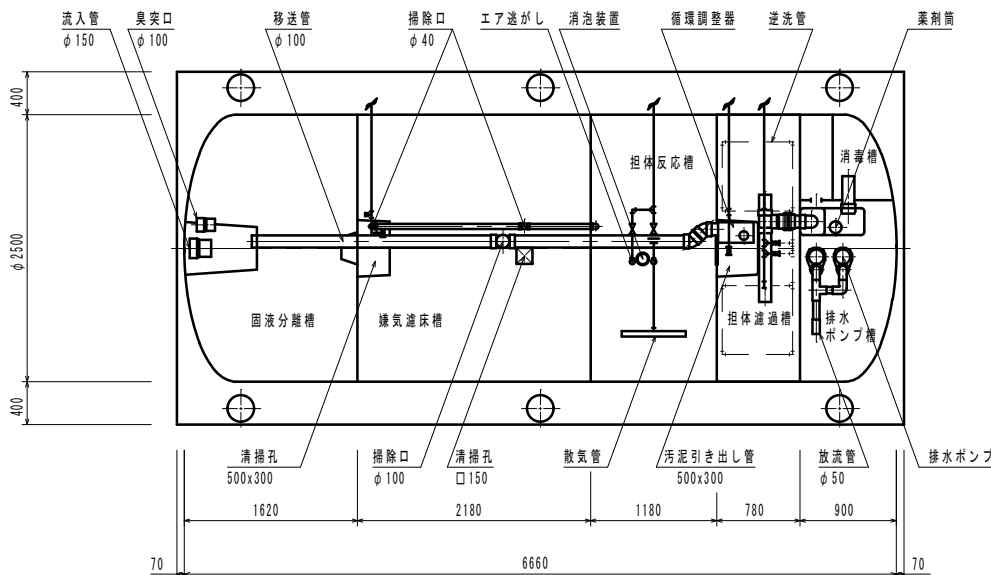
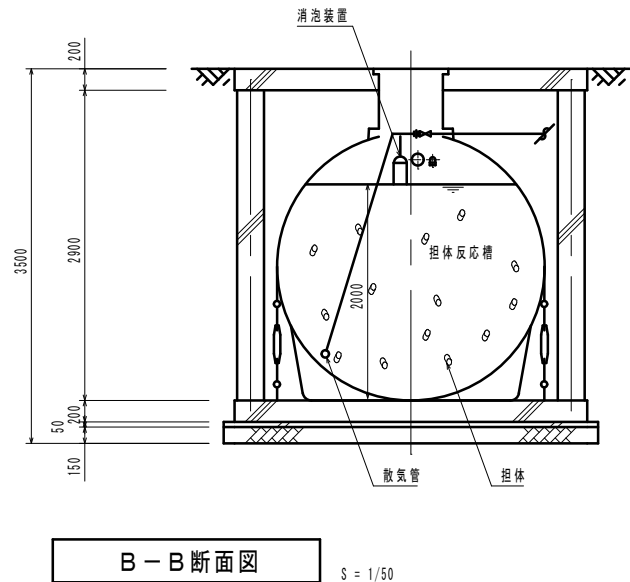
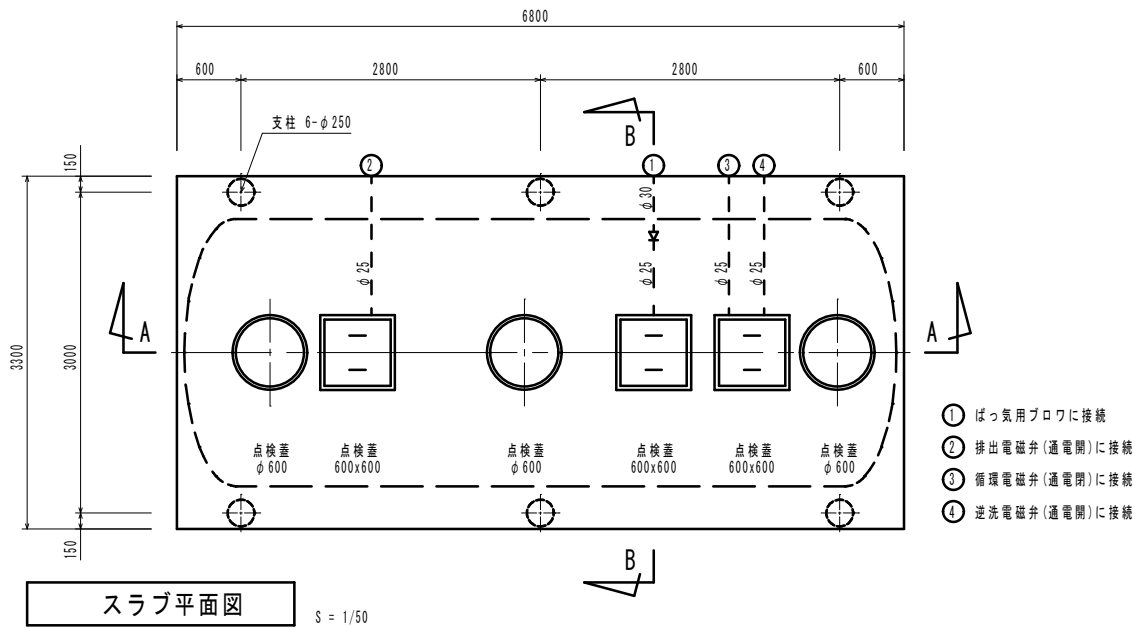
1級建築士第153872号

弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正

| | | | |
|-------|--------|--------|------|
| 承認 | 担当 | 製図 | 年月日 |
| Kudou | Sugini | kinura | R7.3 |

| | |
|------|-------------------------|
| 工事名称 | 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事 |
| 図面名称 | 空調設備 平面詳細図 機器表 |

| | |
|------|-----------|
| 縮尺 | 設計番号 |
| 1:50 | 図面番号 M-07 |



設計仕様

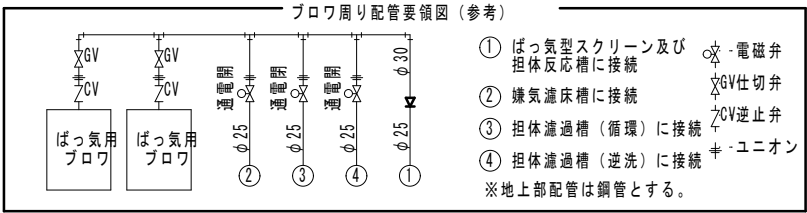
| 型 式 | |
|--------|--------------|
| 認定番号 | |
| 適合認定番号 | |
| 処理対象人員 | 100 人 |
| 日平均汚水量 | 15 m3/日 |
| 流入水水质 | BOD 260 mg/L |
| 流出水水质 | BOD 20 mg/L |

| 槽 名 | 有効容量 (m3) |
|--------|-----------|
| 固液分離槽 | 6.19 |
| 嫌気濾床槽 | 9.22 |
| 担体反応槽 | 4.92 |
| 担体濾過槽 | 2.82 |
| 消毒槽 | 0.45 |
| 排水ポンプ槽 | 1.48 |

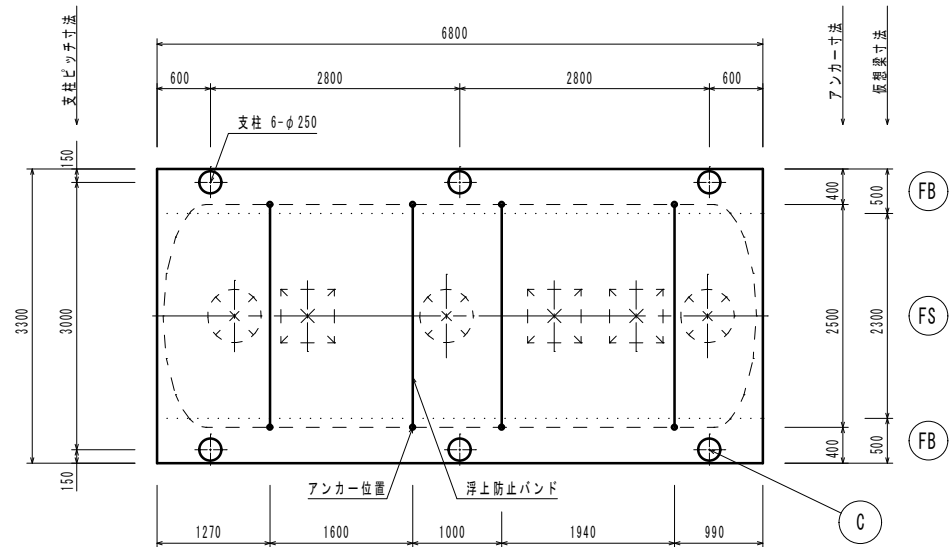
| | 点検蓋 (角型) | 点検蓋 (丸型) |
|-----|--------------------|----------|
| 種 類 | 1500K (安全荷重 15kN) | |
| 蓋 | FRP製 | |
| 枠 | SS鋼板製 (溶融亜鉛メッキ) | PP製 |
| 備 考 | SUS製ボルトロック付 | |

| 品 名 | 台数 | 仕 様 |
|---------|----|--|
| ばっ気用ブロワ | 2 | 20 A × 300 L /分 × 0.02 MPa × 400 W HC-251S |
| 排水ポンプ | 2 | 40 A × 110 L /分 × 4.0 m × 150 W 32PN2.15S |

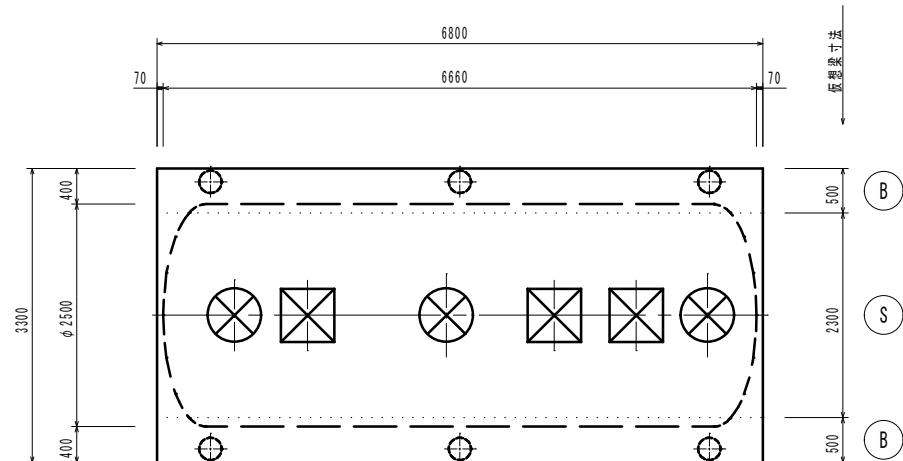
- [注 記] 開口の表示は内径寸法とする。
- ベースと架台の間に隙間があるときはスベーサを入れるかモルタルを充填すること。
- 全高は外寸とする。
- ブロワの設置距離により各空気配管口径は大きくなる場合がある。
- 左右2ヶ所ある送気口 (逆洗用配管) のうち、使用しない方は必ずキャップをのり付けすること。
- ブロワメイン管はφ30とし、ブロワ設置場所によってはさらに大きくなる場合がある。



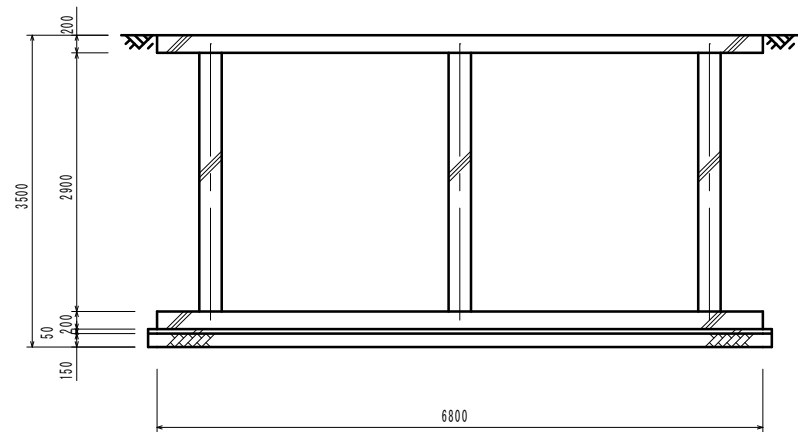
* 基礎及び土工事全般は建築工事 * 参考図面



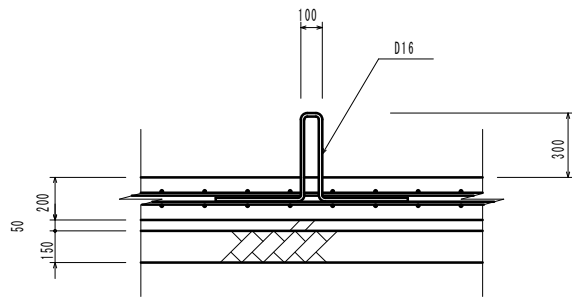
基礎伏図 S = 1/60



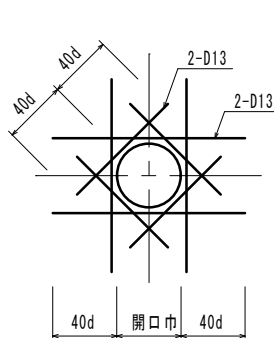
床伏図 S = 1/60



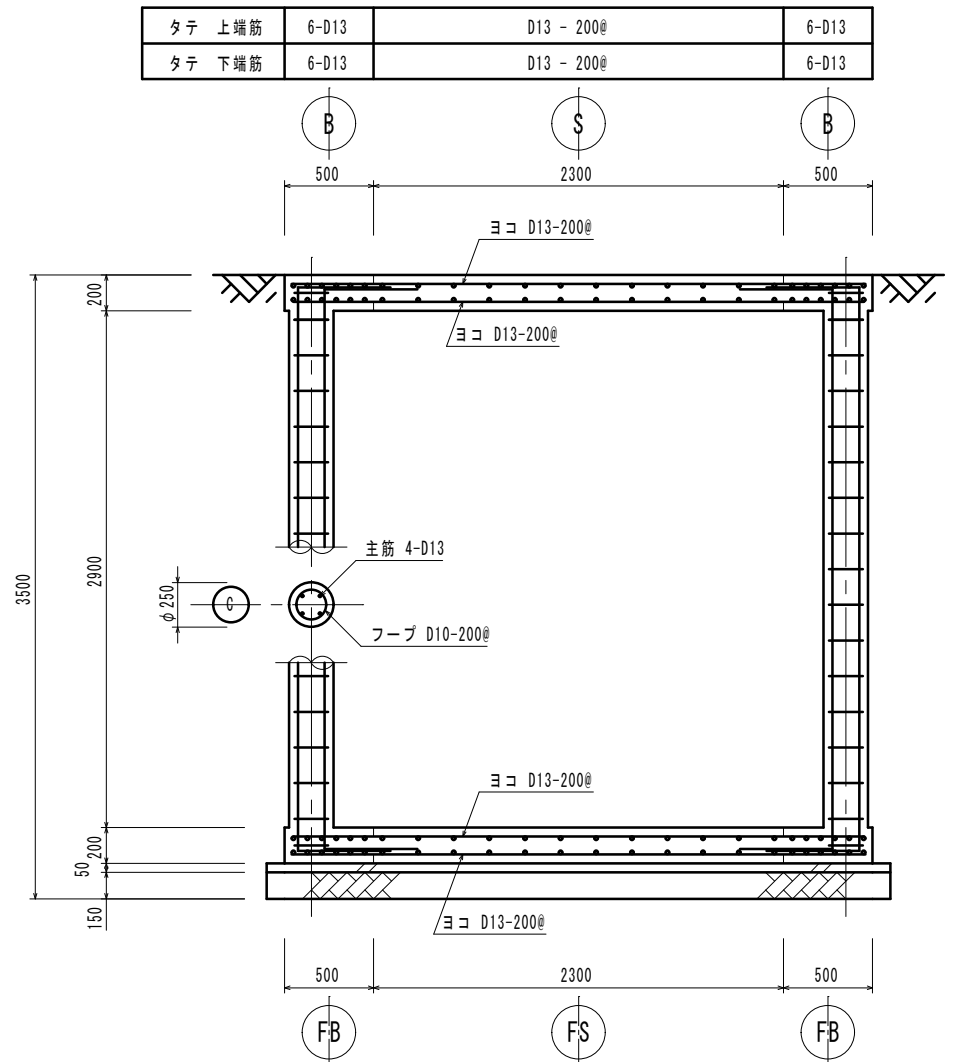
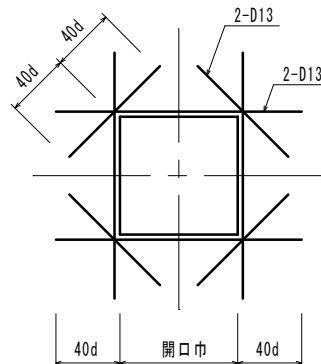
断面図 S = 1/60



アンカー取付図 S = 1/NTS



開口補強筋図



配筋断面図 (短辺) S = 1/30

共通事項

| 名 称 | 仕 様 |
|----------|-------------------------|
| 有筋コンクリート | FC 21 N/mm ² |
| 捨コンクリート | FC 18 N/mm ² |
| 鉄 筋 | SD 295A |
| 地 業 | 砂 利 地 業 |

* 基礎及び土工事全般は建築工事 * 参考図面

備考

一 級 建 築 士 事 務 所
青森県A1第495号
株式会社 工藤金正建築設計
1級建築士第153872号
弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正

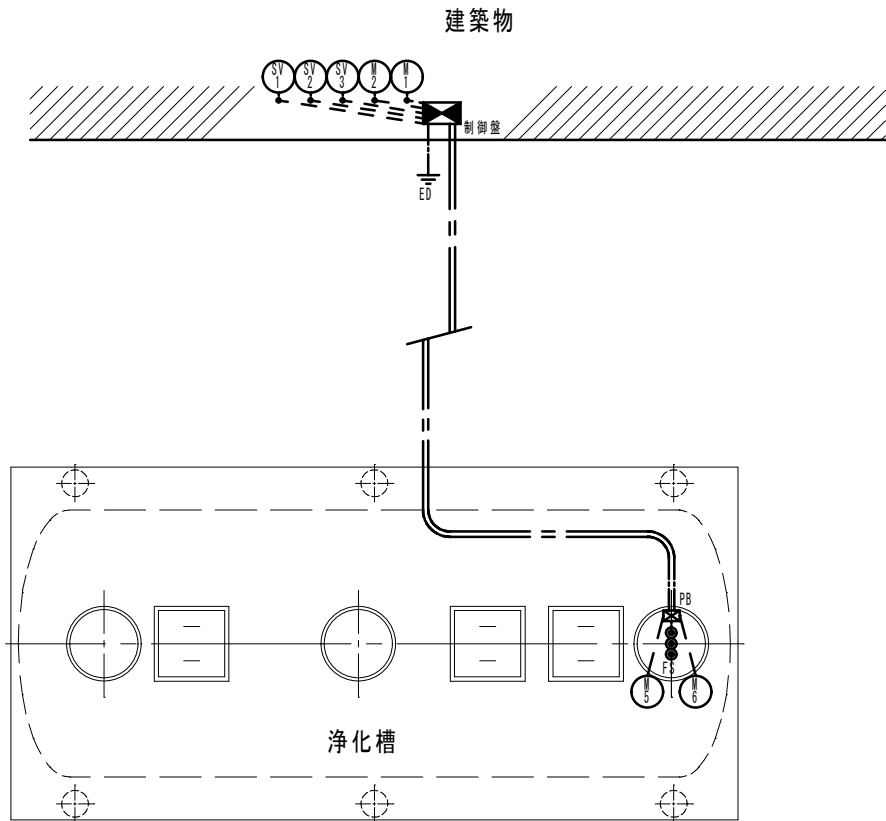
承認 担 当 製 図 年月日
Kudou Sugimi kimura R 7. 3

工事名称 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事
図面名称 合併浄化槽設備 平面図、断面図、躯体図

縮 尺 設計番号
S : 1/60 M 09

動力配線図

S = 1/50



| 記 号 | 機 器 名 称 | 容 量 | 電 線・ケーブル | 電 線 管 | PB (VE) |
|------|----------------|-------|-----------|-------|-------------|
| M 1 | No. 1 ばっ気用ブロウ | 400 W | CV 2□-3C | 22 | 150×150×100 |
| M 2 | No. 2 ばっ気用ブロウ | 400 W | CV 2□-3C | 22 | |
| M 5 | No. 1 排水ポンプ | 150 W | CV 2□-3C | 28 | |
| M 6 | No. 2 排水ポンプ | 150 W | CV 2□-3C | 28 | |
| FS | 排水ポンプ槽フロートスイッチ | × 3 | CVV 2□-3C | 22 | |
| SV 1 | 排 出 電 磁 弁 | — | CVV 2□-3C | 22 | |
| SV 2 | 循 環 電 磁 弁 | — | CVV 2□-3C | 22 | |
| SV 3 | 逆 洗 電 磁 弁 | — | CVV 2□-3C | 22 | |
| ED | D種接地極 | — | IV 2.0 | 16 | |

〔注 記〕

全ての電線管はHIVE又は、PF管とする。

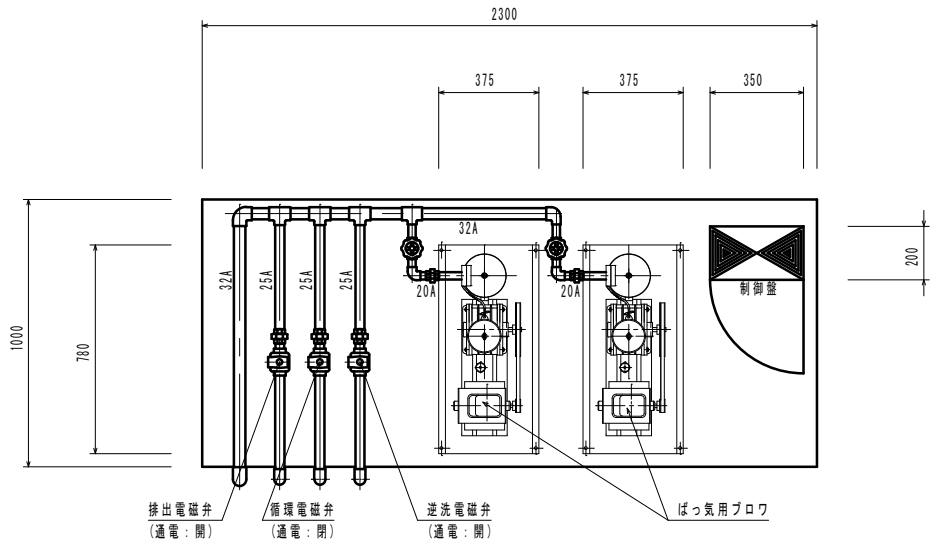
ケーブル及び電線管は制御盤までの距離により変更することがある。

D種接地極は一次側にて接地する場合は不要とする。

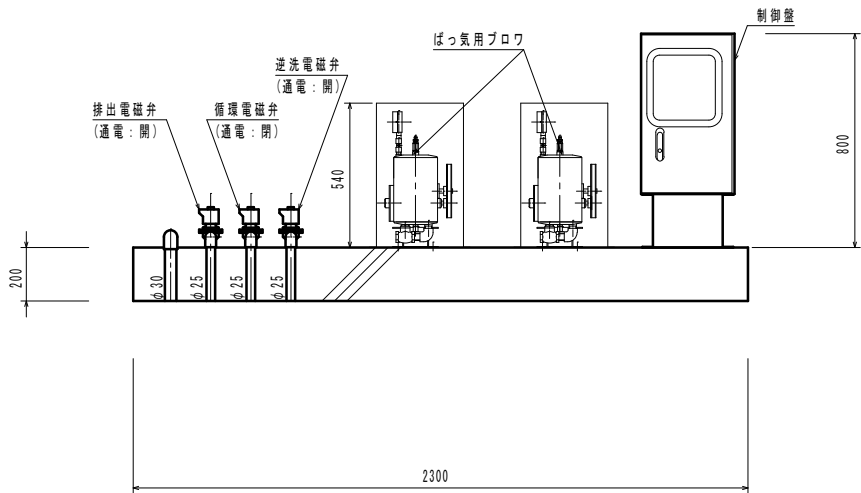
ブロウまわり配管参考図

S = 1/20

※地上配管は鋼管とする。



平面図



正面図

* 基礎は建築工事

* 参考図面

備考



一 級 建 築 士 事 務 所
株式会社 工藤金正建築設計
弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工 藤 金 正

青森県A1第495号

1級建築士第153872号

承認

担当

製図

年月日

Kudou

Sugi ni

kimura

R 7. 3

工事名称

令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便施設整備工事

図面名称

合併浄化槽設備 電気配管図及びブローアポンプ系統図

縮 尺

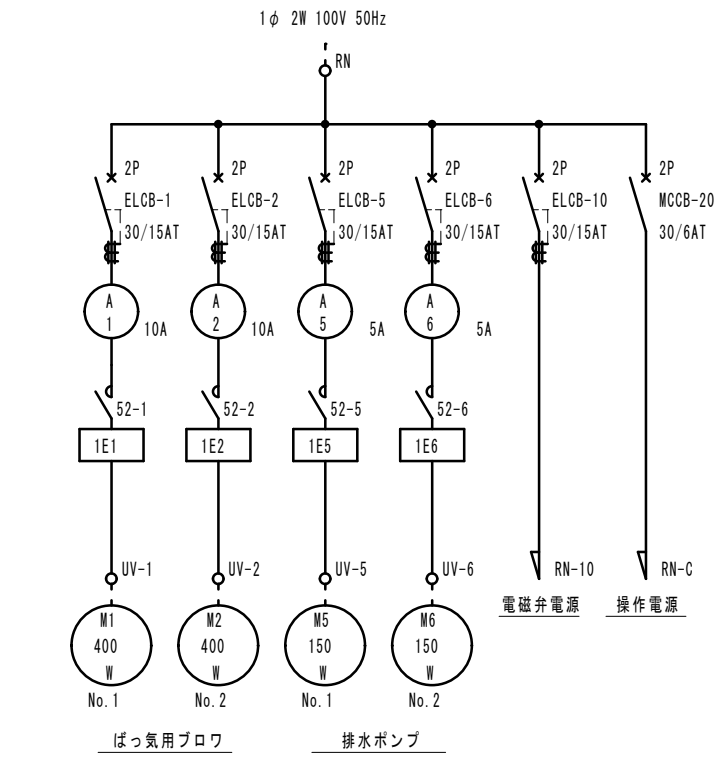
NON

設計番号

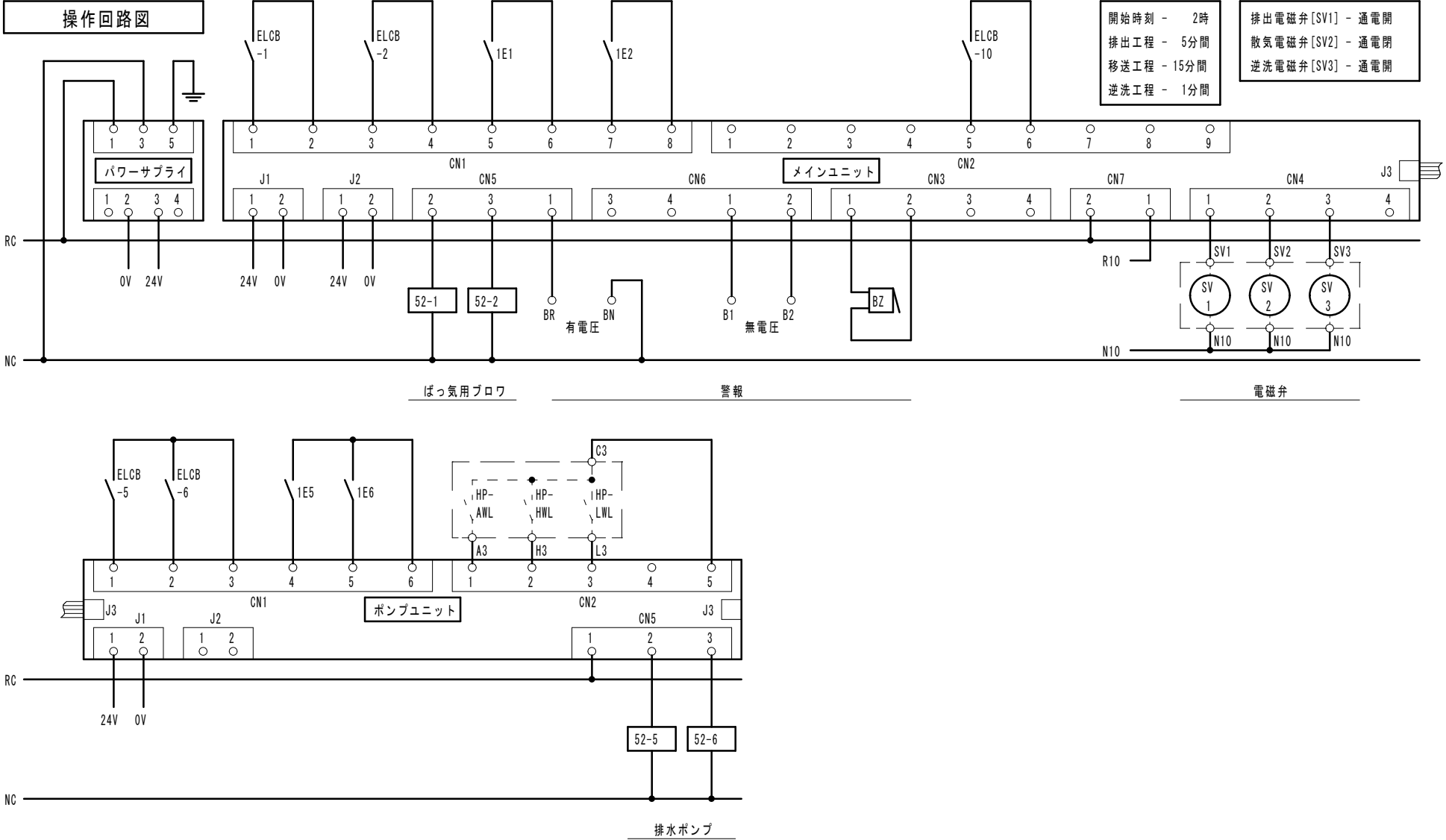
図面番号

M 10

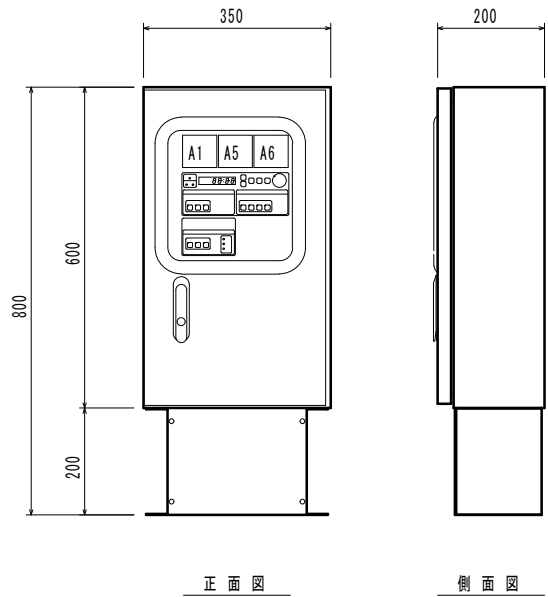
単線系統図



操作回路図



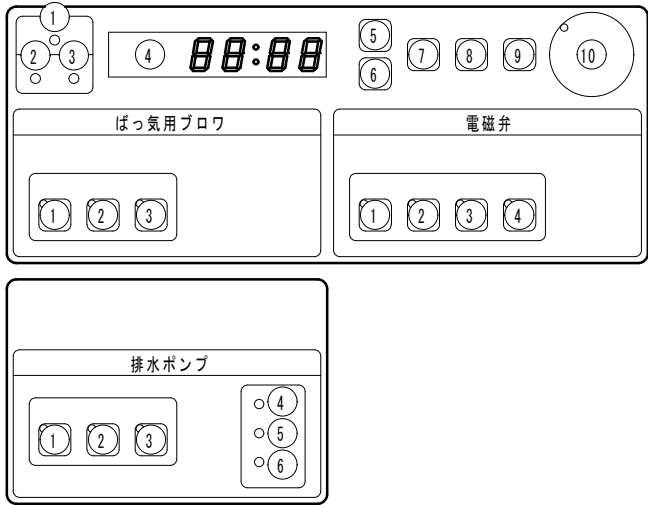
函体寸法図



| 函体仕様 | |
|------|--------------|
| 本体 | 1.6mm SPC |
| 扉 | 1.6mm SPC |
| 取付板 | 1.6mm SPC |
| 架台 | 2.3mm SPC |
| 塗装色 | 5Y7/1(ベージュ系) |

[注記]ばっ気用ブロウは2台同時運転とする。

操作パネル図



| メイン | |
|-----|----------------|
| ① | [電源]ランプ |
| ② | [漏電]ランプ |
| ③ | [過負荷]ランプ |
| ④ | 時刻・パラメータ表示部 |
| ⑤ | [UP]ボタン |
| ⑥ | [DOWN]ボタン |
| ⑦ | [確定]ボタン |
| ⑧ | [戻る]ボタン |
| ⑨ | [設定確認]ボタン |
| ⑩ | [プザー停止]ランプ・ボタン |
| | |
| | |
| | |
| | |

| ばっ気用ブロウ | |
|---------|---------------------|
| ① | [自動/手動]ランプ・ボタン |
| ② | [入/切]ランプ・ボタン (No.1) |
| ③ | [入/切]ランプ・ボタン (No.2) |
| | |
| | |

| 電磁弁 | |
|-----|-----------------|
| ① | [自動/手動]ランプ・ボタン |
| ② | [手動]ボタン 排出工程ランプ |
| ③ | [手動]ボタン 移送工程ランプ |
| ④ | [手動]ボタン 逆洗工程ランプ |
| | |
| | |

| 排水ポンプ | |
|-------|---------------------|
| ① | [自動/手動]ランプ・ボタン |
| ② | [入/切]ランプ・ボタン (No.1) |
| ③ | [入/切]ランプ・ボタン (No.2) |
| ④ | [満水 (AWL)]ランプ |
| ⑤ | [高水位 (HWL)]ランプ |
| ⑥ | [低水位 (LWL)]ランプ |

* 参考図面

| | |
|----|--|
| 備考 | |
| | |
| | |



一級建築士事務所

株式会社 工藤金正建築設計

青森県A1第495号

1級建築士第153872号

弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正

| | | | |
|-------|--------|--------|------|
| 承認 | 担当 | 製図 | 年月日 |
| Kudou | Sugini | kimura | R7.3 |

| | |
|------|-------------------------|
| 工事名称 | 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事 |
| 図面名称 | 合併浄化槽設備 電気設備 系統図 |

| | |
|-----|------|
| 縮尺 | 設計番号 |
| NON | 図面番号 |
| | M 11 |